

西安 旅行指南



西安·旅游指南





目次

—— 西安旅行指南 ——

はじめに	001
シルクロードの起点	003
3000年の古都・西安	005
絶対行ってほしい14の名所	006
秦始皇帝陵博物院	006
大雁塔	008
大唐芙蓉園	010
華清宮	012
西安秦嶺野生動物園	014
大明宮ルビ・だいめいきゅう国家遺跡公園	016
小雁塔	018
西安碑林博物館	020
陝西歴史博物館	022
西安古城壁	024
広仁寺	026
西安半坡博物館	028
翠華山	030
回民街	032
西安 `6つのマスト・スポット	033
晨ルビ・あしたの鐘・夕べの鼓	034
華清宮をそぞろ歩き 蘇る帝王の恋物語	038
華山に登り日の出を拝む	039
大雁塔を凌ぐのか	040
大唐芙蓉園 夢は大唐をめぐる	043
秦腔ルビ・チンチアンを聴く	044
お薦めコース	046
華清宮—兵馬俑1日コース	046
西安—華山—乾陵—法門寺2日間コース	047
壺口瀑布—延安—兵馬俑3日間コース	048
西安—延安4日間コース	050
西安—延安—乾鼎5日間コース	052
西安歴史散歩	054
「西安事変」旧跡	054
東岳廟	056
灊橋	057
八路軍駐陝西事務所旧跡	058

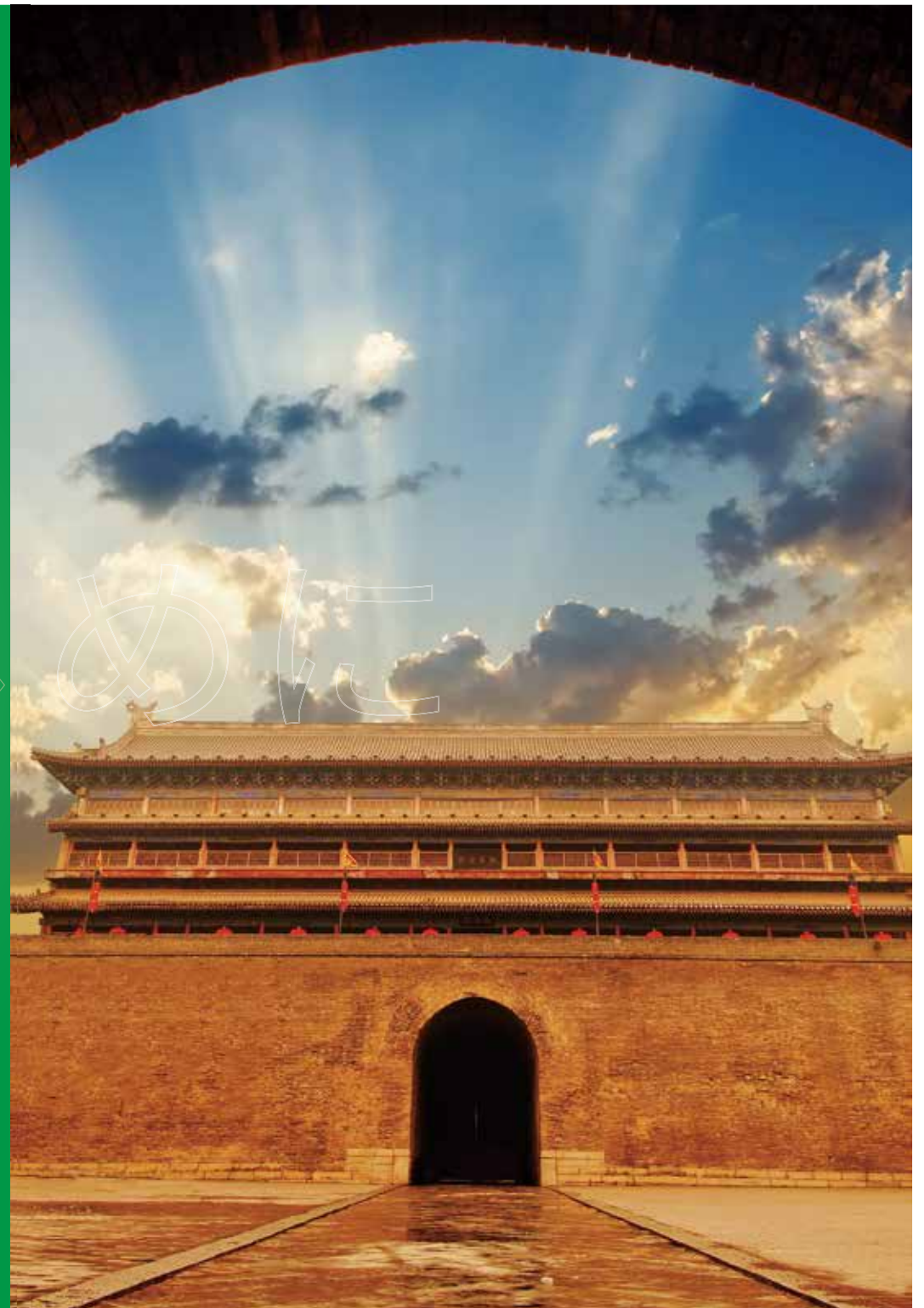
西安都城の城隍廟	058
宝慶寺塔	060
清真寺	061
関中書院	063
銅人原	064
曲江池	065
美食西安	066
美食街	067
美食	069
出発の準備	080
交通	083
空路	082
道路	084
鉄路	085
市内交通	086
地下鉄	086
公共交通	088
タクシー	088
通信	089
ベストシーズン	090
言語と文字	091
西安の一押しスポット	092
未央区	094
見逃してはならない百の理由	096
お薦めコース	097
観光スポット	098
新城区	106
一押し観光スポット	106
見逃してはならない百の理由	108
お薦めコース	109
観光スポット	110
碑林区	122
見逃してはならない百の理由	124
お薦めコース	125
観光スポット	127
蓮湖区	136

見逃してはならない百の理由	137
お薦めコース	138
観光スポット	139
灊橋区	146
見逃してはならない百の理由	147
お薦めコース	148
観光スポット	150
雁塔区	158
見逃してはならない百の理由	159
お薦めコース	160
観光スポット	162
閻良区	180
見逃してはならない百の理由	180
お薦めコース	181
観光スポット	182
臨潼区	184
見逃してはならない百の理由	185
お薦めコース	186
観光スポット	190
長安区	200
見逃してはならない百の理由	201
お薦めコース	202
観光スポット	206
高陵区	216
見逃してはならない百の理由	217
お薦めコース	218
観光スポット	219
鄠邑ルビ・こゆう区	222
見逃してはならない百の理由	222
お薦めコース	223
観光スポット	225
藍田県	230
見逃してはならない百の理由	231
お薦めコース	232
観光スポット	234
周至県	238

見逃してはならない百の理由	239
お薦めコース	240
観光スポット	242
西安との邂逅	250
西安の歴史	252
現代の西安	254
西北の重鎮	254
地理的優越性	255
西安メモ	257
西安人	258
文化	258
人当たりのよさ、包容力	258
歴史の影響	258
地理的特徴	259
イノベーション（創新）	259
文化	260
歴史文化の蓄積	260
漢唐文化の盛世	261
西安文化の特色	262
年中行事・祝祭活動	264
西安城壁と国際マラソン大会	264
西安古文化芸術祭	264
カルチャー体験	265
秦腔ルビ・チンチアン	266
陝北「信天遊」	267
做唐楽舞	268
『唐長安楽舞』王朝の宴	269
『長恨歌』	269
西安の名匠たち	270
做秦兵馬俑	270
銅車馬のレプリカ	271
唐三彩のレプリカ	272
唐三彩	272
影絵芝居	273
西安鳳翔彩色泥人形	274
彩色泥人形	274

西安碑石拓本	275
戸県農民画	276
切り紙	277
藍田玉	278
秦腔ルビ・チンチアン隈取り	279
特産品のお持ち帰りを	280
黄桂柿子餅	280
瓊鍋ルビ・けいかあめ	281
西鳳酒	282
徳懋恭ルビ・ドーマオゴン水晶餅	283
黄桂稠酒	284
臨潼のザクロ	285
民族と宗教	286
民族のタブー	286
宗教・信仰	290
環境と資源	292
自然地理	292
気候	293
自然環境	297
鉱物資源	301
旅立ちの前に	302
健康	304
常備薬品の事前点検	307
観光常識	308
観光ガイド	311
観光情報	312
観光客サービスセンター	314
番号とサイト	315
中国駐在外国機関	316

はじめに



シルクロードの起点

「西にローマあれば、東に長安あり」——シルクロードの起点として歴史にその盛名を馳せた古都・長安、今は陝西省の省都・西安。

西安は3100年の歴史を負い、国都として1100年の歴史を担ってきました。かつて周、秦、漢、唐など13の王朝が都を置き、アテネ、ローマ、カイロと並び称される世界四大文明の古都として中国文明史の首座にあります。

歴史文化の集積は西安を「生きた歴史博物館」と呼ぶにふさわしく、「千古一帝」の秦始皇帝の陵墓をはじめ、周、秦、漢、唐の四大都城遺跡、西漢（前漢）帝王の11陵墓、唐代帝王の18陵墓、大雁塔、小雁塔、鐘楼・鼓楼、古城壁

西安の城壁



など古代建築遺跡は700カ所にのぼり、2件6カ所はユネスコの「世界遺産」に認定されています。

西安は悠久の歴史と重厚な文化的蓄積の古都であると同時に、自然の風光に恵まれた現代都市、公園都市の一面も持っています。西安南部の壮大な秦嶺山脈は「中国の中央公園」と呼ばれ、北方の黄河流域と南方の長江流域を分け、さらに気候をも分ける分水嶺となっている。秦嶺山脈中央の終南山はユネスコのジオパーク（地質公園）に認定されています。華山、太白山、驪山、楼観台、翠華山などの秀麗な景勝美は世界からやってきた観光客を魅了せずにはおきません。

古都·西安



秦始皇帝陵博物院

秦始皇帝陵博物院は秦の兵馬俑坑出土地に建設された。西安市臨潼区始皇陵以東 1.5 キロにあり、南は驪山、北は渭水に臨み、壮大な規模で見る人を圧倒する。中国 5 A クラスの風致地区、中国重要文化財保護遺跡に認定され、`世界八大奇跡`に数えられている。

兵馬俑坑は秦始皇帝陵の副葬坑。紀元前 246—前 208 年に造営され、1974 年に発見された。世界最大の`地下軍事博物館`と呼ばれている。兵馬俑はすべて東を向いて安置され、三つの坑は「品」の字に配列されている。

この配置、構造は極めて理にかなっており、坑道の底は深さ 5 メートル、3 メートルごとに東西に走る牆壁が陵墓の荷重に耐える設計になっている。兵馬俑の縦隊はこの地下の空間に整然と配置され、東方の敵をひたと見据えている。本物の人や馬かと思ふ陶器の兵馬は 8000 体以上、体形、表情、民族の違いまで見て取れるリアルな陶俑が戦車兵、騎兵、歩兵などそれぞれの部隊に分かれて一糸乱れぬ行進をしているかのように見える。圧巻というほかない。

始皇陵の兵馬俑はその壮大な規模、高度な芸術性と技術水準によって世界の塑像、彫刻の歴史から見ても優れたクオリティーで世界を感嘆させ、現代中国で最も重要な発掘調査の現場となっている。

大雁塔

大雁塔は世界文化遺産、全国重点文物保護遺跡、中国 5A クラスの風致地区に認定され、西安南郊の大慈恩寺境内にある。1300 余年の歴史を持ち、古都西安の象徴的存在になっている。慈恩寺境内にあるので、慈恩寺塔とも呼ばれている。

唐永徽3年(652)、玄奘三蔵法師がインドから仏像、仏舎利、梵語經典を持ち帰ったとき、慈恩寺の西塔院にレンガ造りの仏塔を建立した。これがインドの雁塔様式に則ったものだったので、雁塔と名づけられた。後に長安薦福寺ルビ・せんふくじにやや小さい雁塔が建てられて、これを区別するために慈恩寺の塔を大雁塔、薦福寺塔を小雁塔と呼び、今日に至った。



西安の大雁塔

大雁塔の造型は静謐にして雄勁、唐代から参拝客と見物客が足繁く訪れるところとなった。創建当時は5層だった塔が度重なる改修によって7層となり、その高さは64.5メートル、倣木結構（外観は木に似せて内部は強度を保つため石材などを用いた建築）で、方形の角錐状になっている。塔身はレンガで組み立てられ、レンガのすり合わせなど緻密で堅固な工法が今日に伝えられている。塔内には木の階段が設けられ、螺旋状に上っていける。各階にアーチ型の通路が設けられて優美な装飾が施され、塔の荷重を支えながら芸術性と観賞性を兼ね備えている。上階から望む西安の風光は見て飽くことがない。

大唐芙蓉園

西安市の南、曲江開発区、大雁塔の東南にある。曲江は詩人の杜甫がよく酒を飲んで「人生七十 古來稀なり」と詠んだところ。唐代芙蓉園の遺跡の北に、唐代皇家の御苑（園林）様式を模して造営された。中国で初めてで最大のテーマパーク式の唐代ロイヤル・ガーデンがお目見えしたことになる。面積0.67平方キロそのうち0.2平方キロが池水で曲江のほとりが再現され、紫雲楼、宮廷の女官の館、御宴宮、杏園、芳林苑、鳳鳴九天劇院、唐市など豪華な亭台楼閣も復元された。

大唐芙蓉園



2002 年、建設が始まって 2004 年落成、2005 年 4 月に對外開放され、2011 年、中国 5 A クラスの観光風致地区となった。2012 年 8 月 28 日、中国・西安鳳鳴九天劇院で日中国交正常化 40 周年を祝う記念講演会が行われている。

14 の区域に分かれ、帝王、女官、詩歌、科挙試験、茶道、歌舞、飲食、民俗、外交、仏教、道教など唐代文化の大パノラマは世界に輝いた国際都市長安の面目躍如たるものがある。

華清宮

西安市の東 30 キロ、`世界八大奇跡、の兵馬俑と隣り合っている。中国 5 A クラス観光風致地区。周、秦、漢、隋、唐歴代の帝王がこの地に離宮を営んだ。

古来尽きることのない温泉、西周幽王と愛妃・褒姒ルビ・ほうじの物語（幽王は美しいが、いつもしかめっ面の褒姒を笑わせようと戯れに烽火を上げさせる。驚き慌てる諸侯を見て、褒姒は大いに笑った。以後、幽王は度々、烽火を上げさせる……『狼少年』の中国版）、白居易の『長恨歌』で歌われた楊貴妃の湯浴み、西安事変（1936 年 12 月 12 日に西安で起きた、張学良、楊虎城らによる蒋介石拉致監禁事件。その後の共同抗日と国共合作が促された）など、華清宮は歴史上の数々の事件、エピソードで世界に知られ、唐代文化の華やかさを語るとき欠かせない舞台になっている。驪山ルビ・りざんは海拔 1302 メートル、老母（女媧ルビ・じょか＝中国神話の女神）殿、老君（老子）殿、烽火台、兵諫亭（蒋介石が幽閉されたところ）、石瓮寺ルビ・せきおうじ（唐代の名刹）、遇仙橋など見どころは尽きない。「驪山の晩照」は`関中八景、の一つに数えられている。



華清宮の塑像

華清宮には唐御湯遺跡博物館、西安事変旧跡——五間庁、九竜湖、芙蓉湖などの風致地区、唐梨園遺跡博物館などの文化地区、飛霜殿、万寿殿、長生殿、環園、禹王ルビ・うおう殿など、いずれも誰もが知る華清宮ならではの建築群が並んでいる。

西安秦嶺野生動物園

西安秦嶺野生動物園は専有面積 1.73 平方キロ、前身は西安動物園。1954 年に開園し、2004 年に市区から 28 キロ、秦嶺山脈北麓の低山地帯に移転した。原生地を離れた野生動物の保護、科学教育、観光、余暇活動、保養などに対応し、テーマパークの総合的機能を持たせた中国西北部初の野生動物園。

野生動物園のモットーは、自然の中でリフレッシュし、山林のシンプルライフを通して森林浴、`動物との触れ合い、`野生体験、を味わってもらおうというもの。檻の中だけでなく、秦嶺山脈の大自然の中で檻から解き放ち、特に秦嶺特有の動物を野生の群れとして至近から見るができる。

`数え切れない、`としかいいようのない獣類、鳥類、両棲類、爬虫類など多種多様、大量の動物の数は中国西北部で最たるもの。西安秦嶺野生動物園は動植物の生態環境の保全、保護を出発点として、原始の生態系、ありのままの大自然のあるべき姿を現代人に提供しようとしている。



水と戯れる双子の虎

大明宮ルビ・だいめいきゅう 国家遺跡公園

大明宮国家遺跡公園は世界文化遺産で中国重要文化財保護遺跡。西安市北部の太華南路の竜首原に位置し、平面はほぼ台形を呈している。

大明宮は唐帝国で最も壮大かつ壮麗な宮殿建築群で、当時として世界最大の面積を持ち、唐王朝の権勢を象徴する宮城だった。面積は 3.2 平方キロ、唐太宗貞観 8 年 (634) に創建され、唐末に破壊された。

大明宮遺跡は 1961 年、国務院が最優先に公布した中国重要文化財保護事業で、ICOMOS (国際遺跡委員会) はこれを世界的意義を持つテーマ・プロジェクトであり、シルクロードの総体を文化遺産とする申請の重要な組成部分であることを認めた。西安市が建設の主体となり、遺跡の保護と共に市民生活の向上をもたらす重点プロジェクトとして「西安市中央公園」の位置づけと大構想が打ち出された。大明宮遺跡の保護は西安が全国に先駆けて発展し、その均衡的な発展と科学的テクノロジーによる都市の成長が西安の未来図を描く基礎となり、最重要の文化的象徴ともなって、世界の古都としての西安を支え、ひいては西安の都市としての特色をもたらすものであることが広く認められた。

2014 年 6 月 22 日、カタールのドーハでユネスコの第 38 回世界遺産委員会が開催され、唐長安大明宮遺跡が中国、カザフスタン、キルギス三国の共同申請により、「シルクロード長安—天山路回廊地帯」の一部として「世界遺産」に登録された。

唐長安大明宮



小雁塔

小雁塔の成り立ちには、唐の第2代皇帝・太宗李世民的皇女と、中国史上唯一の女帝・則天武后が登場する。

唐代の長安の街区は、四方を街路で仕切られたブロックからなっており、この基盤目の枠目を「坊」と呼んで、長安城全体は百超えの坊に区分されていた。小雁塔はもと開化坊に住む襄城公主ルビ・じょうじょうこうしゅ（太宗李世民的長女）の邸宅だった。文明元年（684）、5代睿宗（第3代高宗李治の第8子、母は則天武后）はこの邸跡に仏寺を建立して父高宗に献じ、

小雁塔の空中写真



名を「大献福寺」としたが、母・武則天は大天授元年（690）、亡き夫・高宗のために改修し『薦福寺』と改称した。

小雁塔はこの薦福寺境内に景龍年間（707年 - 710年）に建立された煉瓦でできた13層の塔。薦福寺の規模は開化坊の南半分を占め、南隣の安仁坊にも及んでおり、小雁塔は安仁坊にある。清康熙年間（1662—1722）に補修工事が行われ、1965年には補強工事が行われて、失われていた塔頂部、破損していた塔の庇を修復した。現在、重要保護遺跡に指定され、西安観光の「10大スポット」の一つになっている。

人々が神秘の念に打たれるのは、小雁塔はこれまでに何度も地震に遭い、何度も亀裂の損傷を受けているが、その都度、傷痕が塞がるかのように亀裂が接合されていること。記録には、少なくとも「三裂三合」の不思議があったと記されている。小説になりそうな歴史の挿話だ。

西安碑林博物館

西安碑林は 1087 年の創建、中国の古代碑石が最も早く、最も大量に収蔵された歴代書道芸術の宝庫で、漢代から清代まで代々の碑石、墓誌とも 996 基にのぼる。「碑石が林の如し」ということから「碑林」と名づけられた。古代の文献、典籍、石刻図案など歴代の字体、書体、筆法の推移を、書聖と呼ばれる大家の筆跡も含めてたどることができる。古代から外国に与えた影響は大きく、今も日本など海外から書道専門家、愛好家の訪問が相次いでいる。

碑林最大の石碑は 745 年に刻まれた玄宗皇帝李隆基の「石台孝経」。儒教倫理の孝を説いた「孝経」を自ら揮毫して 4 基の方柱に刻させ、高い石の上に立てられたため「石台孝経」と呼ばれた。



碑林博物館

四書五経は過去の知識人必読の書だったが、印刷技術の未発達な時代では普及の術が乏しく、伝抄、転写の過程で多くの誤記や遺漏が避けがたかった。`永久保存版`として「周易」「詩経」「書経」「尚書」「論語」などの儒教の経典が石碑に刻まれ、手本として長安の国子監（貴族の子弟や天下の秀才の最高学府）に立てられた。837 年に刻まれた「開成石経」は儒教経典が欠けるところなく石刻され、現存する唯一の`標準テキスト`として重要視されている。

陝西歴史博物館

陝西歴史博物館は大雁塔の西北側にあり、1983 年に着工し、1997 年に完工した。現代化され、国家級の規模を持つ中国最初の博物館としての首座を占め、中国 4A クラスの観光風致地区に指定されている。

「中央は高楼の大広間、四隅は崇楼（入母屋造りの屋根を持つ 4 座の楼閣）」の基本構想に基づいて唐風建築群が整然と秩序だちかつ高低の配置の妙を得て、雄渾にして荘重、歴代 13 王朝に君臨した帝王の威光を反映させている。皇家の御苑と民家を同時に包容する設計手法は、全体を黒、白、灰色の渋い色調に抑えて荘厳と質朴と壮大さを伝統文化の中に融けこませ、現代的な空間を創り出している。

陝西歴史博物館は総合的な歴史博物館で、開館以来、さまざまな形式の展覧を試み、多角的、多方面に中国の歴史と文明の精髓を公開してきた。

展示方法は総合的な基本展示、特定のテーマによる特集、臨時の特別企画の 3 部門に分かれている。基本展示は陝西の古代史を通覧するもので、先史時代、周、秦、漢、魏晋南北朝、隋唐、宋元明清の 7 区分を、西安市藍田県で発見された旧石器時代早期の藍田原人の時期から 1840 年まで、100 万年に渡る歴史を系統的に展示している。



陝西歴史博物館の貯蔵品

西安古城壁

西安市の中心部をぐるりと取り囲む城壁は、明洪武 7 年—11 年 (1374-1378) に建造され、すでに 600 年の歴史を闊てきた。これは中国中世期における最も著名な城郭建築の一つであると同時に、古代の築城様式も伝えられ、その全容が破壊に遭わずに現在に伝えられたことは歴史的に意義深いものがある。

輪郭は東西に長く南北に短い長方形で、高さは 18 メートル、底部の幅は 15—18 メートル、頂部の幅は 12—14 メートル、周囲の長さは 13.74 キロ、城門は東側の長楽門、西側の安定門、南側の永寧門、北側の安遠門の 4 座あり、西側の安定門が最大の門。頂部

の広さは多くの観光客が感嘆するところ。唐の長安を基礎にして建造された皇城の防壁は、現代においても壮観としかいいようがない。

皇城と城壁を守るものは、堀（護城河）、吊り橋、東西南北の 4 城門にそびえる城楼（正楼）、城門の外側に張り出した防御用の出城ルビ・でじろは甕城ルビ・おうじょうと呼ばれ、その上の建造物が箭楼、さらにその外側を城壁で囲みこんでいるのが護城でその上の建造物が閘楼ルビ・こうろうさらに城門の左右に敵檣望楼、食糧、武器の貯蔵庫）が置かれていた。このように四方の 4 城門は三重構造で固められ、城壁の四隅には角楼が設けられていた。さらに城壁の外周には 98 の敵楼、その上に物見の櫓が築かれていた。城壁最上部には女兒牆（姫垣）と呼ばれる凹凸型の低く薄い壁が築かれ、これは兵士を守ると共に、凹んでいる部分から敵を射ることができた。このように、城壁は高度にシステム化された軍事施設で、きわめて強固な防護措置が施されていたといえる。



026

絶対行ってほしい 14 の名所

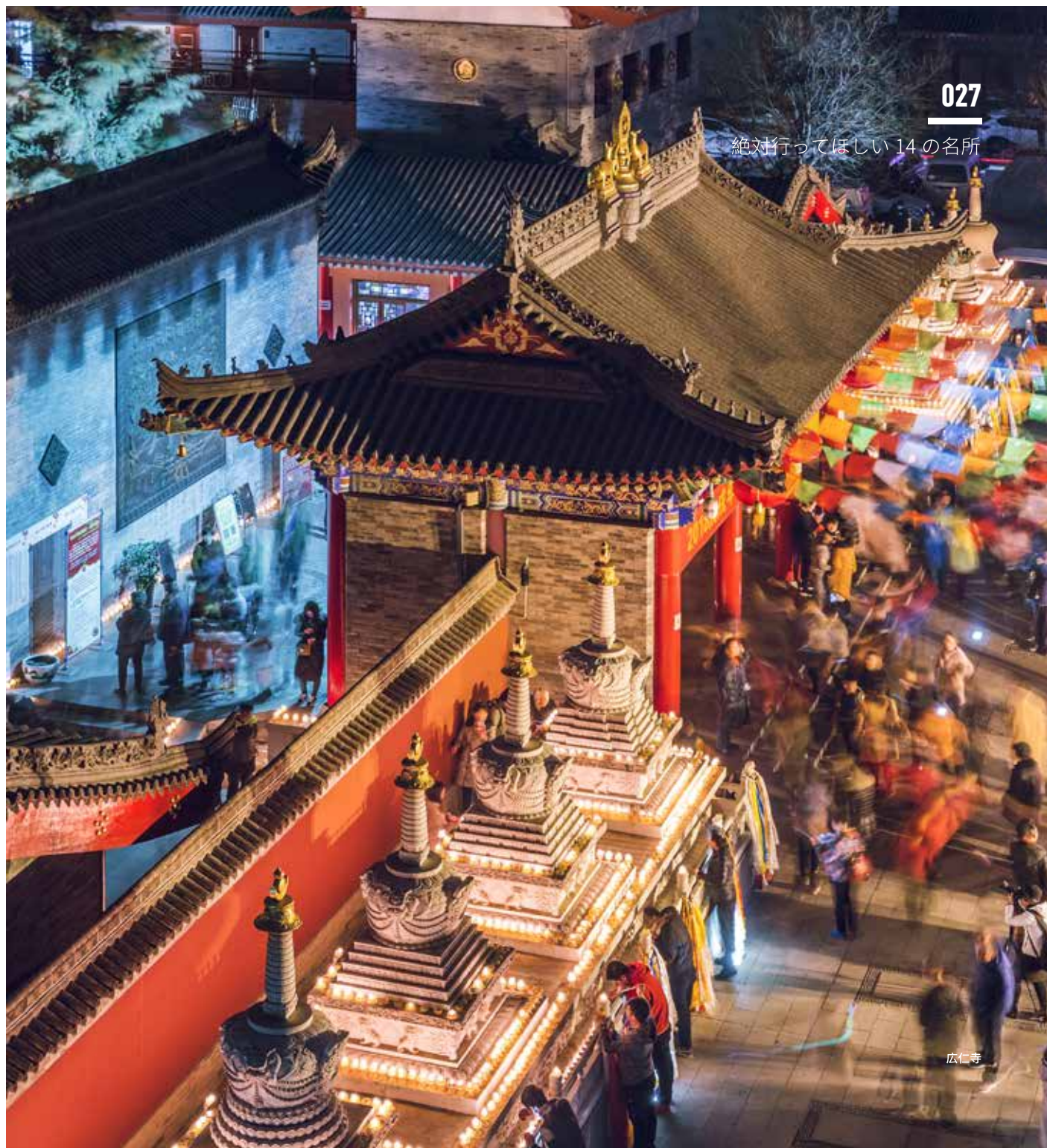
広仁寺

広仁寺は西安市の城壁内西北の角に位置し、陝西省で唯一のチベット仏教寺院。1983 年、国務院によって漢族地区における仏教寺院の全国重点寺院に認定された。中国 3A クラスの観光風致地区。

創建は清康熙 44 年 (1705)、康熙帝が陝西省を巡察に訪れたとき、勅令により建設費が下賜された。叡慮のおわすところは「広布仁慈」、よって「広仁寺」と命名された。陝西人はチベットに目を開き、チベット仏教文化に対してより親しみと認識を深めることになった。

027

絶対行ってほしい 14 の名所



広仁寺

西安半坡博物館

半坡ルビ・はんぱ博物館は西安市東郊の滻河ルビ・さんが東岸、半坡村の北の半坡遺跡跡に建てられた。中国で初の先史時代の遺跡博物館。`西安観光 10 大スポット`に数えられ、`外国人にとっても見逃せない 50 のスポット`に挙げられている。

1953 年春に発見され、1954—1957 年、中国社会科学院考古研究所が 10000 平米に及ぶ大規模な発掘調査を 5 度にわたって行った。この遺跡は 6000 年前の新石器時代に遡り、仰韶ルビ・ヤンシャオ文化に属する典型的な母系氏族集落の遺跡であることが報告された。農耕や狩猟・漁労などの生産活動が行われ、その生活、経済状態、風俗習慣、文化芸術などが明らかにされている。

1958 年 4 月 1 日、西安半坡博物館が落成し、正式に对外开放が行われて諸外国から多数の参観者が押し寄せることになった。中でも注目されたのは「人面魚紋面彩陶盆（彩色の文様のある土器）」で中国の国家一級文物に指定された。



人面魚紋面彩陶盆

翠華山

翠華山は西安市の南 23 キロ、秦嶺山脈の中央部が北に裾野を引く終南山の一部。海拔 2132 メートル、面積は 17.85 平方キロ、自然風景名勝区に指定されている。終南山といえば、その景勝美と共に古都長安の人士が織りなすエピソードで親しまれている一方、^①山崩れの地質博物館、^②巨石が累積する^③石の海、ともいわれるすさまじい地殻変動と崩壊の爪跡、奇観が見られるのも翠華山名勝区の一帯。



翠華山

翠華山観光風致地区には碧山湖エリア、天池エリア、山崩れ石海エリア、3つの景観エリアがある。

翠華山は漢の武帝が元封 2 年 (109)、秦嶺山脈北麓の峪口太乙ルビ・よくこうたいいつ (道教の仙人、崑崙十二大師の一人) 宮を営んだことにより、「太乙山」とも呼ばれている。秦朝以来、皇家の「上林苑 (秦漢時代の皇家の庭園、狩場)」「御花畑」となり、秦始皇帝はここを狩場として愛用し、漢武帝は太乙真人 (小説『封神演義』に登場する仙人で崑崙十二大師の一人) を祭り、唐太宗李世民李世民は秦聖宮を避暑のため夏の離宮として用いるなど、^④三秦 (秦朝滅亡後の関中) の旅遊地、と呼ばれた。

回民街

西安の回民街はムスリムの居住区で、1000 年以上の歴史を持っている。幾筋もの街路の総称で、北は広済街、院門、西は羊市、大皮院、化覺巷、洒金橋などの通りが美食街を形作っている。300 種もの特色ある小吃ルビ・シャオチー（軽食類）が味を競って食通を唸らせ、旅人を虜にして、ディープな西安の旅情を味わえるところ。

回民街の街頭



唐代の含光門、明代の西城門の門楼（城門の楼閣）が時を超えて旅客を誘い、往時を偲ばせる。イスラム寺院、道教の廟、尼寺の西五台山雲居寺（尼寺）、チベット寺院廣仁寺など、民族と宗教と食味の垣塙ルビ・るつぽ、そして「民族グッズ」のショッピングセンターが旅人の興奮を誘う。

晨ルビ・あしたの鐘・夕べの鼓

往時は鐘を打って夜明けを知らせ、太鼓を叩いて夜を知らせた。

西安の鐘楼は明洪武 17 年 (1384) に建てられた。かつては今の西大街広済街にあり、楼閣の大釣り鐘が警報、時報を知らせたので「鐘楼」と呼ばれた。鼓楼は明洪武 13 年 (1380)、西大街北院門の南端に建てられて東の鐘楼と相対し、夕刻を告げる太鼓が打ち鳴らされ、「鼓楼」の名を得た。現在、楼内に階段が設けられ、楼上から全市を見渡せる。

鐘楼も鼓楼も西安の中心広場で西安のシンボル、西安八景の一つとなって朝夕の務めを果たしている。晨ルビ・あしたの鐘・夕べの鼓は、時は変わっても悠々たる時の流れを市民と旅人に告げている。



鼓楼

華清宮をそぞろ歩き 蘇る帝王の恋物語

記録によれば、唐の玄宗皇帝は開元2年(714)から天宝14年(755)までの41年間で36回の多きにわたって華清宮に來臨し、温泉の湯浴みをしたという。現代人も帝王の気分で湯に浸かれば、楊貴妃と玄宗皇帝のラブ・ロマンスを温めることができる。



華山

華山に登り日の出を拝む

華山の主峰は海拔 2154.9 メートル、`中国五岳`に数えられ「西岳」とも呼ばれている。道教の聖地として知られ、現在でも道観（道教寺院）があり、多くの道士が住んでいる。西安からの交通は便利で、夜に登って日の出を拝むことができる。華山の険しさは五岳の首座を占め、「華山は古来一筋道」の言い伝えがある。登山路は険しいが眺望は抜群、山の緑に目を和ませながら鳥歌い、花香り、流泉ほとばしるさまに英気を養うことができる。

華山は東・西・南・北・中の5峰があり、東の峰は華山奇峰の一つ。頂上で台座に向かうと仏のご来迎さながらに朝日が昇り、「朝陽峰」の名がある。北の峰は「雲台峰」と呼ばれ、山容峻険、三面が切り立って、登山路は南面の道筋しかない。西の峰は蓮花の峰。頂上に「斧劈石」があり、天界に住む仙女と人間の男性との許されない恋、そして二人の間に生まれた男児・沉香が華山に閉じこめられた母を助け出すという『宝蓮灯』の物語を現代に伝えている。南の峰は華山の主峰「落雁（美女の意）の峰」で海拔 2154.9 メートル、その岩壁は人を寄せつけず、頂上には松や柏が青々と茂っているが、東の斜面には天空高く栈道がかかっている。中の峰は又の名を「玉女の峰」、東の峰の西壁につながり、東・西・南の三峰に通じるルートが隠されている。

大雁塔を凌ぐのか その噴水は

玄奘三蔵が天竺から持ち帰った経典や仏像を収めた大雁塔は仏教の聖地。その足下に唐文化のテーマパークで、音楽仕掛けの噴水と彫刻の広場を持つアジア最大の「大雁塔広場」がある。西安市民の憩いの広場であり、世界からやってきた観光客の目を驚かす広場でもある。音楽に合わせて噴水が大雁塔を`凌ぐ、高さを見せ、その`雲雨、`の中で大雁塔が涼を得ている。





大唐芙蓉園

大唐芙蓉園 夢は大唐をめぐる

人の心を震わせる唐風建築の数々、そしてどの観光スポットにもさまざまなイベント、エンタメが趣向を凝らしている。空に届けと太鼓の乱れ打ち、宮廷や梨園に集う楽人や艺妓の女たちの競演「教坊楽舞」、玄宗皇帝が仙女と月宮に遊び、仙女の舞を見たという「霓裳羽衣ルビ・げいしょうういの舞い」、少林寺拳法のパフォーマンス、獅子舞、高脚踊り、雑技……。

毎夜、水の銀幕に映し出される映画は、音楽と噴水とレーザー光線、火焰、水雷、水煙が一体となって見る者の官能を揺さぶる。

大唐芙蓉園のテーマを舞台化した大型舞踊詩劇『大唐の夢』はまさに夢幻の舞台で、世界最大の国際都市・長安の気宇壮大、闊達自在の世界を描き出し、休日には季節に応じて、爛熟期を迎えた盛唐文化の粋が披露される。



秦腔

羊肉泡饅 ルビ・ヤンロウパオモを食べ 秦腔ルビ・チンチアンを聴く

羊肉泡饅ルビ・ヤンロウパオモは、古くは羊羹ルビ・ようかんと呼ばれた。「西安に来たら何を置いても羊肉泡饅」と西安の作家・陳彦氏が言う通り、これを食べないでは帰れない。羊の肉や骨をじっくり煮こんだスープに、西安人の主食といわれる「饅ルビ・モー」をちぎって浸して食べる。少量の油しか使わないあっさり味の中に旨味が凝縮している。中国西北地区（陝西・甘肅・青海・寧夏・新疆）の各民族が好んで食べ、油っこい食べ物に飽きた人にもお勧め。

秦腔ルビ・チンチアンは又の名を乱弾。中国で最も古い劇種（地方劇）に属し、起源は陝西、甘肅一帯の地方劇と民間歌舞芸能で周代以来関中（陝西省の渭河流域一帯）では「秦」呼びならわされたので、この名が冠せられた。

秦腔は国レベルの無形文化財に指定され、中国全土にファンを獲得している。江南の穏やかな土地から生まれた昆曲が抒情性と繊細優美な節回し（旋律）を特徴とするのに対し、西北部の厳しい自然からは剛毅さと悲愴美をたたえた秦腔が生まれたといわれる。その節回しは「石破天驚」、「鬼神も泣く」激烈な劇的効果を及ぼし、世界にも人氣が広がっている。川劇の「変面（変臉）」と並んで、「火吹き」は秦腔だけの秘技。

秦腔観劇の後は西北の風味濃厚な羊肉泡饅にビールを添えて味わってみたい。

華清宮—兵馬俑 1日コース

第1日：華清宮、兵馬俑

まず中国最古の皇家の御苑（園林）の一つ華清宮へ。華清池は3000年以上の昔から周、秦、漢、唐歴代帝王が好んで遊び、温泉として避寒の時を過ごした。中でも玄宗皇帝と楊貴妃の纏綿たるラブ・ロマンスと白居易の『長恨歌ルビ・ちょうごんか』で歌われた「春寒うして浴を賜ふ華清の池」、楊貴妃入浴の彫像のある九竜湖、国内外に激震が走った「西安事変」の現場・五間庁（華清池の南東、驪山の麓）など、唐代から現代へと歴史の舞台が大きく回る。

華清宮を後に、西安城東の臨潼県の秦始皇帝陵1、2、3号坑と始皇帝の先導車・青銅の車馬展示ホールへ。兵馬俑は秦始皇帝の副葬施設の一つ。2000年の眠りから覚めて出土したその威容は誰しも息を呑むばかり。身に甲冑を帯び、手に武器を携えた出陣のいでたち、まなじりを決した戦士の表情、戦場の緊迫感は軍馬のいななきまで聞こえてきそう。圧倒的な迫力で見る者を歴史絵巻の一コマに引きこんでしまう。

青銅車馬の大寫し



西安—華山—乾陵—法門寺 2日間コース

第1日：華山遊覧

西安を出発、西岳華山のふもとへ。`天下第一の険、というだけでは言葉が足りない。絶叫ポイント続出の`世界一危険な登山道、だが、ご安心を。まずは世界有数の長さを誇るロープウエーで楽々登山。まず北の峰へ。ここには5人の剣侠が天下一を競った小説『射鵰英雄伝』の舞台「華山論剣」の石碑がある。東の峰へ行く途中には竜の背のような幅1メートルほどの尾根道を進む蒼竜嶺（手すりがある）、東の峰から南の峰へ向かって進むと、ハーネス（安全ベルト）をつけて幅数十cmの足場を`カニの横歩き、する「長空栈道」もあるが大丈夫、`恐怖のスポット、の多くには迂回路、別ルートが用意されている。北の峰（雲台峰）、東の峰（朝陽峰）、中の峰（玉女峰）、西の峰（蓮花峰）、南の峰（落雁峰）など、道士たちが修行をし、仙人が雲に乗って飛翔した西岳華山の山岳美を、仙人になったつもりで体験したい。

第2日：乾陵

乾陵は唐3代皇帝高宗李治とその皇后で中国史上唯一の女帝・武則天（則天武后）、4代・6代皇帝の中宗李顕（高宗と武則天の子）の長男李重潤（懿徳ルビ・いとく太子）が合葬されている。二人の皇帝が夫婦として一緒に葬られているのは中国史上で唯一。乾陵の東南に、唐6代皇帝の中宗李顕（高宗と武則天の子）の長男である李重潤（懿徳太子）の墓がある。李重潤は当時の皇太后（武則天）に不満を持ったため19歳で自殺に追いこまれた。中宗は在位2ヵ月で武后のために廃位され、武后政治の失敗で8年後に復位したが毒殺された。李重潤の遺骸は中宗が即位した後、乾陵東南の隅に移し陪塚とした『懿徳太子』は中宗が即位した後に封じられた呼び名。



華山論剣

壺口瀑布—延安—兵馬俑 3日間コース

第1日：黄帝陵軒轅廟—壺口瀑布

バスで黄土高原を走り、陝西省北部、延安市皇陵県の北にある黄帝陵へ。中華民族の祖先と考えられている炎帝と黄帝。その黄帝陵（軒轅ルビ・けんえん廟）を訪ね、黄帝手植えの柏、胃を掛けた柏、黄帝の足跡などを見る。次いで宜川へ行き、黄河で最大、中国で2番目に大きい滝である壺口瀑布へ。

第2日：延安聖地

バスで中国革命の聖地・延安へ。延河大橋から延安のシンボル宝塔山を見る。自然景観と革命の故地が一つとなった名所で、宝塔山唐の時代に建造され、高さ44メートルの9階造り。旧跡の「ナツメ園」、楊家嶺（毛沢東旧居）、中共七大会の跡地を回って西安へ。

第3日：華清宮—兵馬俑博物館

臨潼県驪山北麓の華清池へ。中国歴代皇家の離宮、園林と温泉、唐玄宗と楊貴妃ゆかりの華清宮をめぐり、華清池、貴妃池、そして西安事変旧跡の環園、五間庁を見る。

再びバスで兵馬俑博物館へ。世界の「八大奇跡」、秦始皇帝陵博物院の1、2、3号坑と青銅車馬展示ホールを見る。



壺口瀑布

西安—延安 4日間コース

第1日: 西安—兵馬俑—華清宮

西安城東の臨潼県へ。`世界八大奇跡`に数えられている「秦始皇帝陵1、2、3号坑と始皇帝の先導車・青銅の車馬展示ホールを参観。次いで中国現存の唯一の皇家温泉である華清宮へ。中国近代史上、国内外に激震が走った「西安事变」の現場・五間庁を見る。

第2日: 黄帝陵軒轅廟—壺口瀑布

中華民族の祖先と考えられている炎帝と黄帝。その黄帝陵（軒轅ルビ・けんえん廟）を訪ね、次いで黄河で最大、中国で2番目に大きい滝である壺口瀑布へ。



黄帝陵

第3日: 延安—西安

中国共産党中央書記処の旧跡の「ナツメ園」、楊家嶺（毛沢東旧居）を見る。延河大橋から延安のシンボル宝塔山を眺めて西安へ。

第4日: 西安市内

明代建造時の威容をそのまま現代に伝える西安城壁、古都長安爛熟の美を見せる大唐芙蓉園、大型歌舞劇『大唐の夢』、大雁塔北広場でアジア地区最大の音楽と噴水と映像の一大祭典を見る。さらに鐘楼、鼓楼広場をめぐり、夕刻を告げる太鼓の音を聞きながら回民の美食街へ。

西安—延安—乾県 5日間コース

第1日: 秦始皇帝陵—華清宮

バスで臨潼県の「秦始皇帝陵」へ。次いで中国に現存する唯一の皇家温泉・華清宮を回って「西安事変」の現場・五間庁へ。

第2日: 黄帝陵軒轅廟—壺口瀑布

西安から西銅高速道路を經由、黄帝陵と軒轅廟ルビ・けんえん廟を訪ねる。黄帝陵は中華民族の聖地で、華僑から「アジアのメッカ」と言われている。次いで黄河で最大、中国で2番目に大きい滝である壺口瀑布へ。(車で3.5時間)

第3日: 延安

壺口瀑布から延安へ。中国共産党中央書記処の旧跡の「ナツメ園」。帰路、延西高速道路を経て西安へ向かう車窓から黄土高原の「黄色い大地」を一望にする。陝西省北部に広がる黄土高原の荒々しい地形は、縦横に刻まれた無数の谷と切り立つ段丘、広々とした台地、そして段丘を穿つ窑洞ルビ・ヤオドン(洞穴式住居)……世界のどこにもない風景を満喫する。



法門寺大殿

第4日: 乾陵—法門寺

西安から乾県へ。唐代陵墓——唐懿徳太子と永泰公主墓、唐代の宮廷女官壁画を鑑賞。唐3代皇帝高宗李治とその皇后で中国史上唯一の女帝・武則天(則天武后)二人の皇帝が夫婦として、そして世界唯一の両王朝の帝王として合葬され、二つの峰からなる乾陵は長大な参道と合わせ、壮大な規模で知られている。

次いで「千歳の仏教聖地、万世の人文経典」と讃えられ、釈迦牟尼の真身舍利が収められている法門寺文化景勝区を回り、車で西安へ。

第5日: 大雁塔—城壁—鐘楼—鼓楼

西安市内の観光スポットを周遊。大雁塔、音楽と光と噴水の広場、西安古城壁、西安鐘鼓楼広場、「晨の鐘・夕べの鼓」の古都散策。



兵諫亭

「西安事变」旧跡

「西安事变」は中国重要文化財保護遺跡。張学良公館、西安事变指揮部（楊虎城公館）、新城黄楼、止園、高桂滋公館、西京招待所、華清宮五間庁、兵諫亭など8カ所が指定された。

張学良公館は建国路 69 号（原金家巷1号）、1932 年に建設され、東西に3棟並んだ3層の洋式建築。周囲に塀をめぐるし、東の棟は機密部門、中央は客室と会議室、西の棟は張学良の個室（3階）だった。西安事变発生後、周恩来、葉剣英は中国共産党代表团（略称：中共代表团）を率いて西安に乗りこんで東の棟に投宿し、中共代表团は張学良、楊虎城と会談、南京政府代表团とも折衝しながら中央の棟に滞在した。

止園は北大街青年路にあり、1933年に建てられた。丸天井、飛檐、琉璃瓦、朱塗りの柱の中国伝統の宮殿様式だった。西安事变の前夜、張学良、楊虎城はここで秘密裏に兵諫（命令なしで兵を動かし、上官に諫言すること）を発動した。1936年、12月17日、周恩来が自ら止園に乗りこみ、事変の平和的解決を促した。1982年、張学良公館は「西安事变記念館」となった。

東岳廟

東岳廟は西安市東門内昌仁里にある。東岳とは泰山を指し、古来封禅ルビ・ほうぜん（天子が行った天地の祭り）の儀式が行われる山として名高い。歴代の統治者は高山に靈性を認め、廟を建てて祭儀を行ったため、東岳廟は全国各地にある。西安の廟は北宋政和6年（1116）、明弘治年間（1488-1505）と清光緒21年（1895）、改修が繰り返された。廟は大殿、後殿、東西両側の覆堂と三座の門からなり、石の牌坊が置かれた。大殿の作りは豪壮で、東西の壁面には彩色の壁画が描かれ、宗教的な枠組みを超えて楼閣の美人画などが好まれた。元、明代の気韻が伝わってくる。

灞橋



灞橋ルビ・はきょうは西安市の東10キロ、灞水に架かる橋。『詩思は灞橋の風雪の中、口バの背の上にあり』…古来、詩人が多くのインスピレーションを得た橋でもあった。春秋戦国の時代、秦の穆公ルビ・ぼくこうが西戎に覇を唱えて滋水を灞水と改名し、架橋したことから「灞橋」の名が与えられた。

灞橋は秦国が東方に進出する際の要路となり、隋の開皇3年（583）、灞橋の南に南橋が架け替えられてから歴代の皇帝によって改修されてきた。橋の広さは2.4～2.53メートル、アーチ型橋脚間の距離は4メートル、砂岩などの石材で全長400メートルの多重アーチ橋梁となった。唐の時代、灞橋で多くの別れの場が演じられ、「送別の餞に柳枝を贈る」風習が詩にも歌われて、灞橋は悲しみの「涙橋」となった。「灞柳風雪」は「関中8景」に数えられている。

八路軍駐陝西事務所旧跡

陝西省駐在の八路軍事務所旧跡は西安市北新街の七賢荘にある。七賢荘第1、3、4、7号院を含めて、1936年に建てられた。1号院は拠点にレンガと木組みの平屋で切妻屋根、地下室も設けられた。3、4、7号院も基本的に同じ作りで、3、4号院は下部要員の居室、七号院招待所の宿泊施設だった。「西安事変」が平和裏に解決した後、中国共産党は西安市七賢荘一号院に「紅軍連絡所」を設立した。

西安都城の城隍廟

城隍廟ルビ・じょうこうびょうは城（城壁）と隍（堀）の守り神を祭る廟所。明洪武20年（1387）に創建された。建築当時を伝えるものはほとんど残されていないが、清雍正元年（1723）に大殿のみが遺構を残されて、屋根組み、軒のせり出し、堂々たる寺院建築が姿を現した。瑠璃瓦の屋根、開き戸には図案化された花紋が浮き彫りにされ、精妙な匠の技が発揮されている。明嘉靖年間（1522—1566）に鑄造された銅の獅子一対が堂内に置かれていたが、今は西安碑林博物館の正門前に移されている。



西安都城の守り神・城隍廟

宝慶寺塔

宝慶寺塔は西安市南門内書院門街の北側にある。隋文帝仁寿元年（601）、大興城安仁坊内に宝慶寺が創建され、仏塔は唐太和、開成年間（827—840）、五色のレンガ作りで建てられた。後に寺は打ち壊されて塔だけが残し、明と清代に数次の改修が加えられて現存する塔は明景泰2年（1451）に再建されたもの。六角七層、各層の軒が近接する密檐ルビ・みつえん式の仏塔となった。高さは23メートル、第2、第3層の6面と第6層の真東向きの仏龕ルビ・ぶつがんには、北魏、隋、唐代の石仏13座が収められている。

清真寺

イスラム寺院の清真寺は西安市内西北隅の化覺巷にある。唐天宝元年（742）、明洪武25年（1392）に再建された。西側に座し、東面して敷地面積1.2万平米、建築面積4000平米。堂宇は東西方向の中心軸に沿い、中国伝統の四合院に則って配置されているが、規模はさらに大きく、四つの中庭を経た奥に前後の本殿が座している。省心楼、鳳凰亭、朝陽殿、合わせて「五鳳朝陽殿」と呼ばれている。大殿は千人の礼拝者を収容し、明代の風格を保ちながら彩色の井桁天井（藻井ルビ・そうせい）や仏龕にはイスラム式の唐草模様が見られる。西端の本殿が礼拝に供され、堂屋には7本の柱が重々しくそびえ、階段はすべて白石が用いられ、精緻な彫刻が施されている。



関中書院

関中書院

関中書院は西安市南城門内東側書院門街の中ほどにある。明万暦 37 年 (1609) に創建され、陝西の最高学府となった。当時、著名な思想家で政治学者・馮從吾（一徹な性格で知られ、皇帝の勘気に触れて引きこもり、さらに学問を深めた）が講義し、書院の規模はさらに拡大した。清の康熙 3 年 (1664)、西安の府知事・葉承祧、咸寧県（今の長安区）知事・黄家鼎らが率先して書院跡を拡充し、関中書院を督学の府とした。清光緒 32 年 (1906)、書院は廃されて学校となった。後に陝西省師範学校となり、1963 年以降、西安市第五中学の校舎となったが、現在は西安師範学校跡として保存されている。

銅人原

銅人原は西安市の東南 10 キロ、漢長安城東門の南寄り、灊河以東の黄土高原にある。西漢の時代は墳墓の地だった。「銅人原」の名には歴史の謎がつきまとっている。秦始皇帝は天下平定の後、全国からすべての兵器を集め、巨大な「十二金人」を鑄造させたが、金人が銅人だとすると、それはどこへ行ったのか？ 漢 11 代成帝はここに呂陵（呂太后の墓）を築こうとしたが、莫大な費用を要するため儒学者・文献学者の劉向ルビ・りゅうきょうらの諫言によって中止となったという説がある。呂陵の遺跡はなお存在するが、地元の農民は「八角瑠璃井」と呼んでいる。しかし、角瑠璃井は安徽省宿州市にあって、春秋時代、馬昭儀が皇后の遺児を伍子胥に預けて身投げしたのがこの井戸だというのが……。

曲江池

曲江池は西安市の南約5キロ、隋朝の宇文愷ルビ・うぶんかいが大興城を設計したとき、漢代の曲江を掘ってできたのが曲江池で、杜甫が「長安水辺 麗人多し」と歌ったのはまさにこの曲江池畔の風物。唐代は宮殿、亭台樓閣が連なり、毎年旧暦の3月3日の上巳ルビ・じょうし、7月15日の中元、9月9日の重陽には皇帝が嬪妃ルビ・ひんきを伴い、皇族や宮廷の貴顕が参集して歌舞管弦の飲を尽くすのも、科擧の試験で進士及第を果たすとき一族郎党が祝賀の宴を張るのもここ曲江の池畔で、長安の都人もこれを見物に集まった。天寶末年、安祿山の乱（755—763）によってここは破壊し尽くされ、現在の曲江池は緑豊かな一面の平地で、彩霞亭、紫雲樓の遺跡にかろうじて往時をしのぶことができる。

回民街

西安の回民街は昔から音に聞こえた美食街。西安に来てここに寄らなければ、末代まで悔いを残すだろう。西安市の中心鐘楼から西へ徒歩で 100m ほど、鼓楼を通過すれば回民街が見えてくる。回民区の通りは約 500 メートル。南北に走り、青い石板が敷き詰められ、緑樹は濃い影をなし、道の両側は明や清を模した街並み。どの店もほぼ回民の経営で、濃厚なイスラム情緒を味わえる。



鏡糕

回民街の美食の特徴は主に小吃ルビ・シャオチーにあり、羊、牛肉がメインの役割を果たす。特に回民は小吃に腕前を発揮し、エスニック風味のバラエティーは味にうさい西安人士、世界の食通を唸らせるものがある。その代表的なメニューは別項。

永興坊

回民街がエスニック風味で人気なら、永興坊は地元陝西省伝統の味覚を「売り」にしている。「坊」は古都長安の区画割りの一ブロック。永興坊は「長安百九坊」の一つで、1400年の昔、唐朝初期に名相・魏征の邸があったところだった。魏征は皇帝への諫言を厭わない熱誠の人、太宗李世民も快く諫言を受け入れた。魏征の精神は現代に受け継がれ、「魏征の宴会」と言えば誰憚ることなく「何でも口にする」——つまり、食べることへの熱誠を表す言葉になった。永興坊は「悔いを残さず、恨みを残さず食べ尽くすグルメの街」として活況を呈している。

永興坊は城壁中山門、順城巷の傍にあり、陝西南部と北部、関中の味覚をすべて網羅している。永興坊は中国初めての無形文化遺産をテーマとしたグルメ街区で中国各地の名物、「魏征の宴会」メニュー、陝西無形文化遺産の宴など、108種類がある。無形文化遺産の継承人が自ら腕を振るい、居ながらにして陝西各地の名物料理を味わえる。

西安は「長安百九坊」の街であり、また「陝西(関中)八大怪」の街でもある。国



永興坊

クリップボード

西安は「長安百九坊」の街であり、また「陝西(関中)八大怪」の街でもある。国際都市西安は多民族の歴史、文化、気候、風土、気質、美意識、行動形態、そして衣食住のすべてに「陝西(関中)八大怪」がスタンプされている。現在の永興坊は関中(黄土高原の南、嶺南山脈の北)に加えて陝北、陝南の味覚も加え、「オールド西安」の風味にこだわりを見せている。永興坊は長安百九坊の縮図であり、長安百九坊の縮図であり、「八大怪」を列挙すると、①うどんはぶっとく、ベルトの幅ほどなきやならぬ。②焼き餅は鍋の蓋ほどなきやならぬ。③何はなくても赤トウガラシ。④盆ほど大きい飯碗で菜をありたけ盛りつきり。⑤タオル一枚頭に乘せりや、雨除け、風よけ、日焼け止め⑥木材なくても家は建つ。黄土の土を積みばいい。⑦飯を食うときや膝つき合わせ、しゃがんで仲よく食べるもの。⑧秦腔ルビ・チンチアンは歌っちゃならぬ。腹の底から叫ぶもの。

いかがだろうか。関中人の剛直、実直、怪(タフ・ガイ)さが伝わってくるのではないだろうか。



長安水辺 麗人多し」永興坊の古典美女 永興坊

涼皮（ルビ・リアンピー）

西安の涼皮の種類は数多いが、材料は小麦粉と米粉、麺皮と米皮の二つに分けられる。麺皮の色は米皮よりやや黄色くなる。米皮の肌は白く透き通って、西安市鄠邑ルビ・こゆう区秦鎮の米が最上とされている。作り方は独特で、殻をすりつぶし、上等のトウガラシやスパイス、香料を混ぜて碾き、油を加えて煮詰め、ラー油を作る。これをまぶした麺は火のように赤く、酸味に加え、ピリ辛が火と燃えて口中爽やか。モヤシの黄色と芹の青さが絶妙の取り合わせとなる。

麺皮を食べる際に生麸と一緒に和える習慣がある。生麸の作り方は日本と同じで麺皮を作る際の副産物。スポンジのような穴があり、出汁をよく吸いこむから、ラー油とピリ辛ソースの塊となる。しかももっちりした歯ごたえがよくて芳しく、この旨味は食べてみないと分からない。

涼皮を食べるとき、客は自分の好みと辛さの度合いを見せによく伝えるのが大事。トウガラシを少なくとか、麺を多くとか、ニンニクは入らないとか希望を聞いてくれる。もし、辛くて食べられないときは、店が油をたらして調合してくれる。



涼皮



ビャンビャン麵

ビャンビャン麵

この麵を漢字で書くと 50 画を超えるから、このパソコンでは打ち出せない。これぞ西安というべき、手延べでしっかり延ばした「関中八大怪」の「ベルト麵」。日本人は麵をすすめる人が多いが、この麵はすすろうとしてもすすれない。碗の底にモヤシや青野菜、赤トウガラシ、ニンニク、具材を敷き、大しゃもじっぱいの焼けた油を回しかける。ビャンビャン麵の看板は西安市内のどこでも見かけるので、この字を書けるようになって帰ってほしい。

牛肉と羊肉の泡饅 ルビ・パオモ

泡饅はあまりにも知られた西安名物。主な材料は良質の牛肉か羊肉、そしてナンパイ生地のような饅ルビ・モー。まず牛肉や羊肉や骨をじっくり煮こんだスープに、小指大にちぎった饅を春雨やキクラゲなどと一緒にに入れて煮こみ、シロップ漬けのニンニク、トウガラシ味噌、ゴマ油、香菜などを添えて食べる。

旨味を煮出した濃厚なスープに饅がよくからみつるりとした食感が楽しい。食後にスープをすすると、口いっぱいの香ばしさが鼻から抜ける。一年中食べられるが、やはり冬にお勧めしたい。食べるのに適した時間は、早朝からお昼まで。できたてのスープが味わえることと、饅の腹持ちがいいので、夕食に食べると、ほかの料理が入りにくくなるから。

羊肉泡饅



油潑麵 (ルビ・ヨーポーメン)

油潑麵ルビ・ヨーポーメン

陝西・関中（黄土高原の南、嶺南山脈の北）で誰もが日常に食べている麺。日本の「油麺」そっくりだが、関中人のこだわりは関中産の小麦を使うことと、「関中八大怪」にあるように「ベルトほどの長さで厚みと幅広さ」に手延べして、もっちり感、腰の強さを出さなければならない。

作り方は普通のうどんと同じだが、熱湯から出した麺にネギのみじん切り、サンショウの粉、そして何よりも、赤トウガラシを麺の上に厚く層をなすまで敷き詰めなければならない。これも「関中八大怪」に「何はなくても赤トウガラシ」とある。焼けたアブラナの油を赤トウガラシに注ぎかけて、できあがり。トウガラシやサンショウが焦げるときの香ばしさ、油にまみれてトウガラシが発する赤い光に恍惚となれば、あなたも関中人の仲間入りができる。好みで適量の醤油、酢を加えるもよし。

鍋盔（ルビ・グオクイ）

鍋盔（ルビ・グオクイ）は平底の鉄鍋でクレープ状に焼いたもの。熱さ5〜6ミリ、直径は6センチほど。鍋の蓋のようにも言える。平鍋型の帽子を鍋盔といったりする。この起源は乾陵造営のときに遡る。工期に追われ、監督官の督励は苛烈を極め、工事人や動員された兵士たちは、うかうか食事していると、工事が遅れて厳罰を受けることも度々だった。一人の兵士が知恵を出した。鉄兜に麵をこねて生地を作り、火に烤ると焼餅（ルビ・シャオピン）ができる。これを真似る人が続出し、工事現場は香ばしい匂いに包まれた。監督官はこの`異ルビ・いなる、食品の味見をして都へ送った。それ以来、朝廷は毎年鉄兜の配給を続けた。この鉄兜で作った「お焼き」は「鍋盔（ルビ・グオクイ）」と呼ばれるようになり、一般庶民の間にも広がった。今、街で売られている鍋盔は、こねた小麦粉を円盤状に伸ばして、中に牛肉や小豆といった餡を入れて焼いたもの。焼き上がった鍋盔に、お好みでピリ辛ソースを表面に塗ってくれ、辛さの程度も希望を聞いてくれる。

肉夾饅（ルビ・ロウジャーモー）

2種の食品の絶妙な取り合わせ。12月（臘月）の寒風にさらした上等の豚のバラ肉を煮こんだ臘汁肉（ルビ・ラージーロウ）を用い、これを挟んだ白吉饅（ルビ・バイジーモー）を食べるのが最高とされている。白吉饅は半発酵のパンで作り、その名の通り、白玉の肌に焼き色が美しく、外側はさくさく、中はもちもちの食感。西安式ハンバーガーと呼ばれ、内外に広がっている。

臘汁肉は中国の戦国時代（前4765—前221）に「寒肉」と呼ばれて存在し、盛唐期（650—820）に白吉饅と組み合わせられたという。西安の臘汁肉は30種類ものスパイスを配合し、その材料のよさと火加減にこだわりがあり、秘伝のたれは追従を許さない。



肉夾饅

石子饅（ルビ・シーズモー）

陝西・関中地区には風変わりな焼餅ルビ・シャオピンの作り方がある。石子饅（ルビ・シーズモー）とも乾饅ルビ・ガンモーともいう。はるか昔からの製法で何とも原始的で、石器時代の「遺風」とか中国食品の「生きた化石」といわれるのも無理はない。調理道具は小石だけ。これを焼いて熱し、油でこねて溶かした小麦粉を薄く乗せるだけ。焼き上がりは、ぱりぱりして「塩煎餅」のように香ばしい。しかも保存して長持ちする。焼き芋を熱した小石の焼窯で作っているのを日本で見たことがある。

この石子饅には面白い言い伝えがある。唐の時代、同州（今の陝西省大荔ルビ・だいいい県）で、これを「煎餅ルビ・ジエンピン（当時は鑿餅ルビ・アオピンと呼んだ）」として、皇帝に献上しようとした者がいた。こんな粗末なものと咎められて捕らわれ、役所に引き立てられた。同州の人間は元来強情で剛直な性格で、「これを懷に隠し持っていく。牢屋で飢えないように」と言い、すでに作って用意していた。これさえあれば、たとえ投獄されようと、命をつなぐことはできると。これ以後、石子饅は長旅の携行食として重宝されるようになったという。即席ラーメンの流行よりはるかに早く中国の歴史に登場していた。

石子饅



葫芦頭（ルビ・フルートウ）

葫芦（ルビ・フルー）は瓢箪の意。葫芦頭（ルビ・フルートウ）は漢族の小吃（ルビ・シャオチー）で、北宋の時代（960—1127）、街の市場で売られていた「ホルモン焼き」が始まりだという。羊の腸は脂がのって、形が瓢箪に煮ているところから葫芦頭（ルビ・フルートウ）と呼ばれるようになったという。

食するとき、客はパイ生地のような饅（ルビ・モー）を自分で小指大にちぎり、料理人はそこへ葫芦頭、ナマコ、鶏肉、イカなどを乗せ、煮詰めたスープを3、4度注ぎ、さらにラードや青野菜を添える。客はこれにシロップ漬けのニンニクやトウガラシ味噌をたっぷり乗せて食べる。これが長安の都に伝わって大流行、現代に伝わる「名菜」になったという。

1930年代になると、具材としての葫芦頭は、海産物や豚肉なども多く用いられ、スープにも鶏ガラなどが使われて味はいはさらに濃厚になった。葫芦頭は「白モツ」のうまさ、さっぱりとして、こりこり、しこしこの食感は内臓嫌いの人にも好評だ。上等なご馳走であると同時に、秋から冬にかけて、極上の滋養剤ともなっている。

078

美食



蜜餞糕

蜜棗甌糕 ルビ・ミザオゾンガオ

蜜棗甌糕ルビ・ミザオゾンガオは乾しナツメともち米を材料に蒸し器で作った菓子。甌ルビ・こしきとは底に湯気を通す小さな穴を開けた容器で、湯釜の上に乗せて用いる。甌は原始社会の後期に木製が作られ、新石器時代には陶製、商周時代には青銅製、鉄器が作られてからは鉄製が一般に出回った。鉄製の甌は円筒形で、底に小さな穴がいくつも開けられている。現在はブリキ製のものがほとんどだが、蒸し上がりの粘りけは陶器のものが断然優れている。乾しナツメの代わりに小豆を入れると、日本の「おこわ」になる。

もち米の粘りと甘いナツメが融け合って、色つやがよく、栄養豊富で腹持ちがよい。大人にも子どもにも喜ばれる味だ。



目移りする餃子の祭典

079

美食

餃子宴

西安が自慢とする小吃ルビ・シャオチーの中で、どんと太鼓判を押すのは、やはり「餃子宴」。この名がつく宴会は各地に山ほどあるが、本家本元はやはり「西安餃子宴」といわざるを得ない。その最大の特徴は、100種を超える餃子が目の前に並んだとしても、一つ一つの餡が違い、握り方が違い、姿・形がみな違う。その肌は玲瓏たること玉の如し、あるいは蒸して、あるいは焼いて煎って鍋に入れて、見た目も味も百花繚乱、千変万化、その一つ一つに雅致のある名称と逸話がこめられている。

西安餃子は「百花宴」「牡丹宴」「竜鳳宴」「宮廷宴」「八珍宴」の5コースに分かれている。180余種の色彩、造型、味、香り、すべて極めつけ。これは祭りだ。

老童家臘羊肉

西安市きっての超有名店。1900年、北京に各国連合軍が乱入したとき、西太后は光緒帝と共に西安に逃れた。ここで出会ったのが臘月(12月)の寒風にさらした浸け干しの肉、臘肉(ルビ・ラーロウ)。豚肉ではない、何と羊の肉だった。その店の名は老童家。口のおごった西太后が一口食するや、口を極めて絶賛した。兵部尚書(大臣)の趙福橋の師・邢庭維は「輦止坡ルビ・れんしは」の三文字を揮毫し、西太后の鳳輦ルビ・ほうれんお立ち寄りのお墨付きを主に与えた。主は平伏し、これを額にして表門に飾り、その名声は世界中に知れ渡った。きれいな赤身はナイフを入れると透明な筋が見え、ほどよい弾力が老舗の味を作っている。食事にも酒のお伴にもお持ち帰りにも一度お立ち寄りを強くお勧め

出発の準備



地下鉄コンコースの壁画

空路

西安咸陽国際空港は西安市から 25 キロ、西安市の西北、咸陽市の渭城区に位置する。中国の枢要な空港の一つで、国際定期便が発着回数は世界でも百位以内の上位にランクされている。中国に 72 時間ノービザで入国できる空路の開港地となっている。

西安咸陽空港の飛行区は 4 F 級で、ターミナルビルは T 1 ターミナル、T 2 ターミナル、T 3 ターミナルの 3 棟を持ち総面積は 35 万平米。滑走路は 2 本、3000 メートルと、3800 メートルで、世界最大級の A 380 が昇降できる。駐機エプロンは 127 カ所、ボーディングブリッジは 40 余、ピーク時の離発着は毎時 1 万人に達する。咸陽空港は国内外の航空会社 60 余社と通航業務契約を結んでいる。

西安咸陽国際空港は市内の主要地点、主要道路を結ぶ直通の大型バスを運行し、多くの公共交通の路線と接続している。西安駅から空港まで 30 キロ、タクシーで 40 分の距離にある。



西安咸陽空港

道路

西安は中国陸域の中央部にあり、中西部2大経済圏の接点に位置している。さらに西北地域と中原地域、華北、華東各地との往来に、西安はその結び目になっている。9本の高速道路が西安で出会って陝西省を貫き、また西安から周辺の省市へ「米」の字の幹線道路を形成している。ハイウエーは総延長 2800 キロ、5本の幹線道路を擁し、バイパスの高速道路、空港新線、第2、第3の環状線も全面開通している。

鉄路

西安には三つの鉄道駅があり、西安駅、西安东駅、西安北駅と分かれている。

西安駅は中国西北部の中枢の一つで、中国旅客専用の特等駅。旅客輸送量は全国のトップクラスにある。西安北駅は超高速鉄道の超大型駅。西安东駅は長安区にあり、西安駅から 43 キロの距離にある。



西安北駅

地下鉄

西安は地下鉄網が発達しており、1号線、2号線、3号線、4号線と空港線に5路線が営業している。総延長161.46キロ、107駅、乗り換え駅は7駅。中国語と英語のアナウンスをしており、全駅で安全検査を実施している。携帯するすべての荷物はX線の検査を受け、運搬の液体は個別に液体検測機にかけるか、あるいは係員の目の前で飲んで見せて、その目測を受けなければならない。乗客の安全のために、可燃物、爆発物有毒の危険物の携帯は禁止されている。

1号線はシルクロードゆかりの地点を經過し、蓮湖公園、半坡遺跡博物館、大唐西市などのスポット、2号線は沿線には鐘楼、鼓楼、小雁塔、碑林、陝西自然博物館など、3号線は大雁塔、陝西歴史博物館、長楽公園、青竜寺など、4号線は大明宮遺跡公園、大唐芙蓉園、大唐不夜城など。空港線は北客駅から空港西駅への乗り換えに便利。



地下鉄4号線

公共交通

西安市は環境保護の観点から「公共交通優先」を唱導している。西安の公共交通網は完備しており、400 余の路線を持ち、その 90%以上がエアコン付きで快適に利用できる。

タクシー

西安市のタクシーの乗車料金は排気量 1.8 リットル以下の車は昼間の初乗り料金は 9 元、夜間は 10 元、1 キロごとに 2 元加算される。1.8 リットル以上は昼間 9 元、夜間は 10 元、1 キロごとの加算料金は 2.4 元になる。1.8 リットル以上 2 キロ、1.8 リットル以下 3 キロ以内は初乗り料金のみ徴収。夜間の 23 時から朝 6 時までは割り増しとなり、1 キロごとに 0.3 元加算される。

西安市内にはレンタカーのサービスを提供してくれる会社がたくさんあり、空港、旅客駅にレンタル、返却のカウンターを設けられているため、とても便利。

通信

市内では携帯の通信信号カバー率は比較的高く、Wi-Fi（無線対応のネットワーク）の普及率も年々高まっている。近年、一部の観光スポットでは無料の Wi-Fi も実現しているが、遠隔地や山間部では電波が微弱になっている。

ベストシーズン

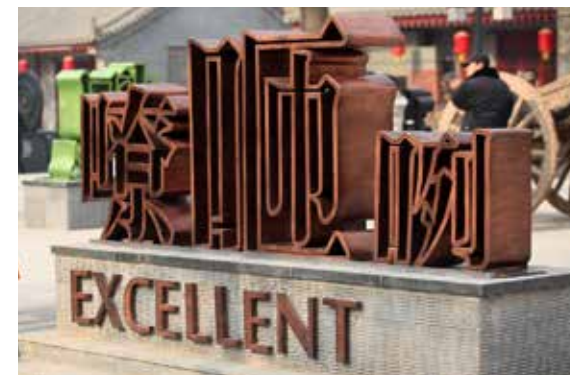
西安は暖温帯に属し、半湿潤の大陸性季節風の気候帯にある。気候は温和で、雨量は適宜、日照は充足、冷暖乾湿の四季がはっきり分かれている。

西安の年平均気温は 13 度、春は 3—5 月に開花し、天高く秋爽の季節は 9—11 月。西安旅行は春、秋のこの期間が最も快適な時節。西安で名所旧跡の周遊は天候に影響されることは少ないが、春暖と秋爽の好季節の魅力は捨てがたい。しかし、かつて冬の旅路を阻んでいた冬將軍は、寒さ知らずのホテル、至便化された交通機関に道を譲り、近年は冬の風情を求める旅客が増え、夏の激しい陽光に身をさらすことなく、冬の古都にふさわしいファッション、ウインタースポーツも西安旅行の楽しみになっている。とはいえ、曲江池や驪山、翠華山を訪ねるのは、やはり花満ちる春、全山紅葉の秋、これも西安ならではの観光スポットといえる。そうです。西安は春夏秋冬いつ来ても、何回来ても素晴らしいところです。

言語と文字

西安人が話す言葉は陝西関中方言に属する。関中東府(西安)方言を「陝西弁」の代表とするのは、陝西西府(宝鶏、咸陽西部地区)に対し、「普通話(北京語を基礎にした共通語)」の影響を受けながらも「古音」「古詞」の影響を色濃く残しているからと言える。

西安居住の少数民族は自分たちの言語を話す機会はあるが、大多数は漢語を主体としたコミュニケーションを行っている。

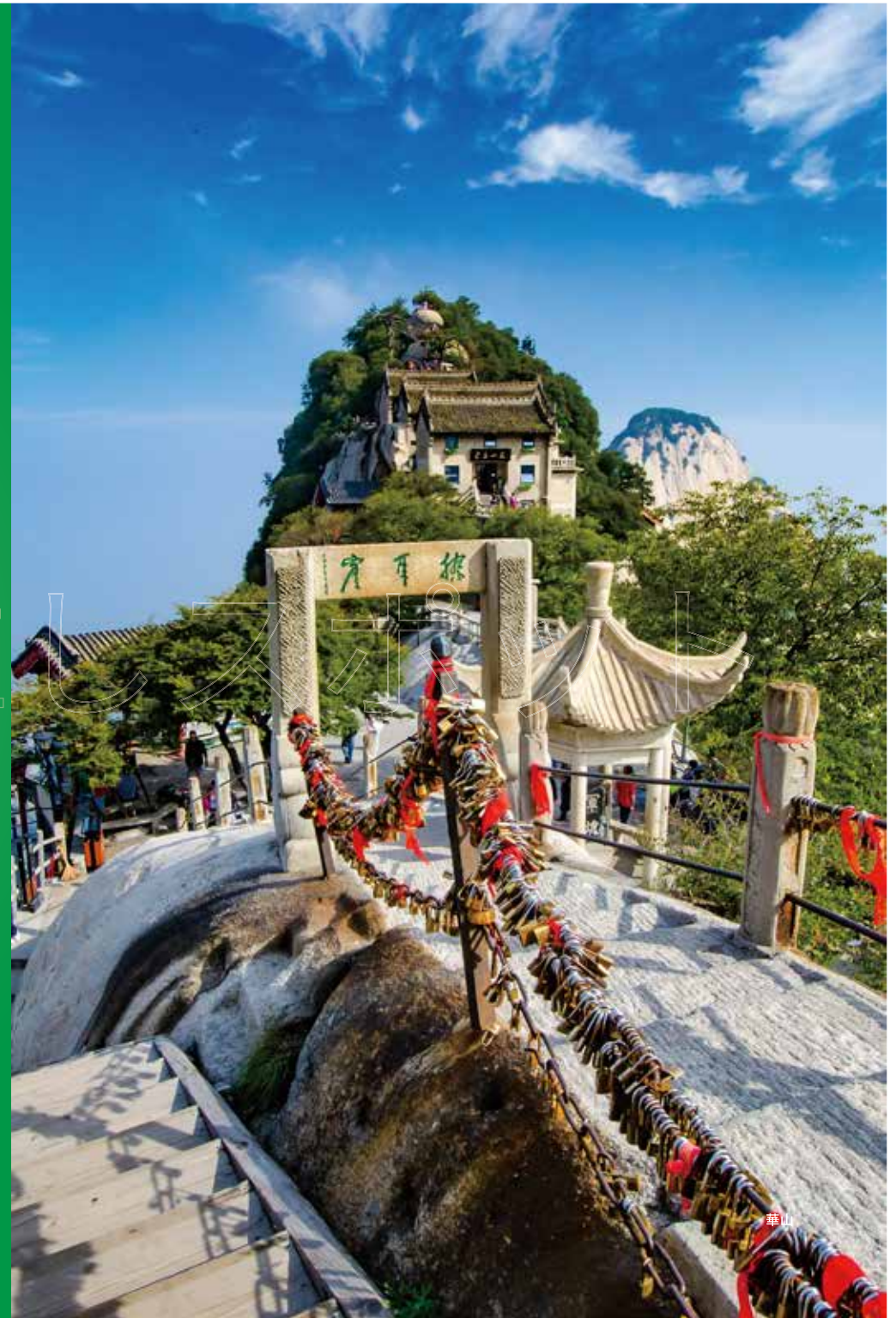


方言を教えるポップ宣伝



方言を教えるポップ宣伝

西安の一押しスポット



094

未央区

095

未央区

西安の一押しスポット

滻灞ルビ・さんは国家湿地公园／漢城湖公園／未央宮遺跡／漢長安遺跡

滻灞国家湿地公园



古城紹介

未央宮ルビ・びおうきゅうは、前漢（前 202—8）の時代、長安の南西部にあった宮殿で皇帝の居場所。現在の西安市未央区は今なお森と湖の恵まれた自然環境の中にある。古都長安を育んだ渭河の大水系と関中平原（渭河平原）は「秦川八百里」といわれ、「八水に浮かぶ」古都西安市は全国の大都市の中で最大の水域面積を持ち、域内の水域面積は 20 平方キロ、森林率は 35%を超える。

漢城湖公園、渭河湿地公園、未央湖遊楽園、滻灞国家湿地公园は西安の新しいエコロジーズンとして未央宮と共に今再生しようとしている。未央区は千年の帝都であり、漢王朝発祥の「竜興の地」。その前後に 13 の王朝が未央に建都した。秦の阿房宮、漢の長安城、唐の大明宮の遺跡は現代文明に新しい光を投げかけようとしている。

千年の帝都「竜興の地」へ

古代文化の光を求めて

お薦めコース

唐大明宮遺跡—漢長安城遺跡—秦阿房宮遺跡—秦未央宮遺跡

八水に浮かぶ 森の都

大渭河水系エコロジーズン、西安市内水域面積最大の区

お薦めコース

漢城湖国家水利風致地区—渭河湿地公园—未央湖観光休暇村—滻灞国家湿地公园

滻灞国家湿地公園

滻灞国家湿地公園は西安市の東部に位置し、総面積 7.98 平方キロ、渭河に注ぐ灞河ルビ・けいが、灞河に注ぐ滻河ルビ・さんが、公園は典型的な河口湿地の特徴を残している。「八水長安を繞ルビ・めぐる」風光は「渭城の朝雨」「涇渭分明（清濁交わらない喩え）」「灞橋の風雪」などの名文句でも知られ、多くの日本人にも親しまれて口ずさまれている。植物 48 科・180 種、動物 27 目・50 科・150 種が生息する豊かな自然は、中国西北地区における国家湿地公園プロジェクトの一つ、エコロジーズーンとして保護され、公園内は自然の保育回復区、生態展示区、遊覧区、管理区に分かれている。

URL

<http://www.chanbawetland.com>


滻灞国家湿地公園

漢城湖遺跡公園

漢城湖遺跡公園は西安市の西北、もとは「団結ダム」だった。右岸は北二環路、朱宏路に接し、左岸は漢長安城遺跡に続いている。大興路から鳳城三路まで全長 6.27 キロ、湖面は 56 万平米、幅は広いところで 80 メートル、狭いところで 30 メートル、水深 4～6 メートル、貯水量 137 万立方メートル、周囲は「水文化」と「漢文化」をテーマとした中国庭園で 68.9 平方メートル。

「大風閣」は漢城湖を象徴し、漢城湖で最も高い建物。



漢城湖で行われる漢代の儀式

漢長安城未央宮遺跡

漢長安城未央宮遺跡は西安市の西北、中国の歴史上、都を置いた王朝の数が最も多く、最も長期に渡った遺跡。規模も最大で保存状態も万全。シルクロードの起点として世界に知られ、その歴史的蓄積、文化的遺産の価値は計り知れないものがある。

未央宮の前殿は規模最大の宮殿で、歴代最多の王朝が即位の儀式を行い、宮廷の政治もここで決され、歴史上幾多の重大事件も起きている。現在、未央宮前殿の基礎は小山のような土盛りとして残っている。南北に 350 メートル、東西に 200 メートル、三座の大殿が連なって南から北へと高まり、最高所が 15 メートル、地固めされた基礎部分は 5 万平米、中国に現存する面積として最大、高度最高、最もよく保存された漢代版築工法として注目されている。

感業寺

感業寺は西安市未央区六村堡郷後衛寨西南 30 メートルのところ、豊産路の北側、現感業寺小学校はこの境内にある。この寺は唐代皇家の菩提寺でもあった。高宗の皇后であった武則天（則天武后）がここで尼僧の修行をしていたことでも名高い。高宗の父・太宗の死後、武則天は子のない嬪妃たちと一緒に落髪して俗世を離れ、念仏三昧の生活をしていたが、唐永徽 2 年（651）、皇后のお召しで宮中に呼び戻される。この後、武則天の戦いが始まり、中国史上唯一の女帝にまで上りつめる。感業寺には、当時の石の欄干、武則天が水汲みをしたという井戸が残っている。

西安経文牛文化陶瓷博物館

西安経文牛文化陶瓷（陶磁器）博物館は目下世界で唯一、牛をテーマにした民間の博物館。陳列面積は4000余平米、2009年9月12日に開館した。以来、200万人以上の入館者を数えている。異なった時代、材質も姿形も各様の牛のコレクションが数千点、展覧に供されている。中国数千年の文明史は牛とは切っても切れない関係が続けてきた。牛は人間に食糧、労働、衣料、肥料、娯楽など、数々の役立つものを与え、大きな富をもたらした。中国人は牛を宝と崇め敬い、作家の郭沫若は牛を「国獣、獣の泰斗（最高位）」と書いている。

文景公園

文景公園は西安北城で初めてのエコロジーパーク。毎年春になると市民はここでたこ揚げを楽しむ。東門には女媧ルビ・じょか（中国神話に登場する人類創造の女神）の像が建っている。神話では「蛇身人首」とされているが、人の姿で彫刻され、斬新な着想に行く人の足を止めている。

玉石を踏んで小径を入ると、水辺に柳が枝を垂れ、流れに橋が架かる山水画の世界。唐詩宋詞の碑が景勝美と一体になって、見る人の目を楽しませている。

渭河湿地エコロジープーク

渭河湿地エコロジープークは、渭河が西安市にさしかかるところで総合的な治水工事が行われ、300年に一度の大洪水に備え、渭河南岸に幅49メートル、長さ22.2キロの大堤防と遊歩道が姿を現した。緑化面積は800万平米、喬木、灌木が300種以上10万株が植えられ、133万平米の水面が生態系保存に生かされ、堤と林と水が一体となったエコロジープークの試みが一つの結実を見た。

西安未央湖遊楽園

西安未央湖遊楽園のテーマは水・余暇活動・健康作り・娯楽にと、自然の中に総合的な大型アミューズメント・センターが誕生した。中国西北部最大の施設で、面積は56万平米。水域面積23万平米、多様化した市民のニーズに応えながら水と親しみ、水と遊ぶ40余種の現代化された遊戯施設が整えられている。すべて木造の「落霞山荘」、池と築山と四阿ルビ・あずまの日本庭園、100人を泊められるという内モンゴルの包（パオ）、体験型の宿泊客のためにトランプ室（麻雀室）や茶室も設置され、プレイゾーンの金沙灘海岸は1万人以上を収容できる。

西安城市運動公園

西安城市運動公園は張家堡広場の西、面積53万平米（正副の体育館を含む）、球技を中心に余暇活動の設備を設けたエコロジープークで、自然に親しみながら自由に開放的な気分を味わえる中国西北地区で唯一、アジア屈指の運動公園。



西安城市運動公園



永興坊門樓

見逃してはならない
百の理由

一押し観光スポット

大明宮遺跡、含元殿遺跡、八路軍事務所など

新城区

新城区——ニュータウンといっても歴史と文化の重みを秘めた街。西周、秦、漢の時代、ここは近畿（都の守り）の地だった。唐代、ここにあった大明宮は皇帝が諸侯の謁見を行い、命令を発し、祝典を催し、号令を全国に知らしめた政務の場所だった。宋、元、明、清の時代は統治者が北狄ルビ・ほくてき・西戎ルビ・せいうじゅうから陝西、西北を守る指揮の中樞だった。今は陝西省人民政府、西安市人民代表大会、西安市政治協商会議市の行政機関の所在地となっているが、もともと「古城の関門」の任を帯びていた。

新城区一日コース

時代の転変と政治的役割の変化を体感する。

楊虎城故居—張学良故居—八路軍西安事務所

楊虎城は張学良とともに西安事件を主導した中華民国の軍人。図らずも歴史の表舞台に立たされて主役を演じ、危急を告げる状態の中、世界を震撼させる決断を下す。彼が毎日行き来した中庭の道を歩き、当時の状況と彼の心中を

次いで建国路（往時の金家巷）へ行き、西安事変のもう一つの旧跡、張学良將軍の公館を訪ねる。正面に掛けられている二つのプレートから分かるように、ここは西安事変記念館に変わっている。入り口にもう一つのプレートがあって、中国重要文化財保護遺跡と知れた。

八路軍西安事務所は西安北新街七賢荘にある。七賢荘は1934年の冬に着工し、1936年に完成するとすぐ外部に貸し出されたが、1936—1946年、中国共産党と人民軍が設立した「赤い砦」がここに置かれ、その後、冯海伯齒科診療所が地下連絡所になる時期、半公開の紅軍連絡所になる時期、国民革命軍第八路軍駐陝西事務所になるなど、三つの歴史的な時期を経ている。



永興坊の糝粉ルビ・しんこ細工

永興坊

西安の城壁の内側に沿って、長い歴史の流れの中でちょっと気になる街が形成されていた。いろいろな業種——食べ物屋、飲み屋、茶館、若者相手の宿泊所、秦腔や漫才の小劇場などが城壁の根方に取りつくように四角い街を作り、小径を通わせている。名づけて「順城巷」。城壁という境界の街、いわば`ディープな西安、は市民や外国の観光客が面白がって足を延ばすところとなった。この

街独特の成り立ちを重んじた西安市は 2007 年、現位置に伝統の「坊（街区の柵目）」と「肆ルビ・し（小商店）」を模した新しい街作りを行った。もと唐朝の高官・魏征の邸跡だった永興坊もその一つ。新グルメ街は東西 130 メートル、南北 88 メートルの区画に牌楼（屋根つきの門）がそびえ、伝統家屋の商店がひしめき、緑化された広場があり、裏通りがあり、井戸の小屋もある。建物の外壁には昔の文様が施された。この街の`肝は関中伝統の牌楼と古い街並みと生活空間そこに住む人々の息づかい、生活感の復活。古城の城壁の奥深く営まれてきた人々の暮らしを受け継ぎ、歴史の重みを引き継ぎ、単に整然とした街並みではなく、ちょっとした不揃いの妙、味のある街作りを目指している。

それは街という文化財の復元、「坊」と「肆」という街の骨格の復活でもある。「坊」の中に力が凝縮し、「坊」の外に溢れ出る街（内斂外聚）、「動」と「静」がさまざまな個性と表情を見せる街（動静分離）、これが古城壁の歴史と景観に新しい調和を与え、単なる文化財の保護事業ではなく、永興坊という美食街が陝西省の無形文化財として西安の歴史の発掘と保護につながるものと思われる。

大明宮国家遺跡公園

大明宮国家遺跡は世界文化遺産で中国重要文化財保護遺跡。

唐帝国の豪壮華麗な宮殿建築群。当時、世界で最も壮大な規模を持ち、唐朝のシンボリック的存在だった。創建は唐太宗上巻貞観8年（634）、唐末に破壊された。面積は3.2平方キロ。これは北京の故宮（明清代）の4.5倍にもなる。

大明宮遺跡は長安城「三大内」の三大政治中心が形成されており、西内（太極宮）・東内（大明宮）・南内（興慶宮）と呼ばれていた。西安城の立地は「北は終南山・子午谷に連なり、北は渭水に抛り、東は灞滻に臨み、



大明宮



大明宮国家遺跡公園の夜景

西は竜首原に枕する」とされ、大明宮は竜首原に造営された。平面はほぼ台形を呈している。周囲7.6キロ、四面に11座の門がある。調査の手が入った亭台楼閣は40余カ所にのぼる。大明宮の南部は前王朝で、南から北にかけて含元殿、宣政殿、紫宸殿などの旧殿が含まれる。宣政殿と紫宸殿が中央を占め、北部は太液池が内廷の中心となっている。

八路軍西安事務所記念館

八路軍西安事務所記念館は西安市古城内の西五路北新街七賢荘1号にある。七賢魏晉時代の「竹林の七賢」から2字をとったもの。南に面して中庭は10カ所。現在は八路軍西安事務所記念館になっている。前身は紅軍駐西安連絡所で「七七事変（盧溝橋事件。1937年7月7日に勃発し、日中戦争の導火線となった）後、現在の名前となった。全国15カ所の八路軍新四軍（新四軍は中国工農紅軍が第二次国共合作により華南地区で再編された軍隊事務所のうち最も早く設立され、影響力が最も大きかった。



八路軍西安事務所記念館

金康路茶文化街

金康路茶文化街は西安市長楽路の「商業貿易圏」計画範囲内にある。東西960メートル、南北20メートル、西の東二環路から東の公園北路へ通じ、公園北路から春明路、紅華巷と長楽路商貿街を貫いている。春明路は全長130メートル、幅20メートル、南は金康路、北は長楽中路に至り、金康路茶文化街の重要な結節点になっている。

金康路は往時、茶葉を売っていた裏通りだったが、今は茶を賞味し、余暇を過ごす観光スポット「金康路茶文化街」になっている。

革命公園

革命公園は西安市西五路東段北側にある。面積は0.1平方キロ。1927年2月、西安城が軍閥の劉鎮華に包囲されて犠牲になった軍民の慰霊のため、破壊された清漪城の跡地に作られた。

革命亭前の噴水池の中に太湖石が立っている。唐興慶宮の遺物と伝えられ、園内の一景となっている。

園の東には広い展示室があって、常時書画展が開催されている。西南の「将棋の家」は愛好家の活動と交流の場所。北側の人造湖には遊歩橋が架かって、「湖心亭」まで橋を幾曲がりして行く。西北には築山があって太湖石などが積み重なり、山頂には石洞、茅葺きのあずま屋がある。



冬の革命公園

秦莊襄王墓

秦莊襄王の墓は西安市東郊、韓森寨の西、動物園の東門の外にある。現地では「韓森塚」と呼ばれている。高さ22メートル、専有面積はもと4万平米あったが、1933年、2万平米に減らされた。理由は清の乾隆年間（1736—1795）、この塚の上に陝西巡撫・畢沅（ルビ・ひつげん）の「秦莊襄王墓」の碑石があり、ずっと秦莊襄王墓と誤認されていたことによる。史籍を考証すると、「韓森塚」は漢宣帝の父親「始皇帝塚」でなければならず、「韓森塚」の発音が「皇孫塚」とまぎらわしいとされた。この塚は省級の保護遺跡でまだ発掘されていない。

西安民楽園文化街

西安民楽園文化街は「丁」の形をしている。店舗数は120軒で漢や唐風のたたずまいを見せている。方済衆、劉文西、楊曉陽、王有政、王西京、范華、羅寧、万鼎、張果、喬宜男ら20人の書画大家直営の画廊、さらに全国から集まった40社以上のギャラリー、書家、画家の画廊、著名なオークション会社、書画骨董鑑定人らが出店し、同時に1000平米の「西安皇城美術館」も開館した。美術館は二つの展示ホールのほか商談室、ミーティングルーム、収納庫も併設している。展示できるスペースは書画200点以上、オークションには200人が参加できる。

西安民楽園文化街の一角



東岳廟

東岳廟は陝西省重要文化財保護遺跡。西安市旧城内長楽門北側昌仁里小学校内にあり、創建は宋徽宗政和年間（1111—1118）、「岱宗」を祭るために造営された。岱とは「中国五山」の一つ、山東省泰山の古称。古人は高山に靈性を認め、堂宇を建設し、塑像や神像を作り、祭祀を行った。泰山はまた「東岳」とも呼ばれて五岳の首座にあり、各地で東岳廟建造の熱が高かった。

西安の東岳廟の規模は大きく、正面は南に向き、東、西に偏門（脇門）を持って北門は現在の東一路に向かっている。廟内は東西に対称の廂房が向き合い、中央に大殿、中殿、後殿、大殿の前には門構え厳かな石牌坊（牌楼）、獅子像、東岳廟の縁起、由来を記した石碑がそれぞれのところを得ている。石牌坊は明万曆7年（1579）に立てられ、「岱岳尊崇」の4文字が刻まれている。

現存する建物は主に大殿と後殿、正面は5間、奥行きは3間、四囲を回廊がめぐり、朱色の柱が24本並んでいる。柱の台座正面に2体の竜が玉と戯れるレリーフや花卉が精巧な細工を見せている。殿前の斗拱ルビ・ときょう（軒を支える杢形の構造）は竜頭が飾り、棟木には彩色の絵や彫刻が施されて気宇壮大、往時の繁昌がしのばれる。東西の切妻の壁画はなお鮮やかな色彩を留

易俗社劇場

西安易俗社は、民国元年（1912）の辛亥革命時に、戯曲（中国伝統劇）改良運動を背景に民衆啓蒙の愛国運動を推進するため、李桐軒や孫仁玉ら進歩的知識人によって西安に設立された劇団。陝西省に伝わる秦腔ルビ・チンチアンの普及に努めた。

易俗社劇場は西安市の中心、鐘楼東北西一路 272 号にある。戯楼や茶館ではなく西洋式の舞台、客席を持って現存する最古の劇場。入母屋造りの屋根に多層の軒を持ち、南に座して北面し、南北約 42 メートル、東西 19 メートル、舞台の間口は 9 メートル、奥行きは 15 メートル。客席は 2 階建てで、1 階の両側に 26 本の柱が並んで梁を支えた。左右両側の階段は螺旋式で、2 階席両側は個室の棧敷席になっており、前方には安全のための欄干もついていた。易俗社劇場は中国重要文化財保護施設。

易俗社劇場の秦腔劇



大明宮陶磁器芸術博物館

大明宮陶磁器芸術博物館は大明宮国家遺跡公園内で創業された初めての民営博物館、自強東路 585 号、大明宮国家遺跡公園丹鳳門東段旧宮廷壁内に位置する。

展覧ホールは 4 段の宮廷壁に囲まれ、大ホールと精選された作品の特別展示室に分かれている。展示室の典雅な装飾に加え、流れるような順路の設計も大明宮の陶磁器鑑賞にふさわしい。大ホールは 1100 平米、古陶器、唐三彩をはじめ歴代の磁器 400 余点、精品展示ホールは 200 平米で、元、明両朝の青花磁器（青磁釉と高火度焼成によって発色する青緑色が美しい磁器）中の傑作が展示されている。任経文館長家伝のコレクションの中から「明万暦年の聖旨」も出展されている。宋代官窯の「貫耳（耳付き）瓶」、元の青花「竜紋大罐」、明成化の「斗彩（五彩をほどこした青磁器）鶏缸杯」、「清道光 25 年金焼鍋」など愛好家には垂涎の的、中国文明の成果に目を見張るばかりであろう。



碑林博物館

見逃してはならない 百の理由

西安市内六区に属する碑林区は多くの文物遺跡を擁し、中国国家レベルの文化財保護遺跡 4カ所、省レベルが 6カ所、市レベルが 1カ所、「中国金石文化の宝庫」と讃えられている。

有名スポット

小雁塔／碑林博物館／興慶宮公園／関中書院

碑林博物館



西安城壁

文化遺跡

碑林区は歴史を秘めた文化遺跡が多い。書院、寺院、城壁、街路、牌楼および古式建物が旅人の足を止める。儒教文化、仏教文化、道教文化、民俗文化、金石文化が相照らし、悠久の光芒を放っている。

コース

鐘楼—古城壁—小雁塔—碑林博物館

まず鐘楼へ。ここは西安市の中心。東西南北4本の大通りが交叉し、大西安を一気に観望、まさに鴻鵠の志。気分も格別。現在の鐘楼と鼓楼は唐代の風韻と現代の息吹が一体となって、西安市民の憩いの場であり、外来の旅客にとって西安を感得する絶好の場でもある。

いで、音に聞く明代の城壁。よくぞ手つかずに残された。城壁スポットは西安市の最中心部。唐の皇城を基礎に明代洪武7年から11年(1374—1378)にかけて建設され、600余年の歳月が流れている。中国中世後期で最もよく知られた城壁建築の一つで、最もよく保存された古代城壁の遺跡。

次いで小雁塔へ。唐代景竜年間(707—710)の築造、15層の塔の13層が残されている。高さ43.4メートル、小雁塔から鳴り響く鐘の音は「雁塔晨ルビ・あしたの鐘」として「関中八景」に数えられている有名スポット。

締めくくりは「金石文(甲骨から金属、石材などに刻した銘文)の宝庫」と讃えられる西安碑林博物館へ。刀剣、銅鏡、青銅器、仏像、石碑、墓碑など歴代の石刻作品が収蔵され、研究と陳列に供されている。芸術の殿堂であり、「石の書庫」でもある。

開かれた城門



小雁塔

小雁塔

小雁塔は薦福寺塔とも呼ばれ、世界文化遺産、中国重要文化財保護遺跡、中国4Aクラス風致地区に指定されている。西安市城南の薦福寺境内にある。大雁塔から隔たること3キロ、大雁塔より建設が遅く、規模が小さいことから「小雁塔」と呼ばれている。

その玲瓏・秀麗のたたずまいは壮大・荘厳の大雁塔とは趣きを異にして、各層が近接する密檐ルビ・みつえん式塔の代表例。もとは十五重の塔だったが、明嘉靖34年(1555)の地震によって最上2層が倒壊して相輪も失われ、清代にも地震で塔身が損壊して今は十三重、全高約43mが残っている。

レンガ積みの塔身はほぼ織機の梭(ルビ・ひ)のような形状をして、下層部は高く上部にかけて細まり、ギリシャ神殿の柱のような、エンタシスと呼ばれる砲弾状のゆるやかな輪郭線を描いている。層ごとに軒が張り出し、その下段は三角状のレンガで「菱角」の組み方がなされて幾何学模様を見せ、密檐の重層の下支えとなっている。これが同時に小雁塔に美的効果を与え、繊細で優美、空中にすっきりとした量感を与えている。塔の内部は「筒抜け」式、各階は材木の構造で、木の階段が塔頂まで螺旋状に組まれている。

薦福寺の鐘楼には金代の明昌3年(1192)に鑄造された巨大な鉄の金が吊り下げられている。清代の毎早朝、数十里にわたって響く鐘声は、清代になって「雁塔晨ルビ・あしたの鐘」として「関中八景」に数えられた。



小雁塔近景

西安博物院

西安博物院は西安城南に面積 16 万平米、博物館区、小雁塔薦福寺歴史名勝区、園林観光区の 3 区に分けられて、それぞれがそれぞれが一体となって古都の趣きを醸し出している。

博物館区中国工程院の張錦秋氏が中心となって設計し、西安の未来を指し示す「十大標識」の一つとされた。建築面積は 16000 平米、展示面積は 5000 余平米、収蔵された文物は 13 万余点の中で国家 3 級以上の重要文化財は 14400 点、その中の 2000 点(系列)は初めて世に出された逸品中の逸品。膨大な収蔵品は古都の歴史の奥深さを物語って余りある。

西安碑林博物館

西安碑林博物館の創建は北宋元祐 2 年(1087)、「碑石は林の如し」と碑林の名を冠せられた。1955 年、西安孔子廟と碑林の基礎の上に陝西省博物館が建てられ、さらに 1993 年 1 月、西安碑林博物館と改名された。現在、7 展示室、8 パビリオン、2 石刻芸術室、6 墓誌陳列廊、4 臨時展覽室を擁し、秦漢から明清に至るまで墓誌 4000 余、宗教関係の石刻、陵墓の石など、古代の碑石の収蔵は中国で最も多い。西安碑林博物館は中国書道界の殿堂であり、石刻芸術の宝庫でもある。

碑林博物館





西安城壁

西安古城壁

西安古城壁は西安市の中心部、中国4Aクラスの観光風致地区。中国重要文化財保護遺跡。唐長安の皇城を基礎として明代初期に築造された。中国中世後期における最も高名な城壁建築の一つであり、中国に現存する中で最もよく保存され、かつ規模最大の城壁。

高さ18メートル、頂部の幅12—14メートル、基部の幅15—18メートル、輪郭は長方形で周囲13.74キロ、城壁内の旧城区の面積は11.32平方キロ、城壁の四隅に角楼、城外に堀（護城河）がめぐらされている。

城門は長楽門（東門）、永寧門（南門）、安定門（西門）、安遠門（北門）の4座あり、それぞれの城楼は三重の構えで、外側から閤楼ルビ・ころう、箭楼、正楼となる。正楼は高さ32メートル、横に40余メートル、切妻造りの屋根は四隅が反り、軒は3層を重ね、1階には回廊をめぐらせていた。古色を漂わせて聳え立つさまは壮観としかいいようがない。当初から交通の便のため、城壁を穿って新しい城門が開かれ、現在までに18座となっている。

西安城は防御の固めが強く、城外に護城河を設け、門外には物見櫓（間楼、譙楼ルビ・しょうろう）、閤楼の後方には敵方をうかがい、弓の射撃を行う箭楼、箭楼と正楼の間には甕城ルビ・おうじょうが置かれていた。甕城は月楼ともいう。このように城門は5重の固めをしていた。

1983年以降、大規模な補修を重ねて西安城はその威容を回復し、全国的にも「環城公園」の異名を持つに至った。

URL

<http://www.xacitywall.com/>

西安事变記念館

西安事变記念館は西安市建国路 69 号にある。その重要な旧跡である張学良將軍公館、止園の楊虎城止園別荘（現在は楊虎城將軍記念館）の基礎の上に西安事变記念館が建てられ、中国重要文化財保護遺跡となった。「張学良將軍の生涯」などの写真、大量の歴史文献などが展示されている。

URL

<http://www.xasb.net/>

関中書院

関中書院は明代の官立で一地方の教育機関だったが、明清以来、その盛名を全国に馳せた。書院建築の規模・構造は広大で、周囲の環境も師範学堂にふさわしいものがあつた。1612 年、「斯道中天閣（聖人の道は天閣にあり）」の一閣を増築し、清康熙 3 年（1664）、「仁在堂」「醒鐘楼」を増築し、部屋数は総計で 370 余、敷地面積は 8.7 万平方メートル、池や築山、亭、石橋などの風景にすぐれている。1991 年、書院門前に古文化街を築造するしたとき、石造りで記念の牌楼を建て、「関中書院」の扁額を掲げた。西安市重要文化財保護遺跡となっている。

関中書院の漢服展示



岡極寺るび・もうきょくじ

岡極寺は西安市重要文化財保護遺跡。創建は唐神竜元年（705）、すでに 1300 年の歴史を有している。鎮守太平皇女が母親である武則天のために福を祈って献納した皇家の寺院。寺の名は『詩経』の「欲報以德昊天岡極（父母の恩に報いんと欲すれど、その大恩は極まりなし）」から取っている。盛唐時、岡極寺は大明宮と興慶宮の間にあって、朝廷の朝礼に威儀を正したものだと思われる。境内の配置は厳格で、韋馱殿、金剛殿、鐘鼓殿、大雄宝殿、臥佛殿が序列に従って並んでいる。清朝が建立した金剛殿、明代の石碑と門外の一角獣、唐代の蓮華座も重要文物古跡に指定されている。

興慶宮公園

唐代の興慶宮遺跡を基に作られた文化遺跡公園。西安市東門外咸寧西路北側に位置し、敷地面積が 0.52 平方キロメートル、水域面積画 10 万平方メートルで、西安市内で最も大きい都市公園。

興慶宮公園は唐長安城三大宮殿区の一つ。長安外郭の東城春明門北側の隆慶坊にある。宮城の中は隔壁で二つの領域に分かれ、北部が宮殿区で興慶殿、大同殿、南薰殿などの建築群、南部は興慶池を中心とする園林区で、周囲に政務本楼、花萼相輝楼、沈香亭などが見える。興慶宮は宮殿の間、城壁の間に複数の通路を持ち、北は大明宮に通じ、南は曲江芙蓉園に達する。園内には、1979 年に入唐 1200 年の記念として、阿倍仲麻呂の記念碑が建てられた。

<http://www.xingqinggong.com/>

興慶宮公園





見逃してはならない 百の理由

蓮湖区は西安市の西北部、シルクロードの起点として知られ、「絲綢ルビ・しちょう之路」と大型の刻彫が掲げられ、大唐西市、大唐西市博物館などシルクロード旅立ちの景物が観光客を迎えている。

蓮湖区は交通が便利で、隴海鉄道、西戸鉄道が区内を通り、環城路、二環路などの幹線道路を擁する。ここには唐長安城遺跡、明清両王朝が建てられた鼓楼、明城壁、化覺巷清真寺、清代建広仁寺など、見逃せない遺跡が多い。

著名スポット

西安都城隍廟、西安清真大寺、広仁寺など。

民俗風情体験

食べて飲んで何でも体験

コース

泥人形—泡饅ルビ・パオモ—餃子宴

陝西省鳳翔県六宮村は人形の里。鳳翔の村人は年々忙しい思いをしている。粘土、紙粘土を混ぜて型を作り、太陽光で乾燥させる。地肌に白い粉を振って彩色し、つや出しをしてできあがり。泥人形はほとんどが中空で、干支のキャラクター、装身具や車のミラーにぶら下げるアクセサリー、子どもが喜ぶ玩具、西安旅行の記念品に人気が上がっている。

牛肉や羊肉の泡饅（ルビ・パオモ）は食べないで帰るわけにはいかない。饅を自分でちぎるのが楽しいし、本場のスパイス、本場のパスタにシルクロードの風が吹いてくる。油っこい料理を食べあきた人にもお勧め。

餃子宴はさて、どこで食べるか。西安餃子館、徳発長餃子館が伝統の味の上に新趣向、`創作餃子`、の新味を打ち出している。古都長安 109 坊の粋を集めた 108 種の餃子。108 という数字はエンジェル・ナンバーか、それとも煩惱の数か、宮廷宴、八珍宴、竜鳳宴、牡丹宴と百花宴など、どの宴席にするか迷うのも楽しい。

大唐西市

大唐西市が盛唐時代のもとあった場所に再現され、シルクロードを股にかけて活躍した国際商人たちが現代に蘇った。面積 33 万平米、大唐西市博物館、国際骨董市、金市広場など、歴史的考証に基づき、書道のお手本を忠実になぞるようにして復元された。建築面積 100 万平米。盛唐華やかかなりし国際都市長安の市場の活況を伝えるため、遺跡保護と一般公開、その展示形式に民間の文化産業の手法が導入された。西域を超えてやってきたキャラバン隊を迎えて大唐西市は興奮のつぼ、シルクロードの起点ならではの風景が繰り広げられる。大唐西市はさながら`西域大物産展`、`どんな取り引きが行われたのか`。見て、食べて、遊んで、異国の珍品のショッピング……シルクロードの風が吹いてくる。

大唐西市プロジェクトは「国家文化産業模範基地」「中国 4 A クラス観光風致地区」「国家無形文化遺産・生産性支援模範基地」「中国文化遺産保護・伝統継承事業」の認定を受けた。この試みは「公有制」の中に民間の活力を導入し、経済の「多元化構造」を推進する「非公有制」の成功例として、日本の「第三セクター」に通じるものがある。西安の新名所として、陝西観光の新しい`目玉`として注目される。

URL

<http://www.dtxs.cn/>

広仁寺

広仁寺は西安旧城内西北の隅、城壁に寄り添うようにある。清康熙 44 年 (1705)、康熙帝が陝西巡視に来駕の折、勅命によって建造され、「慈雲西蔭」の扁額が下賜されて「仁慈を広布する」の意がこめられ、ここから広仁寺の名が取られた。宏壮な殿宇に静寂幽邃の庭園、西安で唯一のチベット仏教寺院となった。この寺は清代以来、チベットや青海から高僧が入京して朝貢、西安の行宮ルビ・あんぐう（皇帝の西安における仮宮）で読経を行った。インドやネパール、日本などからも僧侶が訪れて交流や法会を行っている。毎年濃歴 10 月 24 日、25 日にはチベット仏教ゲルク派の開祖ツォンカバ法要が営まれる。

URL

<https://www.guangrensi.com/>

西安鐘鼓楼

西安鐘鼓楼は西安の鐘楼と鼓楼を合わせた呼び名。西安市の中心に位置し、王朝時代の生活、労働を律するものであり、またその日常を詩情豊かに描写するものでもあった。その景観の美は明代建築の傑作と相呼応するものだった。

鐘鼓楼は木とレンガのよき結合例。下から基座、塔身、宝頂へと三つの部分から構成されている。楼本体は木造で、間口・奥行き共に三間の正方形で三重の屋根。この造りを「重檐ルビ・じゅうえん三滴水」「四角攢頂ルビ・さんちょう」という。王朝時代、屋根の庇の数は等級を表し、多いほど格が上とされ、まして鐘鼓楼は皇家の建物であるから三重となり、雨水は三度滴ることになる。また、正方形の平面に寄せ棟を作ると4面の屋根はすべて三角形になり、その頂点が屋根の頂部に集まる（攢頂）ところから「四角攢頂」と呼ばれた。これを日本では宝形ルビ・ほうぎょう造りと呼び、茶室や寺院で見られる。

西安鐘鼓楼



西安鼓楼夜景



屋根の四隅は鳥が羽を広げるように空に向かい、中国神話の動物が図案化されて「走獣図」となり、瑠璃瓦の屋根を支える様は、見る人にアルカイック（古朴）な感動を呼びさまし、典雅にして華麗な配色が各層に精彩を与え、宝珠が最頂部できらめくさまは、この古建築独特の魅力を余すところなく伝えている。

西安の鐘楼は明洪武 17 年（1384）、今西大街北広済街の東側にある。明万暦 10 年（1582）に現在地に移転した。鼓楼は高大な基部を持ち、そこに南北を貫いて縦横 6 メートルのトンネルが穿たれている。

西安の鼓楼と鐘楼は中国に現存する鐘鼓楼の中で最大、最もよく保存されたものの代表格。西安は明代において西北の守りの重鎮であり、鐘鼓楼の建築規模、歴史的価値、さらに芸術的価値においても全国の鐘鼓楼の首座を占めている。

西安都城隍廟

城隍神は都市の守護神。西安都城隍廟は西安市西大街の中段、明洪武 20 年（1387）もとは東門内九曜街にあった。明宣徳 8 年（1432）、現在地に移転した。当時は「天下三大城隍廟」の一つに数えられ、西安の城隍神は中国西北部数省の帰依を受けていたので「都城隍廟」と呼ばれた。清雍正元年（1723）、火災によって焼失した。

西安都城隍廟



西安都城隍廟の木彫



廟の入り口には5間の大牌楼があり、豪壮な枅組み、中空にせり上がる軒、その威容はまさに気宇壮大。一對の鉄の獅子に守られ、山門を入ると青石小石を敷き詰めた参道、両側を武張った神々が守っている。南から北面へ、文昌閣、鐘楼、第二の山門、戯楼（芝居の舞台）、牌楼、大殿、二殿、また牌楼、寢殿と続く。両側は道士たちの修行道場が向かい合い、33座の寺廟が中心線に沿って整然と左右対称に並んでいる。豪壮な中の精緻な技、彩色の美はまさに神工鬼斧、道教の聖地と呼ぶにふさわしい。

西安清真大寺

西安清真大寺の創建は唐天宝元年（742）、面積 12300 平米、西安最大、創建当時の姿を留めている。東西に長い長方形で灰色のレンガ壁に囲まれ、東西を貫く中心線に沿って、四つの中庭を挟んで殿、楼、庁、堂 180 余間、中庭は壁で隔てられている。



西安半坡遺跡博物館

見逃してはならない百の理由

瀬橋区は東に驪山丘陵地帯、南に狄寨ルビ・てきさい黄河台地、滻河、灞河、渭水が貫いている。渭河平原を中心に山地、傾斜地、川、湿地、台地など多様な地形を特徴としている。灞河流域は中華民族発祥の地の一つ。漢文帝の霸陵は中国史上初めての山を穿った陵墓で知られ、文帝の母で高祖劉邦の側室だった薄姫（薄太后）の南陵、先史社会の母系氏族文化を展示した半坡博物館、竜山文化米家崖遺跡など豊富な歴史的景観に加えて、黄土高原を深く刻む瀾玉の激流や鯨魚溝の流れ、洪慶山国家森林公园などの自然景観にも恵まれている。

観光スポット

西安半坡遺跡博物館、西安世界園芸博覧園、鯨魚溝、黄巢堡国家森林公园

先史時代へタイムスリップ

コースの特色

灞河流域は中華民族発祥の地の一つ。氏族社会の先史時代へ遡り、半坡博物館、竜山文化米家崖遺跡をめぐる。

コース

半坡博物館—竜山文化米家崖遺跡

西安半坡博物館は西安市東郊、庭河東岸半坡村の北にある。1957年、半坡遺跡に建設され、1958年、正式に對外開放された。

中国重要文化財保護遺跡。今を去ること6000年、典型的な母系氏族社会の村落が黄河流域で発掘され、出土時の状態が保存されている。

米家崖遺跡は西安市東郊の滻河西岸、遺跡の中心部は灞橋の米家崖村周囲、出土品は陶器、骨器、石器と少量の玉器、牙器（動物の歯で作られた器具）など。米家崖遺跡は黄河中流の重要な古文化遺跡で、陝西新石器時代の文化に新しい光を投げかけた。

西安半坡遺跡博物館内



西安半坡博物館

1957年に半坡遺跡が発見されたのはまったくの偶然で、灞橋火力発電所の工事中だった。それまで「陝西5千年の歴史を見よ」といわれ続けてきたが、見たのは6000年前の半坡遺跡だった。典型的な新石器時代の仰韶ルビ・ヤンシャオ文化の母系氏族社会で、居住区とは別に陶器を作る場所、墓地などが設けられており、考古学ファンには見逃せないところ。



西安半坡遺跡博物館内

半坡博物館の展示スペースは約4500平米、出土した文物の陳列、遺跡大ホールと参考陳列の3部分からなっている。出土文物は第1と第2室、二つの陳列室は当時の生産用具、生活用品と工芸品の石器類、骨器類と陶器類。主なものは半坡と姜寨ルビ・きょうさい両遺跡から出土した石の斧、石のシャベル、石の刀、陶器類は呼び子、工芸品、装飾品、子どもの玩具などで人や鳥や獣の顔を写し取ったものもあり、さらに22種の線刻画、符号か文字らしきものも展示されている。

注目されるのは、「彩陶文化」と呼ぶにふさわしい絢爛たる彩色を施された大量の陶器類で、6000余年前の社会組織、生産生活、経済形態、婚姻状態、風俗習慣、文化芸術などを表している。絵画作品はナイーブな感性が生動し、時に神秘的な魅力を秘めたもの、図案化されたもの、多彩な図柄が盆、罐、細首の壺、小口の器の肩や腹や口縁、直口器（首がまっすぐな器）の外部と口縁、広口の器の内部に描かれ、彩色の多くは黒、そして赤の絵付けも少量認められた。

URL

<https://www.bpmuseum.com/>

白鹿原・白鹿倉風致地区

ここは古都西安の「白鹿原」伝説で著名な土地。南に秦嶺山脈を望み、北に渭水の流れ、西に西安市を俯瞰し、東は豊かな農村地帯。西安の鐘楼からわずか15キロのところにある。面積1.4平方キロ、中国4Aクラスの観光風致地区。白い鹿を見たものはこの世の幸せ、富と権勢がもたらされるという伝説が語り継がれ小説にもなって日本でも出版され、また劇化されて北京人芸の舞台上で上演された。白鹿原の歴史と文化を基に、新しい「民俗派・更民俗（よりよい民俗）」発展の理念を掲げ、地元の木工職人たちが「匠の技」を競うテーマエリアが次々と立ち上げられた。



白鹿倉の俯瞰



白鹿倉の塑像

黄土高原の農村には郷土の伝統劇「秦腔」をよく歌い、よく演じ、また木工の腕を競う名人たちが伝統の技を受け継いで陝北・関中、陝南の風格を今に伝えている。秦腔の名手は北京人芸の舞台にも立っている。あなたも黄土高原の農村生活を体験し、本場の秦腔を聴くまたとない機会になるに違いない。

URL

<http://www.blyblc.com>

西安鯨魚溝竹海風致地区

西安鯨魚溝竹海風致地区は白鹿原狄寨るび・てきさい鎮の南2キロ、西安市区から30キロ、灊橋区と長安区の境にある。鯨魚溝は風光に優れ、一年の四季がはっきり分かれている。

鯨魚溝の入り口は高橋、狄寨、鯨魚湖休閒山莊の3カ所。区内にはダム湖が二つあり、3キロにわたってつながっている。澄んだ湖水に緑の山並みが姿を映し、絵のような景観を作り出している。



鯨魚溝風致地区

入り口に17メートルもの鯨の塑像が置かれ、8～9メートルもの潮を吹いて、インスタ映えの写真が撮れそう。この地の風景を独特のものにしているのは、北方黄土高原の荒々しい地形と江南の水郷地帯の繊細優美な情景が入り交じっていること。水量あふれるダム湖、ほとばしる瀑布、幾重にも連なる緑の山並み、これとは対照的に乾燥の`黄色い大地、を切り刻む深い谷、段丘を穿つ窑洞ルビ・ヤオドン（洞穴式住居）、南側は切り立ち、北側は日射しを受けてなだらかに広がる。関中のノスタルジックな風景は近年、西安近郊のリゾート地として注目されている。

URL

<http://www.jyghao.com>

西安世界園芸博覧園

国際園芸博覧会は、国際園芸家協会（AIPH）の承認により、花や緑を通じた健康と福祉、環境の向上、経済強化等を目的に開催されるもの。2011年には西安で開かれ、閉幕後、西安市は会場をまるごと保存し、さらなる高度利用、住民還元を目指して「世界園芸博覧園」を再オープンした。「園芸と歴史と人と生態環境保存」が一体となった市民公園となり、現在中国4Aクラスの風致地区に認定された。



西安世界園芸博覧園の長安塔

域内には長安塔、珍宝館、自然館、萌宠館などの施設と動植物の観賞が一体となり、観光客にも有料で開放されている。テーマパークとして長安花の谷、家庭のガーデニング、世界の名園、国内の名園、世界の9人の名ガーデナーに設計を依頼した「大師園」、ヨーロッパ風の花の村、東南アジアの街角を再現した「体験ゾーン」も設けられている。

大雁塔夜景



見逃してはならない百の理由

西安市雁塔区は西安市の南部にあり、大雁塔があることからこの名がついた。区内には大雁塔のほか、青龍寺、漢宣帝の陵墓「杜陵」、曲江池遺跡、陝西歴史博物館などの名所古跡があるほか、西安交通大学、西安電子科技大学普通高等学院校 22 校、西安欧亜学院など千人以上の学生が通う民間高校が 12 校省級以上の科研院が 55 力所、区内の西には西安ハイテク産業開発区、東には曲江新区と滻灞エコロジーゾーンなど、雁塔区は史跡と文教の区として独自の風格を持っている。

有名スポット

陝西歴史博物館、大雁塔、大興善寺

民俗と芸能と祭りの西安風情

コース

社火（祭りの演しもの）—秦腔—花灯（灯籠祭り）

力強い銅鑼の音に囃されて、老若男女が繰り出す高脚踊り、芯子（幼児が演じる人形芝居）、竹馬（春駒）、早船ルビ・かんせん（張り子の船を身につけて舞い踊る）、獅子舞、竜灯、大頭娃娃ルビ・ダートウワーワ（日本の福助のような大頭の可愛い子ども）のかぶりもの——社火（春節の演しもの）の熱狂は、西安市雁塔区や長安県などに今も残る農村の春節風景。

王城の地・秦の末裔たちの地芝居・秦腔ルビ・チンチアン、眉戸腔ルビ・メイフチアン（秦嶺山脈北麓の眉県と戸県に残る秦腔系の古劇）、碗碗腔ルビ・ワンワンチアン（渭南市大荔県で行われる地方劇。影絵芝居から舞台劇になった。風撓雪ルビ・フォンジャオシュエ＝二人芝居ともいわれる）の熱狂的アマチュアたちにとって、春節と農閑期はまたない出番、`連、を組んで`西安市の村人、たちのために日ごろの修練を披露する。



元宵節の西安灯籠祭り



元宵節の西安灯籠祭り

昔、秦嶺山の農民が曲江へ行くときは、みな三兆村を通った。ここの特産は春節の提灯。春節が近づくと、人々は三兆村まで足を延ばす。その起源は唐代に遡るといふ。皇家が曲江池で春節や元宵節（正月15日の灯籠祭り）を祝うとき、三兆村の提灯がひととき異彩を放った。三兆提灯は各流派の技を取り入れ、他業者の追隨を許さぬものとなった。その種類は祝祭日の宮灯、動物灯、花卉灯に大別され、宮灯はさらに12種に分かれる。動物灯は干支の12種以外、獅子、バッタ、イナゴの類まである。花卉灯は大小の花かご、蓮花灯、さらに白菜灯、大根灯、スイカ灯まである。



元宵節の西安灯籠祭り

大雁塔

大雁塔は西安市の南部、慈恩寺境内にある。唐永徽3年（652）、玄奘三蔵が天竺からシルクロードの旅をして長安へ経巻と仏像を持ち帰って大雁塔を建造、塔内に貝多羅葉ルビ・ばたいらように彫りつけた梵語の經文のほかに万余の仏舎利を納めた。

大雁塔は現存する最古の唐代四方楼（方形ルビ・ほうぎょう屋根）の仏塔。レンガ造りで屋根に頂点が仏教と共に中国の都に入り、中国文化と融合合った典型的な証左であり、中国の工匠たちの知恵の結晶といえることができる。

西安大雁塔



大雁塔の軒端



大雁塔は建造当初は「磚表土心」の工法で5層の方塔だったが改しぜん造後、七層の楼阁式となった。唐大歴年間に再び改造されて十層となり、明代にレンガの外壁にレンガを積み増して補強が行われた。現在、塔身の高さは64.517メートル、各層は擬木（自然木に似せた建築材）の構造で基層の戸口の横木には精美な線刻の仏像、西門の横木には阿弥陀仏說法図が描かれ、画中には華やかで堂々たる仏閣が線描されている。基層の南門にはレンガの仏龕ルビ・ぶつがん（厨子）が設けられ、『大唐三蔵聖教序』と『大唐三蔵聖教序記』の石碑が納められ、いずれも唐代の大書道家・褚遂良の揮毫になる。

現在、大雁塔は古都西安のシンボリックな建築であり、内外から渴仰されている。国务院は1961年、中国重要文化財保護遺跡指定につき第一期の広布を行った。

大慈恩寺

大慈恩寺は雁塔区の中心部に位置し、敷地面積3万平米、唐代皇家が護持する寺院で、経典(経・律・論の三蔵を含む)の翻訳に当たる国立の機関だった。長安城南の晋昌坊(長安 108 坊の一つ)に立つ。玄奘三蔵法師の仏事を執り行う寺院として、慈恩寺の名は世界に広まった。

唐代からはるか遡って北魏道武帝のとき(386—409)ここには浄覺寺が建ち、隋文帝のとき(581—604)には浄覺寺の跡地に無漏寺が建ったが廃寺となっていた。唐貞観 22 年(648)、太子李治が生母である文徳皇后(長孫氏)の追善供養の儀営み、慈母の恩徳に報いようと寺の建立を下命し、ここから大慈恩寺の名が取られた。以後 1000 年以上、慈恩寺は内外の仏教信徒敬仰の地となっている。



大慈恩寺



大慈恩寺の俯瞰写真

唐代の大慈恩寺は 13 の庭院を持ち、経典の翻訳院も含めて 1897 室、七堂伽藍、堂宇が連なり壮観を呈したが、現在は当時の西塔院を残すのみで往時茫茫、盛時をしのぶすがはない。



大唐芙蓉園全景

大唐芙蓉園

大唐芙蓉園は西安城南曲江開発区、大雁塔をはるかに望む地にある。唐代芙蓉園跡地の北に唐代皇家の園林（御苑）を模し、その全容を再現しようとしたもので、皇家庭園テーマパークとして中国初の試みとなる。

園内には紫雲閣、女官の館（仕女館）、御宴宮、杏園、芳林苑、鳳鳴九天劇院、唐市など、古建築が往時の姿を現し、中国最大のロイヤルガーデンの復古を設計したのは著名な工程院院士・張錦秋氏・

園内には王朝文化の粋が集められ、帝王、女性、詩歌、科挙、茶道など 14 の劇的シーンが再現され、盛唐期における国際都市長安の栄華を伝えるものとなった。

大唐芙蓉園は中国人が民族文化のアイデンティティを求めて旅立つ安らぎの地ともなっている。



大唐芙蓉園夜景

168

観光スポット



陝西歴史博物館の貯蔵品



URL

<http://www.sxhm.com/>

陝西歴史博物館

陝西歴史博物館は大雁塔の西北側にあり、1983年に着工し、1997年6月20日に完成、オープンした。現代化されて国家クラスの規模を持つ中国最初の博物館として、その完成は中国の博物館事業が新しい発展段階に入ったことを指し示している。

「中央は高樓の大広間、四隅は崇樓（入母屋造りの屋根を持つ4座の樓閣）」の基本構想に基づいて唐風建築群が整然と秩序だち、高低の配置の妙を得て、雄渾にして莊重、多民族融合の伝統、地方の独自性と時代精神が一体となって表現されている。敷地面積は65000平米、建築面積55600平米、文物の収蔵庫8000平米、展示ホール11000平米。収蔵文物は石器時代から1840年前まで100万年の時代をまたいで37万余点にのぼる。その数量の多さ、種別の多岐を誇るだけでなく、その品位、歴史的価値の高さは、商周の青銅器、歴代の陶俑、漢唐の金銀器、唐陵墓の壁画などに見る卓絶の美は世界の歴史に独歩するものと言える。

169

観光スポット



陝西歴史博物館は総合的な歴史博物館として開館以来、収蔵品の「効果的な保護、合理的な利用、管理の強化」の原則を堅持し、収蔵品の保管、科学研究の向上と教育の普及に努めてきた。さまざまな形式の展覧を行う中、総合的な基本展示、特定のテーマによる特集、臨時の特別企画の3部門がそれぞれに相照らし、歴史と文化と文物の蓄積を多角的、多面的に広大な観衆に示し、中国が達成した文明史的足跡とその成果を展示してきた。さらにこれを世界に公開し、燦爛たる中国文化、そして陝西省の誇るべき三秦（関中）文化を発信している。

全国に先駆けて中国4Aクラスの観光風致地区として認定された陝西歴史博物館はその優れた歴史的、自然的環境の中で世界の観光客、美術愛好家を魅了し、引きつけてきた。美術に国境はなく、対外文化交流の重要な窓口となっている。

陝西自然博物館

陝西自然博物館は西安市長安南路舟形環島にある。北に鐘鼓楼、南に秦嶺山脈終南山を望む。博物館は科学技術と陝西省の自然の2大ブロックに分かれている。ガラスのボールと三日月がそれぞれの目印となり、「日月同輝」を寓意している。億万年前の生物がここに姿を現し、2万余点の標本が安んじている——館内は地質の万象、古生物の長廊、昆虫の王国、秦嶺山脈の不思議、生命の光、科学技術の回廊などの展示ホールとプラネタリウムがあり、「勇者の進む道（子どもの遊技場）」や展望台がある。それぞれの展示ホールに大量の化石、「4大国宝（ジャイアントパンダ、キンシコウ（金糸猴）、ヨウスコウカワイルカ、クチジロジカ）」、秦嶺山脈のベニキジ（血雉）、イヌワシ（金彫）、Kingdonia uniflora（独葉草）、ハンカチノキ（珙桐）、チャイニーズイチイ（紅豆杉）など稀少動植物の標本などのほか、鳥類の展示場「鳥語林」、大型古生物展示台、養魚池、本物そっくりの馬門溪竜、霸王竜など百余種の室外展示など自然現象を解説し、科学精神を養う施設が最新の設備で整い、陝西自然博物館は西安市民、内外の観光客に喜ばれている。

陝西自然博物館航空写真



URL

<http://www.sxnm.net/>

西安曲江海洋世界

西安曲江海洋世界プロジェクトは面積 6 万平米、主に海洋館、海韻広場、海洋ビジネススクラブの 3 部門。メイン施設となる海洋館の建築面積は 18600 平米、水槽に用いられる水の総量は 6000 トン、淡水と海水の生物は 300 余種、12000 尾。主にイルカのショー、海洋科学普及館、熱帯雨林館、海底トンネル、下から`見上げる、水族館など五つの施設が組み合わされている。



曲江海洋世界



大興善寺

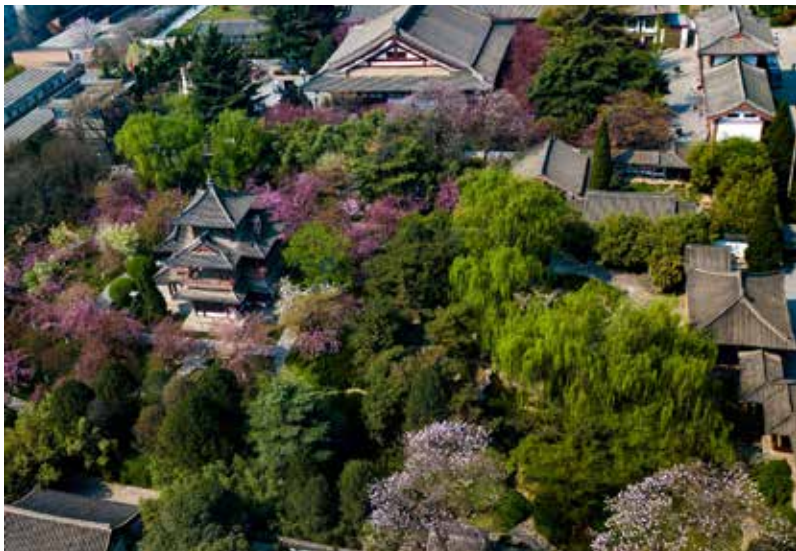
大興善寺は西安市興善寺西街にあり、創建は西晋泰始から太康年間（265—289）、最初の名は遵善寺だった。隋開皇2年（582）、新都・大興城が建てられると、北周の陟岵 ルビ・ちよくこ寺と遵善寺が合併された。寺が長安108坊の靖善坊にあり、大興城の「大興」と靖善坊の「善」の字が組み合わされて大興善寺となった。

大興善寺



大興善寺は皇家と貴族の寺院で、隋代には300人の僧侶が常住し、通年で国に扶養されていた。さらに名僧知識の侍者や弟子、内外から集まった旅の僧ら、1000人以上寄宿し、唐中期には長安第一の名刹といわれたが、唐末の武宗期に行われた廃仏、会昌の法難（841—846）でほぼ破壊され、清代になって再建されたが、昔日の面影にはほど遠かった。

中華人民共和国成立後、幾多の災難に遭った大興善寺は修復が進むにつれ、仏事も頻繁になり、現在は古都西安で最も参詣客の多い寺の一つとなった。



青竜寺

西安青竜寺遺跡風致地区

青竜寺の創建は隋開皇2年（582）、初めの名は靈感寺。唐景雲2年（711）、青竜寺と改名し北宋元祐元年（1086）以後、衰運をたどった。

青竜寺は、入唐ルビ・にっとうした空海が恵果から密教を伝授された寺として知られている。9世紀中葉、日本は多数の学問僧を唐朝に送った中、有名な「入唐八家」の6人が青竜寺で修行している。

空海。弘法大師と号し、804年に日本の遣唐使の一員として入唐し、青竜寺の僧・恵果を師として密教を伝授される。帰国後、高野山で金剛寺を建立し、真言宗の開祖となり、日中文化交流の礎となった。1981年、先達の功績を偲び、中日共同で青竜寺の遺跡に空海記念碑、恵果空海記念堂を建て、青竜寺庭園を造営する。1982年、西安市人民政府はこれを批准して西安市青竜寺遺跡保管所を設立した。遺跡庭園は閑雅な環境に恵まれ、春は桜が満開となって内外の観光客が訪れ、中日友好往来と文化交流に記念すべき場所となった。

桜花爛漫の青竜寺



陝西省西安植物園

陝西省西安植物園は中国西北地区で最も早く、1959年に開所。大雁塔の近く敷地面積 20 ヘクタール、収集した植物は 3000 種に及ぶ。優良種の移植が西北地区で最も多い植物園。

西安植物園は九つに区分されている。薬用植物区、水生植物区、花卉区、油料植物区、芳香植物区、単子葉植物区、双子葉植物区、裸子植物区と木蘭園のほか、1000 余平米の熱帯、亜熱帯植物を展示する二つの温室と日本式庭園の翠華園が人気になっている。



西安植物園に咲く蓮の花

見逃したくない百の理由

閻良区は西安市直轄の遠郊区。市の東北、渭河の以北、市区から50キロのところに位置する。西安の衛星地区としての地理環境と肥沃な土地、優れた風光に恵まれて、瓜、果物、野菜、穀類、綿、乳製品などの農作物とその副産物を産するが、農業だけではない。恵まれた地理環境と時代の追い風を受けて航空産業など多種のハイテク企業に生産基地を提供するなど、`中国のシアトル、と呼ばれている。当然のことながら、交通網、インフラは完備している。

観光スポット

西安閻良航空科学技術館、櫟陽ルビ・れきよう遺跡、古櫟陽橋

ランドマークはハイテク産業

閻良地区は牧歌的な風景の中で航空機産業が高度に発達し、航空機的设计、製造、検査、試験フライト、教学、研究が一体になった著名な中国の航空と宇宙飛行のハイテクエリア。しかし、閻良は農業とハイテクだけの区ではない。2千年前の秦漢都城・櫟陽（ルビ・れきよう）城遺跡が発見されたワンダーランドでもあり、一度は足を運んでみたい。

コース

閻良区国家航空産業基地—航空科学技術博覧館—飛行機生産ライン—飛行機開発
 勲功展—飛行機模型クラブ

閻良区観光は航空科学見学を中心に、中国国家航空産業基地、航空科学技術博覧館、飛行機生産ライン、勲功飛行機展、飛行機模型クラブなどを周遊、飛行機の模擬運転、飛行機模型制作、飛行機搭乗体験などのエンターテイメントも用意されている。

西安閻良航空科学技術館

西安閻良航空科学技術館は、閻良国家航空高技術産業基地の中央部にある。敷地面積1万平米、建築面積4700平米、鉄骨平屋造りで外観は動感あふれる飛行機をイメージし、現代航空産業と航空教育事業が大空に羽ばたくさまは閻良のランドマーク（象徴的建造物）にふさわしく、外来の客を迎える新しい窓口になっている。

櫟陽遺跡

櫟陽遺跡は西安市閻良区武屯鎮閻莊村一帯。櫟陽城は春秋戦国の晩期、前漢（西漢）の末期に廃棄された。戦国時代の秦に仕えた商鞅（ルビ・しょうおうが、法治国家、富国強兵をめざして「商鞅の変法」といわれる大改革を行った土地として知られている。城跡の平面は長方形で面積は4.2平方キロ。城壁は版築工法で、南側に残存する城壁の長さは1640メートル、西側の長さは1420メートル。城内で発見された居住跡は15カ所、その中の2座は地固めされた大型の基部だった。城外の東北には秦漢時代の大型の墓地、東南には戦国から後漢（東漢）に至る墓群が認められた。櫟陽城遺跡からさらに出土したものは銅製の斧、鉄

古櫟陽橋

古櫟陽橋は閻良区北屯郷と臨潼区櫟陽鎮の境界の清河に架かっている。閻良城区から7.5キロ。閻新路の重要な橋でもある。清乾隆帝の『臨潼県志』には「県北五十里清河上に櫟陽橋あり。明総督武志望が架橋を提唱した」とある。青石と呼ばれる石材で堅固なアーチ型に築かれ、幅7.5メートル、長さ30メートル、高さ8メートル。1994年、陝西省公路局が古櫟陽橋から上流150メートルのところにまた新しい橋を架けた。長さ166メートル、幅13メートル、鉄筋入りの双柱が立ち、高さ15メートルで、閻良の南方へ向かう交通の需要に応じたもの。古橋は閻良文物保護古跡に指定されてこれまでの役割を終えた。

見逃してはならない百の理由

臨潼ルビ・りんとう区は西安の東の正門、周秦から漢唐時代まで臨潼はずっと王城近く政治、経済、文化の中心たる役割を担い、`文物（文化財）は天下の甲（第一）`といわれてきた。秦始皇帝陵博物院をはじめとする稀代の国家級文化財がめじろおし、また、歴史の歯車が動くとき多くの挿話がここ臨潼を舞台として今も語り継がれている。

臨潼は仰韶ルビ・ヤンシャオ文化の新石器時代から母系氏族社会が栄えた土地でもある。その姜寨ルビ・きょうさい遺跡は傾国の美女・褒姒ルビ・ほうじの物語が生まれたところ。周の幽王は、笑いを知らない妃の褒姒を笑わせたい一心で烽火に火をつける。慌てふためいて駆けつけた諸侯たちの姿を見て彼女は高笑い、これが度重なって幽王はついに諸侯から見放され国を失う。

兵馬俑



楚の項羽と漢の劉邦が天下分け目の会見を行った「鴻門の宴」も、秦の都・咸陽郊外、ここ臨潼区驪山が舞台。「項莊の舞剣、意は沛公（劉邦）にあり（余興の剣舞で劉邦をもてなすと見せかけ、真意は暗殺にある）」の諺を生んだ。その鴻門はあの秦始皇帝陵から西南にわずか六キロの鴻門堡村という小村にある。そしてその驪山は玄宗皇帝と楊貴妃が演じたラブロマンスの舞台。楊貴妃が湯浴みした驪山の華清池は、1936年、張学良と楊虎城將軍が兵諫亭で蒋介石を監禁し、国共内戦の停止を迫った西安事件を目撃している。臨潼区は多くのヒーロー、ヒロインが登場してはまた暗転した歴史の名舞台といえることができる。

観光スポット

華清宮、秦始皇帝陵博物院、驪山国家森林公园、臨潼博物館、秦陵地宮、世界八大奇跡館



華清宮—秦始皇帝陵 博物院日帰りコース

ロイヤル・リゾート、中国国家 5A クラスの風致地区、唐華清宮御湯遺跡「天下第一温泉」の華清宮。玄宗皇帝と楊貴妃が演じたラブロマンスの舞台および「西安事変」の発生地・環園（五間庁）へ。

秦始皇帝陵兵马俑は世界考古学で最も重要な遺跡となり、その規模、グランド・デザイン、技法による世界文化遺産に登録された。

コース

西安を出て西潼高速道路を東へ 30 分足らず、驪山と華清宮へ。驪山の東を回って約 10 キロで、世界八大奇跡、の秦兵马俑と秦始皇帝陵の偉観を目の辺りにする。



芙蓉湖

日帰りコース

華山日帰りコース

「中国五岳」に数えられている華山西岳。西潼高速道路と隴海鉄道で東進、ぐるりと5峰が競い立つ華山登山口へ。二つの周遊コースがある。

(1) 北峰ロープウエーの往復: 「アジア第一」というロープウエーで北峰の雲台峰へ(往復 150 元＝約 2500 円)。雲上の散歩道から指呼の先に東の峰(朝陽峰)、西の峰(蓮花峰)、南の峰(落雁峰)、中の峰(玉女峰)、最後に標高 2160 メートル、最高峰華山に到着。そそり立つ雄峰、奇峰、圧倒的な山容が見もの。

(2) 西の峰からロープウエーに乗り、北の峰のロープウエーで下山: 華山観光センターから西の峰ロープウエー(下り) 乗り場へ。華山風致地区へ入り、西の峰ロープウエー(上り) に乗る。こちらのロープウエーは絶壁を開鑿して世界で初めてという途中駅を造り、Wの弧を描いて天空を目指す。途中「蓮花」の絶壁、「金亀三公を拝む」絶景、はるかに雄大な秦嶺山脈の起伏を眺め、見おろせば足のすくむ千仞の谷底。わくわく、どきどきの空中散歩。



銅車馬



銅車馬

秦陵地下宮殿—世界八大奇跡館日帰りコース

秦陵地下宮殿展覧館は、国内で初めての大型ジオラマ(立体模型) 歴史文化観光スポットとして「千古一帝」、秦始皇帝陵の西側に建設された。敷地面積 1.7 万平米。秦漢時代の帝王の墓所、地下宮殿の歴史が立体的に視覚化される。

世界八大奇跡館は、現在「世界の七不思議」とされている建築物、巨像のリストに秦始皇帝陵を加えたもの(七不思議とはエジプト・ギザの大ピラミッド、バビロンの空中庭園、エフェソスのアルテミス神殿、オリンピアのゼウス像、ハリカルナッソスの Mausoleum at Halicarnassus、ロドス島の巨像、アレクサンドリアの大灯台の七つ)。1995 年、臨潼驪山のふもとに建設され、敷地面積 7180 平米。各国の建築物、巨像が縮尺模型で復元されている。

コース

秦陵地下宮展覧館—世界八大奇跡館

秦陵地下宮展覧館は大量の文献と考古学の発掘資料、民間伝説などに基づき、ジオラマ(立体模型) 化された。音響、照明、美術効果を加え、ジオラマ・フィギュアの人物も登場する。始皇帝陵の地上の陵墓と地下宮殿に模して、2 層 4000 平米の巨大空間が出現、始皇帝陵の歴史的な全貌を表現する。入場者はこの巨大装置の中に身を置いて、秦陵「千古の謎」に迫り、夢幻の世界に遊ぶ。秦漢時代の建築様式、人々の生活習慣、祭りなど中国の長大な歴史の淵源に遡る。

世界八大奇跡館はチグリス・ユーフラテス両河で生まれた古代文明の敵かて典雅、精美な古代建築に黄河文明、秦代芸術の古朴素な風格を加えて「八大奇跡」とした。

華清宮



華清宮

華清宮は華清池と驪山風致地区に含まれる。西安城東 30 キロ、`世界八大奇跡、の兵馬俑にほど近い。周、秦、漢、隋、唐など歴代帝王の離宮、別苑もここに造営された。第一期の中国 5 A クラスの風致地区に指定されている。

古来変わらずに湧き出る温泉、ここを舞台にした数々の歴史秘話が今も広く語り継がれて海外にも流布し、国際都市長安の爛熟した唐文化は内外旅行者の憧れと名っている。驪山は海拔 1302 メートル、古代神話の女神ゆかりの女媧殿、道教寺院の老君殿、傾国の美女・褒姒ルビ・ほうじにちなむ烽火台、西安事変の発火点・兵諫亭と環園、楊貴妃が寄進した石瓮寺、遇仙橋などの名所が点在し、「驪山の夕照」は`関中八景、に数えられている。

華清宮内には「唐御湯」遺跡博物館、西安事変旧跡・五間庁、九竜湖、芙蓉湖の風致地区、唐梨園遺跡博物館などの文化施設のほか、飛霜殿、万寿殿、長生殿、環園と禹王殿などランドマーク的建築群が揃っている。

URL

<http://www.hqc.cn/>

秦始皇帝陵博物院

1974 年、秦始皇帝陵の東側で副葬された兵馬の坑道が3カ所発見され、続いて発掘が継続され、保存館が建てられた。この3カ所は「品」の字をしており、総面積 22780 平米に及んだ。坑内には本物さながら、等身大の人馬の陶俑、陶馬共に 7400 点が出土し、三カ所の坑が一、二、三号兵馬俑坑と名づけられた。一号坑が最大で、深さ 4.6—6.5 メートル、面積 14260 平米、坑内には 6000 余体の陶人、陶馬が整然と隊列を組み、環形と方形の陣を敷いていた。坑の東端には 3 列横隊の戦士の俑が手には弓弩を持ち、先頭部隊と思われた。その後には鎧兜の主力部隊が続き、手には矛、戈ルビ・か（矛の一種）、戟ルビ・げき（矛の一種）などの兵器を持ち、4 頭だての馬の戦車と一緒に 11 の坑道で 38 列の縦隊を組んでいた。南北の両翼には後衛の部隊が控えていた。

2 号兵馬俑坑の平面は曲尺ルビ・かねじゃくの形をしており、面積 6000 平米、戦士たちは西側に座して東を睨み、相対的に独立した四つの陣立てを組んでいた。①弓部隊は騎兵、歩兵、弓の射手と戦車混成の大型方陣②4 頭だての戦車隊の方陣③戦車付きの歩兵と騎兵混成の長方形の陣④騎兵の方陣——陶俑、陶馬共に 1300 余点、戦車 80 余輛、いずれも金属製の兵器を携えていた。

3 号兵馬俑坑の平面は「凹」の字をなし、面積約 524 平米、1 号、2 号坑と有機的な統一体となり、3 軍を統率する指揮部の役割を果たしていたと思われる。陶俑 68 体と戦馬 4 頭、戦車 1 輛が数えられた。

URL

<http://www.bmy.com.cn/>


秦始皇帝陵博物院

兵馬俑



秦陵地宮（地下宮殿）展覧館

秦陵地下宮殿展覧館は始皇帝陵の西側にあり、敷地面積 16650 平米、建築面積 4200 平米、地下と地上階を合わせた高さ 25.7 メートル、地下部分の高さ 8.7 メートル、地下と地上の 2 層に分かれたジオラマ（立体模型）。2000 年前の地下宮殿が目の前に、手に取るように現れる。秦代の葬儀、埋葬がなぜこのように手厚く、盛大に行われたのか。その時代、靈魂は不滅と信じられ、亡魂に対して厳肅、盛大な礼遇が祖先崇拝と靈魂不滅の觀念に結びつき、文物、文化財の大量に保存につながったものと思われる。その歴史的な価値の高さを思わずにはいられない。



兵馬俑

世界八大奇跡館

世界八大奇跡館は西安市臨潼区秦陵北路中段にある。歴史的資料、データに基づき、縮尺模型のジオラマとなって復元された。その迫真の場面は息を呑むばかり。世界八大奇跡館はチグリス・ユーフラテス両河で生まれた古代文明の巖かで典雅、精美な古代建築に黄河文明、秦代芸術の古朴な風格を加えて「八大奇跡」とした。

「八大奇跡」は、エジプト・ギザの大ピラミッド、中国の西安の秦始皇帝兵馬俑坑以外、バビロンの空中庭園、エフェソスのアルテミス神殿、オリンピアのゼウス像、ハリカルナッソスのマウソロス霊廟、ロドス島の巨像、アレクサンドリアの大灯台の6カ所は往時茫茫、歴史の舞台から姿を消した。世界八大奇跡館は人類が歴史の初期の段階で織りなした夢と希望に形を与え、「奇跡」として実現した。観客は人類の歴史、文化、芸術、建築、宗教に関する知識を深め、啓発されながら美的な形象に目や心を楽しませることができる。

臨潼博物館

西安臨潼博物館は地誌学的な歴史博物館。驪山のふもとに名高い唐華清宮の東側100メートルのところに建設されて30余年、5千年に渡る歴史の文物、文化財万余点が収蔵されている。展示面積600余平米、5室の展示室のうち、一つは歴代の石像、石碑、もう一つは明代の墓石の収蔵室。

唐代の仏教美術の陳列室には国宝級の文化財が10余点、その中には1985年5月5日に出土した唐代慶山寺遺跡の金の棺、銀の外郭、舍利、釈迦如来の真骨、舍利宝帳、唐三彩の獅子など臨潼博物館の顔となる文物のほか、特に100余点にのぼる仏教関係の珍品が注目される。中でも「釈迦如来舍利宝帳」の8文字が鍍金されて刻銘されている舍利宝帳は、天蓋と台座を具備する宝帳の形を石で模し、内部に納めた舍利と舍利容器を保護して莊嚴する役割を持たせたもので、この種の完好の類例はほかにないという。

秦俑芸術室には1974年に出土した秦兵馬俑の中で最も早く発見され、「奇跡」とまで世界に衝撃を与えた「先遣兵士」の像が展示されている。2000余年前、始皇帝陵の地下で戦いの陣形を組んで眠りについた兵士たちの謎が解き明かされる契機となった収蔵品。秦代の軍事、文化に貴重な歴史資料となった。

周秦芸術室には西周、秦代の文物が100余点、秦始皇帝陵から出土した中国最大の瓦当（屋根瓦の軒先の部分）が展示されている。西安臨潼博物館の収蔵品は数多く、歴史的価値もまた高い。日本やドイツ、英国などにも出展され、館内は通年開放されている。



唐三彩の獅子像

石瓮寺ルビ・せきおうじ

石瓮寺は唐代の名刹で、臨潼驪山の石瓮谷東側の東、嶺繡山腹にある。寺の前に緑の楼閣があり、赤く塗られた壁が今も残っている。

唐開元年間（713—741）、玄宗皇帝は道教を重んじて長生殿、朝元閣を建てる一方、楊貴妃は佛を信じて東繡嶺に石瓮寺を建立し、仏像は国内きっての名工を集めて作らせた。

境内に黄楊（冬青衛茅）の古木がある。小ぶりできりりとした花をつける。夏冬、青い葉を茂らせ、驪山ではあまり見かけぬ種だが雅趣に富む。石瓮寺は春の`野遊び、夏の避暑、秋は菊を愛で、冬は雪見と四季の趣きは深い。

古刹に冬の趣き



クリップボード

陝西省北部、黄土高原の中央部にある延安、壺口（大黄河の水が20メートルの隘路を滝となってほとばしる壮観）地区へ旅行するときは要注意。典型的な大陸性気候のため朝晩の温度差が大きく、寝るときはエアコンの温度をチェック。また、紫外線が強く、肌は乾燥にさらされるので、日焼け止め、保湿のスキンケア、サングラスや日傘もお忘れなく。

コースは黄陵—宜川—壺口瀑布—延安。道路はアップダウン、急カーブの連続で居眠り厳禁。後部座席に座ると急停車で投げ出される危険がある。



翠華山

見逃してはならない百の理由

中国が世界を揺り動かした王朝の時代、歴史にくっきりと足跡を残した中に一つの都市の名前が見え隠れする。長安。その名が意味するものは「長治久安」——長かれと祈る安らげき世の栄え——中華民族が数千年に渡る興亡の歴史の中で体得した治世の知恵ということができ、「長安」の名は今も変わらぬ光を放っている。

現在の長安区は72の谷、十大遺跡、400座の陵墓、百の古寺名刹。古都西安の花園といわれている。

西安市長安区の民衆は日々の営みの中で豊かな民情風俗を養い、代々に渡って多彩な民間芸術文化の花を開かせてきた。とりわけ二十四節気の行事、祭り、紅白喜事（結婚と葬儀）は暮らしの中に根を下ろし、社火（縁日の演しもの）、花火、灯籠の賑わい、糝粉ルビ・しんこ細工、切り絵細工、土人形、手漉きの紙など郷土色豊かな工芸品の数々は地域を越え、時代を超えて広く世に知られている。不思議の物語を秘めたこの土地で、人々と体験を共にしてみませんか。

著名スポット

翠華山、秦嶺野生動物園、香積寺、祥峪森林公園

「長安古会」日帰りコース

「古会」は西安市長安区にしかない風習。一種の里帰り（帰省祭）で、この日は、旧正月と竈の神さまを祝う日のように女性が盛り上がる。昔は交通も不便、電話もスマホもない。古会は村民が情報を伝え合い、互いの心を温め合う日だった。今は生活が豊かになり、何もかも便利になり、自由にできるようになったとはいえ、長安区の人々は代々、この風習を守り続けている。

コース

西安近郊の各農村

陝西省の関中一帯、特に西安近郊の農村では今も「古会」の風習を大事にしている。旧暦の6月6日から8月4日までの2カ月のうちの一日。村ごとにその日を決め、重ならないようにする。

西安古会



「長安花碟」日帰りコース

「花碟」は、五穀を象徴する豆、粟、ひまわりの種、くるみ、杏の実などを五彩に塗り、小麦粉と卵を混ぜた糊をまぶす。竹の棒に3寸（約10センチ）、5寸、7寸それぞれの大きさの皿に竹の棒を挟んで3層の塔を作り、これが3層の舞台の見立てとなる。いろいろな物語、伝説に出てくる亭台楼閣や鳥、獣をその上に乗せ、小麦粉を練って作った登場人物を立たせて合計13セット舞台ができあがる。ときには舞台の背景は紙を貼り合わせて作り、さらにその回りをさまざまな花で飾り立てる。

コース

長安杜曲寺坡村ルビ・ときよくじはそん

長安花碟は「皿寄せ（添碟子）」とも呼ばれる。長安杜曲寺坡村独特の民芸品で、毎年正月の13日に関帝廟に出展される。

「社火芯子ルビ・しんし」 1日コース

「社火」は祭りの巡行で演じられる郷土芸能、「芯子」は陝西や甘肅で最も人気のある郷土芸能。5～7歳の幼児がみんなが知っている芝居の登場人物の扮装をし、その仕種を演じて見せる。移動する演技台から落ちないように背中に木の芯を通したり肩を抑えたりすることもある「芯子」と呼ばれるが、まるで人形芝居を見るような可愛らしさと面白さで大受けになる。漢族の民間では「背芯子ルビ・はいしんし」と呼ぶ。

春節の社火



コース

正月期間、西安近郊の各農村。

「社火」は陝西省の春節で一番の呼び物。芯子のほか、高脚踊り、竹馬（春駒）、旱船ルビ・かんせん（張り子の船を身につけて舞い踊る）、獅子舞、竜頭の行列が一軒一軒を回り、村は熱狂に包まれる。家の前で銅鑼と太鼓で景気をつけると、家の主が出てきて爆竹の挨拶で出迎え、点心や飴を行列の演者たちに振る舞う。みんな芯子を待っている。舞台といっても専用のテーブル。親指ほどの太さのワイヤで固定しただけ。3メートルもの高さの上で4、5歳の幼児が一人で演じることもあれば、数人のときもある。横になったり逆立ちしたり、観客は気が気でない。

翠華山国家ジオパーク (地質公園)

翠華山は西安市から 30 キロ、俗称は「山崩れ博物館」。中国で初めて認定された 11 のジオパーク（地質公園）の中の一つで、2002 年中国 4 A クラスの観光風致地区となった。

秦嶺山脈の北麓にあり、主峰の終南山は海拔 2604 メートル、総面積 32 平方キロ、中国で地質崩壊が最も顕著に進行する地区の一つ。崩壊現象が地質学的にすべての典型に相当し、しかもその保存が最も大規模かつ完璧を期しているところから「地質崩壊の大パノラマ」、「ジオパーク博物館」の異称を奉られている。

山容の崩壊は総面積 5.2 平方キロで進行し、石と土砂は 3 億立方メートルに及ぶ。当面は 1.5 平方キロの範囲で整備と保存が行われ、その分布は水湫池、甘湫池、大坪の 3 カ所、主に山頂倒壊の断崖、麓に押し出した土石の海、新しく出現した堰止め湖で困難な作業が進行している。



翠華山

風致地区は翠華峰、玉安峰、甘湫峰で海拔 820～2131 メートル、面積 7.85 平方キロ、山あり、石の原あり、洞窟あり、森あり、寺ありと観光スポットは 68 カ所、主要地点は 18 カ所、これらが組み合わせると想像を絶する奇怪な景観となり、これが 8 カ所の観光エリアにも及ぶ。

翠華山はまた陝西省で最大のスキー場でもある。海拔 1200 メートル、冬季の気温は低く、雪質は抜群。緩急自在のスロープは長く、「秦嶺山脈第一」の折り紙がつけられている。

208

観光スポット



秦嶺野生動物園

秦嶺野生動物園

秦嶺野生動物園は秦嶺山脈北麓の浅山地帯。西安市から28キロ、原生地を離れた野生動物の保護、科学教育、観光、余暇活動、保養などに対応し、テーマパークの総合的機能を持たせている。

中国西北部初の野生動物園で、獣類、鳥類、両棲類、爬虫類など多種多様、大量の動物の数は中国西北部で最たるもの。その規模は「鳥語林」、全国最大の黒豹基地、草食動物のエリアに来るまで乗り入れるとサファリパークの気分を味わえる。

全体は4区分され、歩行遊覧地区、草食動物区、猛獣区、鳥語林、そして動物ショーの演技場、小動物の楽園、遊園地、動物病院、動物検疫場、稀少動物保護・育成施設、名花園、レストラン、珈琲店、休暇村など施設も完備し、顧客サービスも万全。

209

観光スポット

西安秦嶺野生動物園の所在地はかつて歴代王朝の「御花畑」でレジャー基地。漢代では狩猟のための「上林苑」や「翠微宮」など王侯貴族の避暑地として用いられた。唐代には唐明皇（玄宗皇帝）はここを狩場として愛用した。山紫水明、花咲き鳥歌う仙境のようなこの景勝地が「皇宮の内苑に似たり」と讃えられたことから以後「内苑」と呼ばれるようになった。

園内に希有な珍獣は白虎、白蛇、十大毒蛇、秦嶺4大国宝のターキン（羚牛）、金絲猴、パンダ、トキ、そしてアフリカの稀少動物トライカラー（山色犬）をはじめ10余種の外来動物がいる。



虎の子ども

関中民俗芸術博物館

関中民俗芸術博物館は全国人民代表大会、国务院から特別手当てを認められた王勇超氏が30有余年の年月を傾注して創設。民俗文化遺産の救護、収蔵、研究、展示を通して文化事業、文化産業が一体となった戦略的、意欲的なプロジェクト。

1980年代中期から現在に至るまで長い準備期間を経て、周、秦、漢、唐以来歴代の石彫、木彫、中国独特のレンガ彫刻、関中の古民家、日常生活、風俗習慣の史料、史跡、すぐれた書画33600点（セット）などを収集、保存した。40カ所の庭園、明、清代の千軒近い古民家は実際に現地を踏査して保存にこぎ着けたもの。さらに無形文化財として各地の伝統芸能、伝統劇、美術工芸品の作業場、各界各地の儀礼、遺風、習俗などを採録している。これらを民間芸術、関中の民家、民俗習慣、名人の書画の4大系列、9部門に類別し、さまざまな側面から関中地区の各民族の異なった歴史的時期における芸術、美意識、労働、住居、習俗、人情などを反映させている。中でも「地上の兵馬俑」と高く評価される8600点余の「馬をつなぐ杭」は、その独特で精美的な細工が魅力的。

URL

<http://www.gzmsbwy.cn/>


関中民俗芸術博物館

終南山国家森林公园

終南山は中国北方の名山の一つ。西安市南の長安区から 25 キロ、秦嶺山脈北麓の中ごろにある。総面積 75.76 平方キロ、歴史的伝承に富み、李白や王維らが詩想を得た景勝の地。大森林は四季の変化と高度差による垂直分布の森林層を見せてくれる。麓から側柏（コノテガシワ）、栓皮櫟（チャイニーズ・コルク）、松櫟（クヌギ）、赤樺、冷杉（モミ）などフィトンチッド（森が発する芳香）の森林浴と四季それぞれの景観を楽しめる。南五台山、石砭峪（石壁谷）、翠華山、羅漢坪など四つの風致地区に分かれ、その中央に位置する南五台山は特級開発区指定されている。

終南山は生物の種類も多く、自然植物園と呼ばれている。西安近郊では得難い理想的なリゾート地といえる。その一方、山崩れ、堰止め湖など、特異な景観でジオパーク博物館、の一面も持っている。前項で翠華山に触れたので、ここでは観音台を紹介すると、海拔 1688 メートル、3 面が切り立った絶壁、台状の頂上に立つと、南はどこまでもうねる秦嶺山脈の峰々、北は秦川八百里、渭河、涇河、洛河、灞河など渭河平原を潤す縦横の流れ、ここから古都西安をすべて眼底に納めることができ、特に終南山の夜気の中西安の万灯またたく夜景を見おろしたとき、あなたはどんな感慨を抱くだろうか。

祥峪森林公園（ルビ・しょうよく）

祥峪（ルビ・しょうよく）森林公園は秦嶺山脈の北麓、西安市長安区内東大鎮境内の観音山下にある。西安から 36.9 キロ、西澧ルビ・せいれい高速で環山路へ行き、西へ車を駆ると 10 分で着く。そこは関中では滅多に見られない長江下流江南の風情を漂わせた手つかずの自然が残っている。伝承によると、瑞雲たなびく観音の霊地というところから「観音山」と命名され、詩仙の李白もその名を慕って来遊したという。祥峪森林公園は山門をくぐって南垵ルビ・なんあ松涛まで数十キロのエリア内で多くの自然風致地区が点在している。山岳重畳の幽邃境、群がり立つ奇峰に溪水潺々と流れ、観音山の瑞祥の気に包まれる。

公園の大門は広大な盆地に高々とそびえ、四囲 400 万平米の中に松、楊柳、竹、エンジュなど緑樹の茂りは天日を覆い、関中伝統の豪壮な農家造りの建物や別荘が曲径通幽の散歩道に見え隠れする。それぞれの特色を持ったリゾート地が 3 カ所、プールや釣り堀をたどっていくと、7 メートルものコンクリートの道が現れ、清流に沿って続く。都塵を洗い流す別天地、山水画の世界がここにある。

楊虎城將軍陵園

著名な愛国の士・楊虎城將軍を記念するために 1950 年、中央人民政府は將軍の遺骨を重慶から移送して長安に葬り、陵園とした。

陵園は長安区韋曲鎮の東南 1 キロのところにある。背に鳳棲原を負い、北は杜公祠に連なり、明媚な山水に囲まれている。封土の回りは青灰色のレンガで固められ、荘嚴な趣きの中、東に面して三つの陵が並び、「烈士楊拯中之墓」、「烈士謝葆貞之墓（6 歳だった楊拯貴と母親が合葬されている）」、「革先烈楊虎城將軍之墓」と続いている。

クリップボード

秦嶺山脈の北麓は谷筋が縦横に走って道を見失いがち。山水美に遊ぶ中、安全第一に事故のないようにくれぐれもご用心。



泾渭分明

見逃してはならない百の理由

高陵区は西安市の北部、千古の奇景「泾渭分明」がある。渭河は黄河最大の支流。黄河も渭河も黄土高原を流れてその水は黄濁しているが、渭河に注ぐ泾河はまだ濁りを知らない。泾河と渭河が合流するところは清濁の境目がはっきり分かれ、一線が画されているところから人品の清濁、価値観の違いにも喩えられる。

高陵区は面積 294 万平方キロ、人口は 34.22 万人。両河の`長所、を併呑する土地として語られ、また交通の便についても2本の高速道路、2本の国道、省道が交差する地の利を占めている『一馬平川』とは「馬に任せてどこまでも走ることのできる広い土地」の意だが、事柄を達成できる平坦な道の意として用いられる。高陵区は俗に西安市の`白菜の芯、と呼ばれ、疾駆する馬のような発展の勢いを示している。

著名スポット

高陵奇石博物館、昭慧院塔

美食街

西安の東大門高陵區に昔から語り継がれている村がある。その名は史喩。全村460戸1800人、その中の80戸が饅ルビ・モー（お焼き）作りの工場を持ち、800人あまり村民が働いている。小石を使って作るから、その名は石子饅（ルビ・シーズモー）。

コース

西安高陵區史喩村

石子饅は関中地区で人気の食品、油でこねた小麦粉の生地を熱した小石の上に乗せて焼いて作る。ある人にいわせれば、石子饅の始まりは石器時代に遡るといふ。火を使い始めた人間はまだ鍋や釜を知らない。焚き火の下で熱せられた小石を見て、はたと思いついた。これでこねた小麦を焼いてみよう。こうして小石が人間の食生活に取り入れられ、今日の石子饅になったという。

興味を持った方はこれを食べるだけでなく、本場、本家本元へ行って一緒に作ってみてはいかがだろうか。

石子饅



高陵奇石博物館

高陵奇石博物館は2013年7月に落成、西安市の「博物館の都」都市計画プロジェクトの一翼を担うことになった。六つの展示場に分かれ、化石、奇石、クォーツ(水晶)、貴石類など数万を超える所蔵品の中から千余点が展示されている。とりわけ注目を集めているのが、渭河水域の張トルビ・ちょうぼく河から出土したマンモスの化石。これまで中国で発見された中で、最南端のものとされている。

西安の高陵奇石博物館は江南の伝統的な庭園設計に倣って展示館の棟が分かれている。まず展覧館と奇石生態園の二つに大別され、展覧館は化石館、奇石館、科学普及館に分かれる。化石館は主に渭河流域出土のマンモスの骨格と遼寧省西部の動植物の化石だが、やはり地元渭河水系の特色を持つものが多い。奇石館は1階の奇石類、2階の鉱石、水晶類で構成されている。伝説の「中華神亀」そっくりの石や美味佳肴山盛り大皿料理に似たものもあるが、燦爛と輝く水晶類に人気があるようだ。

唐東渭橋遺跡

中国重点文化財保護遺跡で、北の渭河北部と南の長安をつなぐ唐東渭橋は、唐代渭河三橋の一つに数えられ、長安から渭河へ行く重要な道。その構造と規模は古代橋梁建設史上の道標になっていた。

関中を潤し、黄河に注ぐ渭河は周、秦、漢、唐王朝文化の発祥の地。漢、唐代の都は渭河の南に位置し、渭河の南北を繋いでいるのが東渭橋であったため、渭河の治水と橋梁技術の研究は歴史的にも大きな価値を有している。

東渭橋は今の渭河より 2500 メートルが離れている。唐代開元年（713 － 741）から今までの 1300 年間の間に渭河は北へ 2.5 キロ移ったことが分かった。何度も氾濫を起こした渭河の治水と河道変遷の研究は現在においても現実的な意義を持っている。

昭慧院塔

昭慧院は唐昭慧院、現高陵第一中学校の学内にある。建造時は調査中だが、明嘉靖年間（1522—1566）とされている。基層部が損壊して傾いたまま年月が経ち、当時、銀孟常らが修理の手を加えていた。密檐式のレンガ塔で高さ 53 メートル、8 面 13 層、頂部は円形の宝瓶式。1 階の南と北にアーチ式の門があり、上階は各階の東西南北の四方に同様の門を持っている。各層の軒はせり出し、8 番目から軒の張り出しは見せかけとなり、内側に向かって積まれるが、庇の反りはやや上向きとなっている。各層には鉄鈴が吊られ、108 個を数える。内部に階段が螺旋状に組まれて登ることができる。堅固な構造は千年を経て度重なる地震にも耐え、宙にそびえている。

補修後の塔は当時のたたずまいを残し、晴れた日に遠望すると、盛唐時の栄華がまざまざと蘇り、渭河北部の風光と共に眼底に焼きつけられることだろう。

見逃してはならない百の理由

鄠邑ルビこゆう区は陝西関中地区の渭河流域にあって肥沃な土地、温和な気候に恵まれ、新石器時代（前 40—前 21 世紀）から人が住みつき、原始氏族の共同社会を形成していた。天然自然の豊かさ、快適な気候、四季の移り変わりは今も変わらず、南部の秦嶺山脈の動植物資源、観光資源、温泉資源はさらなる恵みを与えている。現在、鄠邑区の人々は「絵画の里」「中国詩歌の里」「中国鼓舞の里」「全国囲碁の里」の活動で全国に知られている。

著名ポイント

朱雀国家森林公园、太平国家森林公园、高冠瀑布、草堂寺

お薦めコース

「牡丹濃艶 人心を乱し、一国狂うが如し」と歌われ、長安の王侯貴族から「花王」「花神」「富貴花」と愛された牡丹は、今、ここ鄠邑区の阿姑泉（ルビ・あこせん）牡丹園で思うさま賞翫することができる。長安人士も羨むことだろう。加えて、太古の森の森林浴、王朝人の雅びに倣って野遊びの風情を楽しみたい。

コース

阿姑泉牡丹園—高冠瀑布—朱雀国家森林公园

阿姑泉牡丹園風致地区は鄠邑区城南 10 キロの終南山北麓、戸県石井郷阿姑泉村の傾斜に広がる。千年涸れたことのない、井戸が三つあり、その名が与えられた。牡丹園が開かれる前、この地は森林率が 93% という静寂幽邃の地だった。水、土、空気、汚れを知らず、近くには古刹、景勝スポットも多く、毎年春から夏にかけて多くの風流人士が押し寄せる。1993 年、森林と山水と花卉をテーマに森林公園が企画されたとき、古都長安にふさわしい「花王」牡丹が選ばれた。



満開の「花王」牡丹

牡丹園の東に仏教伝来ゆかりの草堂寺、高冠の滝が接し、西隣には朱雀森林公園が続く。都塵を遠く離れて、大自然のふところ深く遊びたい。高冠の滝では高冠灘、簸箕ルビ・はき（ちりとり）潭、梅花潭、鴿子ルビ・こうし（鳩）潭、車廂（客車）潭……蒼穹を映し、瀬となり淵となる流れに導かれ、牛鼻洞、蛤蟆ルビ・がま石、浮休石が興を添える。

朱雀森林公園には天を突く天柱峰、青蓮峰、仏掌峰、渡仙峰、竜背嶺、蓮台観音、聚仙山、玉笋仏雲（タケノコのような雲形の峰）など目にいとまがなく、高山落葉松は盆景の趣き、すべてが絵の如く、詩の如く、仙境に遊ぶ心地がする。

朱雀国家森林公园

西安朱雀国家森林公园は鄠邑区の南部、秦嶺山脈の北麓、東潯河の上流にあり、面積 26.21 平方キロ、朱雀崖、秦高梁（尾根筋）、芦花河、奇秀峰、竜潭子、氷河翠など六つの観光エリアが国家クラスの森林公園に編入された。

公園は鄠邑区の町から 45 キロ、広大な森林地帯の真っ只中、川筋が開けて森の物語を話しかけてくる。爽やかな気候が都会人に喜ばれ、夏の最高気温は 27 度。森の気が満ちる中、3 河、6 溪、8 瀑、18 潭が五つの風致地区と 105 のポイントを作り出す。深い森の見慣れぬ巨樹や花々と切り立つ崖、奇岩怪石のコントラストはきっと絵心をかき立ててくれるだろう。

URL

<http://www.zhuquepark.com/>

太平森林公園

太平森林公園は鄠邑区太平峪にある。西安から 44 キロ、咸陽から 60 キロ、総面積 60.85 平方キロ、園内の見どころは石門、月宮潭、石船子、黄羊ダム、シラカバ林の 5 地区と 100 近くのスポット。

太平峪は隋朝の皇家が建てた太平宮から得た名前。溪谷美と山水の景観が唐朝に受け継がれ、皇家の避暑地となった。

公園内には野生動物が多く棲息し、中国国家保護の一類、二類の動物が 30 種以上、蘇門カモシカ、青羊（カモシカの一種）、ジャコウ鹿、ハリネズミ、キンケイ、キジ、ガビチョウなどが林間、溪谷や道端に出没し、森林公園の景観に融けこんでいる、1999 年 2 月、公園は国家 2 級の保護動物アカゲザルの群れを放し飼いにした。秦嶺山脈北麓に珍種が増え、公園に新しい景観を生み出している。

森の中を歩けば、目の中に飛びこんでくる大小 12 の滝。最大落差 100 メートルを超え、園内 2.5 キロの範囲に点在し、中国北方の奇観を呈している。滝壺には霧が立ちこめて虹がかかり、その中に身を置くと、そこは浮き世離れた仙境。虹の滝、玉帯の滝、仙鶴橋の滝、竜口の滝……さまざまに名づけられている。

URL

<http://tianxiaqiguan.com>

草堂寺

草堂寺は西安市西南郊 35 キロ、西安市環山自然歩道鄠邑区東部の北、西は太水、南は秦嶺山脈を臨む古刹。仏教が中国に伝来した草分けの時代にタイムスリップする。

ここには玄奘三蔵と共に仏典の『大般若経』と言われる鳩摩羅什・くまらじゅうの舍利塔がある。「煙霧井」「二柏一眼井」、明代から伝わる鉄の鐘、そして玄奘三蔵が天竺から持ち帰ったという貝葉経ルビ・ばいようきょう（ヤシの葉に書かれた経文）、唐太宗が草堂寺に寄せた詩碑、鳩摩羅什の宗派図録、唐圭峰定慧禅師匠の碑、宏林法師の舍利など多くの文物古跡が残されている。恵まれた風光の中、堂宇の規模は大きい。この機会に鳩摩羅什の名訳「色即是空 空即是色」を噛みしめてはいかが。



草堂寺

重陽宮

全真教ルビ・ぜんしんきょうは金の支配下にあった華北の人、王重陽が開いた道教の一派で、その`3大祖庭、とされるのが北京の白雲観、山西の永樂宮、陝西の重陽宮。重陽宮は西安市郊外から10キロ、鄠邑区祖庵鎮にあり、王重陽が若年で修行し、羽化登仙(道教の死)したところで、`天下の祖庭、`全真教の聖地、とされている。

重陽宮の廟は天地、日月山川と社稷(土地の神と五穀の神)を祭るところで、農耕民である漢族の生活意識、宇宙観、宗教観を表しており、その構成、配置は宮殿建築と一致している。しかし、宮殿より簡略化されて規模は小さく色彩も華美に渡らず金の多用を避けているが、廟の装飾、室内の装置はそれぞれに宗教的色彩が凝らされている。堂内は鐘楼と鼓楼が対称の位置に置かれ、全真教七真人(馬丹陽、譚長真、劉長生、丘長春、王玉陽、郝広寧、孫不二)の図像と「万寿宮図」、蒙古文、チベット文とバスパ文字で書かれた聖旨の石碑が置かれ、中国道教の発展史をたどる上で貴重な資料となっている。

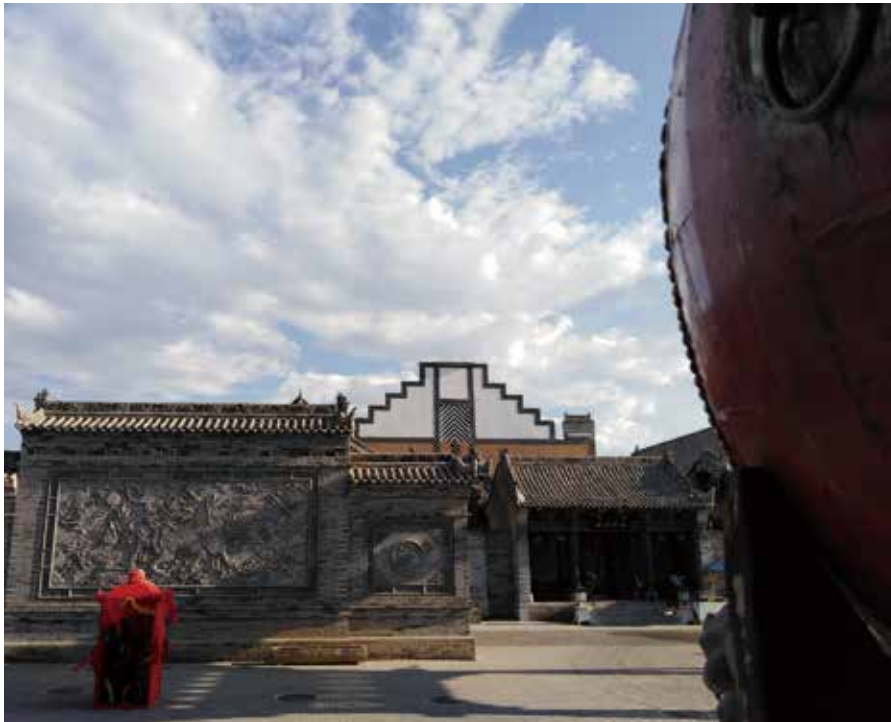


道教寺院の一角

高冠瀑布

高冠瀑布は鄠邑区の東南20キロ、秦嶺山脈北麓の圭峰山の高冠峪口にある。その入り口の両側にひととき高い秀峰がそびえ、その形は巨人が帽子をかぶっているように見えるので、「高冠峪(谷)」と呼ばれるようになり、そこに懸かる滝も同じ名が与えられた。峡谷美にすぐれ、秦漢時から皇家御苑の一部となり、唐代には帝都長安近郊の行楽地となった。

高冠景勝区は緑滴る山々、軽やかなせせらぎの音、花の香りに導かれ、高冠潭、簸箕ルビ・はき(ちりとり)潭、梅花潭、鴿子(鳩)潭、車廂(客車)潭を周遊、牛鼻洞、蛤蟆ルビ・がま石、浮休石が興を添える。滝西岸の段丘には盛唐の詩人・岑参ルビ・しんじんの座像が置かれている。滝音に耳を澄ましているのだろうか、「君聞かずや、胡笳ルビ・こかの声最も哀しきを。紫髯ルビ・しぜん緑眼の故人吹く」の悲歌は日本でも愛唱されている。また、「富貴にして淫せず 貧賤にして楽しむ」と吟じた北宋時代の理学者・程明道が建てた明道亭も興味深い。高冠峪風致地区では各観光サービスも完備している。



白鹿原映画テレビ城

見逃してはならない百の理由

西安市藍田県は悠久の歴史の中、多くの文化的景観を育んできた。中華民族発祥の地ともいわれている。ここから出土したのは 115 万年前の猿人化石だけではない。もともと藍田は中国古代美玉の代表的産地で、`中国美玉の里、と呼ばれ、始皇帝印も楊貴妃の玉帯も藍田玉だった。藍田はまた`第2の敦煌、といわれる彩色塑像の宝庫。六朝時代創建という悟真寺・水陸庵の壁面をぐるり取り巻く 3700 もの塑像は息を呑むばかり。王順山国家森林公园の大自然の中、お勧めは流峪るび・りゅうよく飛峡のエコロジゾーン。そしてまた藍田は陝西料理と`名コックの里、の呼び名でも知られている。

著名スポット

藍田猿人遺跡、水陸庵、王順山、湯峪るび・ゆよく温泉、白鹿原映画テレビ城

お薦めコース

三国時代の悲運の才女・蔡文姫記念館で乱世の絵巻を見た後、藍田玉のショッピングと藍田グルメを楽しむ、115 萬年前の藍田猿人遺跡を見学。秦嶺山脈の手つかずの自然の中、流峪るび・りゅうよく飛峽のエコロジーゾーンへ。

コース

蔡文姫記念館—水陸庵—悟真西寺—藍田猿人遺跡—流峪飛峽

コース紹介

蔡文姫派墓は陝西省重要文化財保護遺跡、西安城東南藍田県三里鎮郷蔡王莊村の西北 100 メートルのところにある。蔡文姫は蔡琰ルビ・さいえんともいい、後漢（橋東漢）末の女流詩人。幼いころから文学・音楽・書に通じ、博学かつ弁術に巧みで音律にも通じていた。戦乱の中、匈奴に連れ去られて 12 年間、匈奴王のもとに留め置かれ、



传统建筑

2子を産むが、彼女を助けたのは曹操だった。金の壁ルビ・へきで匈奴王から買い戻された後、ここで没し、葬られた。1991 年蔡文姫記念館が建てられ、館内では蔡文姫の苦悩の生涯で記された『悲憤詩』や『後漢書』の『董祀ルビ・とうし伝』董祀、『胡笳ルビ・こか十八拍』（葦笛に合わせ琴をかき鳴らしながら 18 曲に分けて歌われるもの）が収蔵されている。

水陸庵では大殿内の彩色塑像が注目される。唐代の著名な彫塑家・楊恵之の作といわれ、南北の壁と仕切りの壁、西の軒下の壁の 4 面に所狭しと置かれている。最も精彩に富むのは南北の壁で、釈迦の数奇な生涯がまるで連環画（劇画）のようなリアルな造型で生き生きと物語られている。

悟真西寺院内の大雄宝殿はまさに「彫梁画棟」の豪華さで、涅槃仏ルビ・ねはんぶつ（寝仏）が 18 メートルもの粘土像となって展示され、釈迦入滅の厳かな情景を伝えている。堂屋の両側にある山形の壁（山牆ルビ・さんしょう）の彫塑は精緻を極め、あざやかな彩色と相まって仏教文化の精髓を描き出している。

藍田猿人遺跡は、猿人の頭蓋骨の化石がすでに 115 万年が経過し、北京周口店の原人より古いものとされ、人類文明史の研究に豊富な資料を提供している。考古学愛好者には足を運んでいただきたいところ。

流峪飛峽観光区には、中唐の詩人・韓愈が「左遷されて藍関にあり」と歌った藍田の関所がある。今は西安のエコロジーゾーン、リゾート地となっているが、秦嶺山脈北麓の大自然と奇観・奇景の中、あなたも藍関古道を歩き、「雲は秦嶺に横たわって家いずくにかある 雪は藍関を擁して馬進まず」の情景に身を置いてみるのはいかがだろうか。

藍田猿人遺跡

1964 年、科学者が藍田県の公王嶺で 115 万年前という猿人の頭蓋骨化石を発見した。この報道は世界を震撼させ、1960 年代国際考古学界の重大発見とされた。この頭蓋化石と共に出土した 2000 点以上の動物化石と公王嶺の「第 4 紀黄土」の発掘箇所は万全の保存がなされ、猿人の進化過程研究に恰好なプラットフォームを提供している。

藍田遺跡に立つと、そこに人類進化の長い歴史に一筋の明るい光が射すのを見るに違いない。それは人類の夜明けの光、そこで時が一瞬凝固し、聞こえてくるものがある。それは往時茫茫、歳月の歌だ。



藍田猿人の塑像

水陸庵

水陸庵は藍田县城東 10 キロ、普化鎮の王順山下にある。六朝ルビ・りくちょう（後漢滅亡後、隋の統一まで 222 - 589）の名刹で、精巧な彩色塑像が、まれに見る最良の保存状態で現代に伝えられ、`第二の敦煌、と呼ばれている。その地は外周に青山がそびえ、河川が入り組んで環流し、3面を水に囲まれて孤島のように見えることから「水陸庵」の名が与えられた。

水陸庵の彩色の塑像群は釈迦の受難劇が壮大なスケールで群衆劇のように演じられ、連環画式に壁を埋める壮観は`天下一、の呼び名を取り、中国重要文化財保護遺跡に指定された。水陸庵はもと悟真寺の水陸殿だったところ。水陸とは`水陸無主の孤魂——水陸の闇をさまよう無縁仏、の意で、その供養をすることは当時の仏教界で最大の法要だった。悟真寺の水陸殿は衆生済度ルビ・しゅじょうさいどの法会「水陸大齋」「水陸道場」が行われる重要な場所だったことになる。明朝時、秦藩王朱懷堵ルビ・しゅかいけんは5年の歳月をかけて修復し、一族の家廟とした。

水陸庵大雄大宝殿の壁を埋めた 3700 余体の塑像は`壁面彫刻の至宝、と呼ばれ、その殿宇に衆生済度の光が射すとき、蛟竜は天を駆け、飛竜舞鳳、花竹虫魚も喜びに舞い踊る——この彩色塑像の陳列館は彫刻と絵画、建築と音楽、演劇と舞踊が一体となった芸術館といえる。



水陸庵の塑像群



URL

<http://www.sxblyysc.com/>

白鹿原映画テレビ城

白鹿原映画テレビ城は藍田県前衛鎮にある。西安市東郊の村々に語り継がれる白い鹿の伝説。この姿を見たものはこの世のありとあらゆる幸せと富、栄達がかねえられるという。この伝説をめぐる描かれた親子3代の愛憎劇、陳忠実作『白鹿原』は1997年、中国の代表的な文学賞である茅盾文学賞を受賞、日本でも翻訳出版されて好評を博した。北京人民芸術劇院もこれを劇化し、地元の農民が秦腔ルビ・チンチアンの奏者として北京の舞台に立って話題となった。映画化されてロケ地となった藍田県は関中地区の歴史、宗法（家族制度）、住居、秦腔、風俗習慣が一体となった一大テーマパークを出現させた。広大な敷地に作品の舞台となった白鹿村、滋水県城、当時の街並み、住居などが再現され、美食エリア、遊戯エリアも付設されている。陳彦作の『装台』がテレビドラマ化されて、そのロケもここで行われた。陳彦作の『装台』（菱沼彬晃日本語訳「西京バックステージ仕込み人」）（晩成書房 2019 年出版）

輞川ルビ・もうせん鍾乳洞

「空山人を見ず 但だ人語の響きを聞く」——盛唐の詩人で画家・王維の自然詩の代表作。藍田県輞川ルビ・もうせんの別荘に隠居して詩画三昧の暮らしを送った中から生まれた傑作で、『輞川集』に掲載されている。

輞川鍾乳洞は西安市から40キロのところにあるカルスト洞窟で、鍾乳石や石筍の奇観は「凌雲」「錫水」の名がつけられて、蓬萊に似ており、海の宮殿に似ているともいわれる。王維は詩のほか絵画にも才能を発揮し、『晴好雨奇』の輞川の自然を歌い、また描いて『輞川二十景』のユートピアを完成させている。南宗画（南画）の祖と仰がれ、その影響を受けた日本の画家、文人に池大雅や与謝蕪村がいる。



藍田の杏花谷



楼観台

見逃してはならない百の理由

周至県は南は秦嶺山脈、北は渭河に面し、山と河の「七曲がり」が果てしなく続く土地、周至という地名にその意がこめられているが、行って見て初めて実感できる。古来「天下第一の福地（神仙の御座所）」といわれ、楼観台は道教の聖地とされている。白居易の『長恨歌』が生まれる契機となった仙遊寺があり、白居易は楊貴妃亡き後、友人たちから強く勧められ執筆を決意したという。ここはまた、キウイフルーツの産地であり、西安市の給水基地として国家級生態保全のモデル県でもある。

著名スポット

楼観台、仙遊寺、黒河森林公園

道教文化の旅

道家の始祖・老子、義を貫いて首陽山にこもり、窮死した伯夷叔斉ルビ・はいしゅくせい兄弟……中国人の心の琴線に触れる道教文化の跡をたどる。

コース

楼観台—首陽山—周至県老子の墓

西周の時代、空にたなびく紫雲と共に秦嶺の麓に現れた老子、これを迎えた尹喜ルビ・いんきの 観星楼、老子はここで『道德経』5千言を書いて説経台を設け、観星楼と説経台は合わせて楼観台と呼ばれた。その後、秦の始皇帝の清廟、漢武帝の望仙宮、大秦寺塔、さらに煉丹炉、呂祖洞、上善池など 60 余個所の道教の聖跡が残っている。

首陽山は秦嶺山脈第2の高峰で、海拔 2720 メートル。首陽山で餓死した伯夷叔斉の物語はあまりにも有名。殷の紂王ルビ・ちゅうおうを討とうとする周の武王の軍を引き止め、臣下が主君を討つのは仁にあらずと忠言したが聞き入れられず、二人は首陽山に隠棲する。「周の粟ルビ・そくを食らわず」とワラビを食べ、朝陽を拝んで「奇なるかな美なるかな首陽山!」と嘆じ、首陽山の名はここから起こった。伯夷叔斉の死後、儒家は二人を聖賢と讃え、道家は大太白神、二太白神の称号を贈った。以後首陽山には廟堂が相次いで建てられた。

老子の墓は周至県楼観台の西3キロの大陵山にある。中国周代の思想家、哲学者、道家の始祖が晩年を暮らし、著述し、そして羽化した土地はまた西楼観台と呼ばれた。楕円形の墓は清乾隆帝のとき、著名な学者で陝西巡撫の畢沅が「周老子墓」と4字の石碑を建てた。1956 年、陝西省第一期の重要文化財保護遺跡に指定された。



古棧道の遺物

楼観台森林公園

楼観台は1982年に中国で最も早く12森林公園の一つに認定された。1992年、国家クラスの森林公園に格上げされた。総面積273平方キロ、東楼観、西楼観、田峪河、首陽山の4区画に分かれている。

楼観台森林公園は陝西周至県にあり、隴海鉄道（江蘇省連雲港市—甘肅省蘭州市）と西安—宝鶏高速道路が交わるところで交通の便はよく、秦嶺山脈北麓の終南山の麓とあって西安観光の十大景観に挙げられている。

楼観台の見どころは優に200スポットを数える。谷深く空狭く、四十里峡谷—線天、野牛河瀑布、旺子溝鍾乳洞、首陽山五彩石、就峪河竜王潭などの自然景観、老子の説経台、煉丹峰、仰天池、大陵山、吾老洞、聞仙人溝、竜王廟、紅孩洞などのポイントがある。

森林公園で目下開放されている東楼観は50箇所もの見どころがある。世界で最も高緯度、中国北方最大の百竹園、秦嶺山脈で飼育している国宝のパンダ、金糸猴、ターキン（羚牛）などの稀少動物の珍獣館、中国最古の道教寺院——老子が道を説いた説経台、山と水と森が一体になり、森林気象（森林の内部またはその周辺に生ずる特異な気象現象）の特徴を持つ聞仙溝一帯など、多くの訪問客を招いている。



楼観台牌楼

黒河森林公園

黒河森林公園は秦嶺山脈の北麓、総面積 76.42 平方キロ、最高所は海拔 1266 メートル、高度差が大きいため、植生は「五里一片景、十里一層天」（五里行けば景色が変わり、十里行けばまるで空模様）のように変わり、谷の景色もまた急湍、深淵、瀑布、幽谷と、めまぐるしく変わる。



黒河森林公園

観光区は黒河区、大蟒河ルビ・だいもうが区、厚畛子ルビ・こうしんし区、大樹溝区など4区分され、碧水は奇峰を映し、山溪の妙、流水の美がこもごも至り、これは何かと問えば、鉄甲樹、梨仙樹、玉蘭王、顔を見せる動物はパンダ、金糸猴、ターキン（羚牛）など。ここに足を運んだ古今の人士は姜子牙ルビ・きょうしが（周の文王、武王を支えた軍師、呂尚＝太公望）、劉邦、劉秀（後漢王朝の初代皇帝）、李白（盛唐期の詩人）、白居易（中唐期の詩人）張大千（近代中国の書画家）、于右任ルビ・うゆうじん（清末から中華民国にかけての政治家・軍人・書家）、邵力子ルビ・しょうりきし（中国共産党発起人の一人）ら古今の多士済々。この地に一筆したため、貴重な墨跡を残している。

首陽山

首陽山は秦嶺山脈北麓の高峰で、海拔 2719.8 メートル、周至県九峰郷、耿峪ルビ・こうよくにある。西安の東 60 キロ、周至県城の西 30 キロ、名所古跡、自然景観、枚挙にいとまない。

道教の廟、堂宇が林立し、歴史に多くの逸話を残している。

首陽山の夏は涼しく、また雨が多い。冬は雪に鎖され、寒さも厳しい。山頂を目指すなら、耿峪、滌峪ルビ・えいよく、甘峪、田峪、いずれからも登頂できるが、ほとんどの人は最短ルート of 耿峪を選んでいる。頂上まで 35 キロ、長いとは言えないが、急登が多く、下山するときもアップダウンが激しく、高度差 2360 メートルはハードなものかも知れない。

仙遊寺

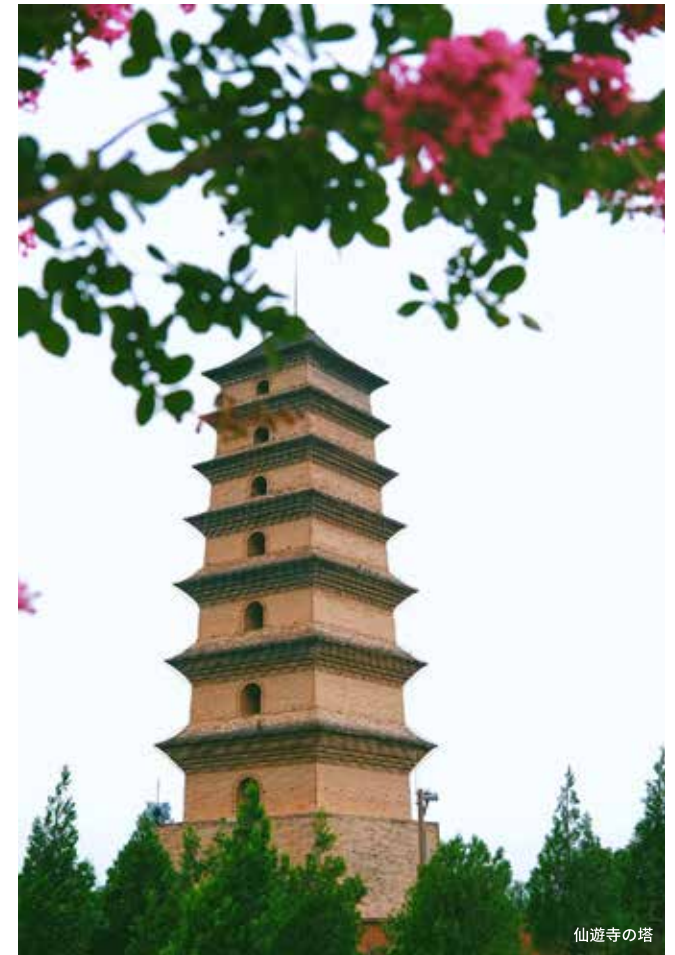
仙遊寺は周至県城の南 17 キロ、黒水峪の入り口にある。西安の西南の西端、自然と古跡、伝説が融合合った旅遊コース。春秋時代の秦の穆公ルビ・ぼくこうの娘、弄玉ルビ・ろうぎよくと簫の名手、蕭史ルビ・しょうしとの愛の物語はここで生まれた。夫婦になった二人は共に簫を吹き鳴らし、その音色に誘われて竜と鳳凰がやって来るようになったが、ある日、二人はそれぞれ竜と鳳凰に乗り、空高く飛んで行った……。

仙遊寺は隋開皇 18 年 (598) に建てられ、「仙遊宮」と呼ばれていた。楊堅 (隋の初代皇帝) は隋開寿元年 (601) 10 月 15 日、大興善寺の童真高僧に命じて仏舍利を「仙遊宮」に送り、舍利塔を立てて「仙游寺」と改名した。

仙遊寺は都の文人墨客を多く呼び寄せ、唐朝の白居易、岑参ルビ・しんじん、宋朝の蘇東坡らがここに杖を引いて詩を詠み、墨跡を残した。その中で白居易が県丞のとき書いた『長恨歌』は余りにも有名。

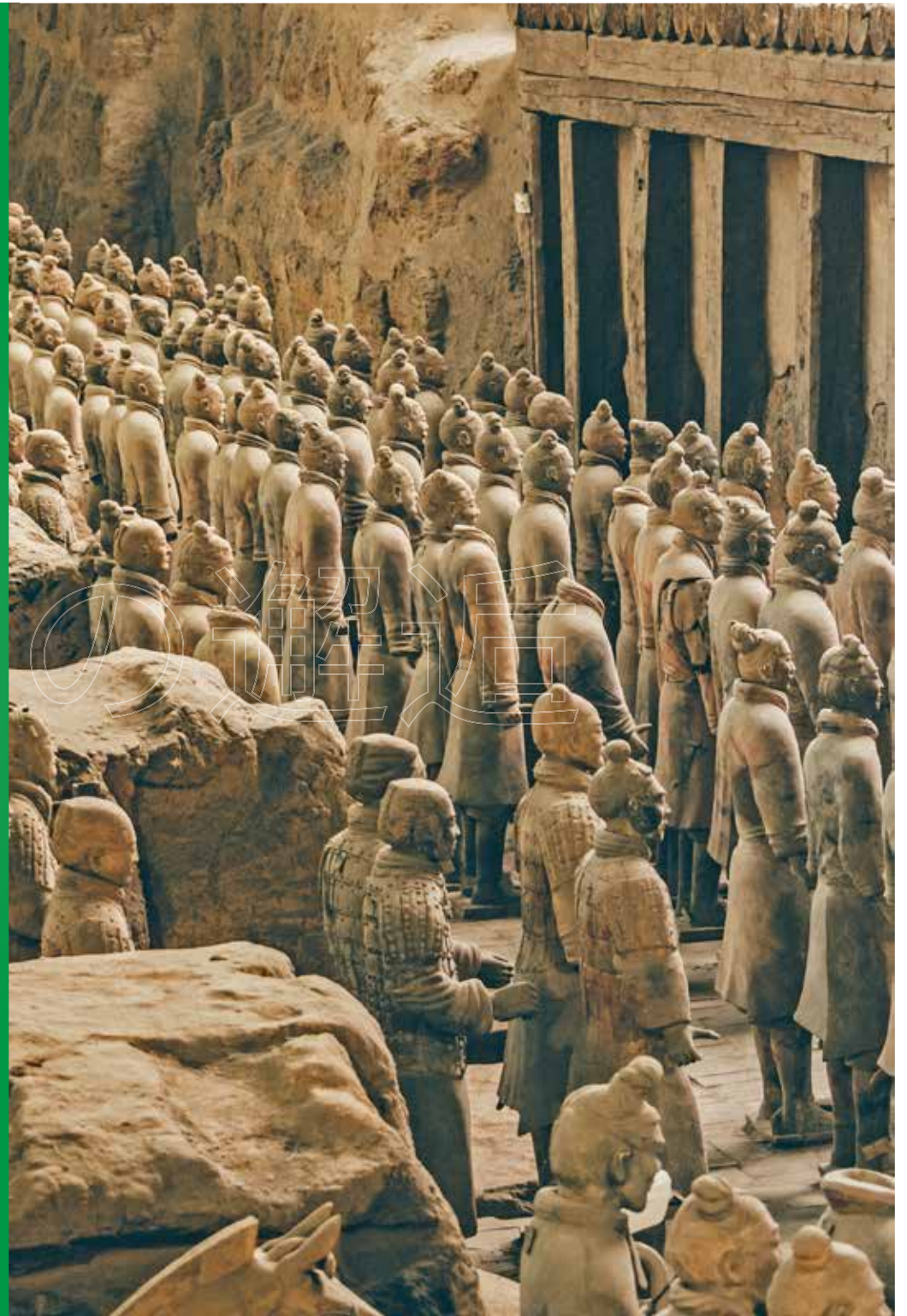
仙遊寺の宝塔（法王塔）は木造に似せたレンガ造りの塔。各層の軒はレンガのせり出しになっており、各層の正面に塔門が作られている。古朴で荘重な造型美を見せている。寺院は歴代の改修、改築を重ねたが、塔は揺るぎだにせず屹立し、当時の建築技術の高さを物語っている。塔の西南に焦げたような黒い染みが残っている。定かではないが、`宝塔放光（光を発する）`の言い伝えがあり、`仙遊寺十景、`に数えられていたという。この`放光`とは何か？

山と川に面して絵のような光景を見せている仙遊寺の`十景`は、まず宝塔放光、竜潭虎穴、九峰重疊、獅子の山・象の峰、奇峰煙雨、猫阪警歩（険しい坂を恐る恐る歩く）、炎光普照（仙遊寺南側の峰が夕日に照らされて燃えているように見える。老子＝太上老君がここで不老不死の練丹を作っているときに孫悟空が押しかけ酒に酔って大暴れ、練丹の炉をひっくり返した。炉から火が移って山火事になったという伝説がある。`宝塔放光`と関係するのかどうかは分からない）、茅碁積雪、仙橋古渡、玉女垂簾（玉女の泉。秦の穆公の娘、弄玉がここで簫を吹き鳴らしていることを伝われる）。



仙遊寺の塔

西安との邂逅



西安の歴史

西安、この悠久の都市。中国は見てきた。深圳 20 年、上海 100 年、北京 1000 年、そして西安 5000 年の歴史を。西安はアテネ、ローマ、カイロと並んで世界 4 大古都に数えられている。紀元前 11 世紀から紀元 10 世紀ごろまで、西安には 13 の王朝、政権がここに都を置き、覇を唱えて 1100 年のときを閱ルビ・けみし、今日の築き上げてきた。1981 年、ユネスコは西安を世界遺産都市に認定した。



唐三彩の女俑



兵馬俑

西安は人を虜にする街。13 王朝の政治、経済、文化の中心として 3100 年に渡る国都の営みは中華文明の華麗な詞章を記し、その過半に及ぼうとしている。9983 平方キロの市域には人々を陶醉に誘う文物古跡が綺羅星のごとく点綴し、全中国ひいては全人類の文明がたどってきた光輝、栄光と夢の数々を後世の人々に語りかけている。西安は人類共同の誇りと財宝になっている。



陝西歴史博物館の所蔵品



新機軸の兵马俑

現代の西安

西安, いにしへの長安。かつて大興城、京兆、奉元、西京とも呼ばれ、中華人民共和国陝西省の省都、中国 15 の副省級都市（市とはいえ、最高幹部は副省レベルの役職と見なされる）の一つ、9大区域の中心の一つ、世界で著名な文化都市でもある。

西北の重鎮

西安は中国中西部最大、最重要な科学研究、高等教育、国防科学技術工業とハイテク産業の基地、宇宙飛行技術工業の中心、機械製造の中心と紡績工業の中心、武器製造地、ジャンボ機製造地でもある。西安は強固な工業的基礎を持ち、中国西部地区の科学技術の実力は最強、工業部門は十全の態勢を整えている。



西安高校

地理的優越性

西安市は交通至便の地の利を占め、陸上版図の中心にあり、中国西部における2大経済圏の接合部に位置している。西北、西南、中原、華東と華北各地への門戸であり、交通、流通の中枢にある。

ユーラシア大陸を東西に横断してヨーロッパと直結する新しい大動脈が脚光を浴びる折、その中国部分を担うのは隴海蘭新高速鉄道（江蘇省連雲港市—甘肅省蘭州市）だが、西安は沿線の経済ベルトの中で最大の中心都市であり、西部地域大開発の橋頭堡としての役割を与えられ、「承東啓西（東部地区を支え西部地区を導く）」を推進し、同時に北は内モンゴル自治区、南は雲南省をつなぐ重要な戦略的地位にある。

西安は中国西北部にあって全中国を結ぶ`大十字`の高速鉄道網と、陝西省内の`米`の字鉄道網の中枢を占め、全国の高速道路網最大の結節点の一つとして、さらに中国6大航空網の一つ、6大通信網の一つの中枢都市として新時代のキーポイントとなっている。



車の往来が激しい西安

256

現代の西安

産業構造

西安は数十年の建設と発展を通して、大企業と中企業を骨幹とし、機械、電子、紡績、国防工業を主体として、軽工業、化学工業、食品、冶金、建材、電力、医薬など多部門に渡る現代工業の生産体系を構築してきた。

西安市はハイテク技術産業開発区、経済技術開発区、曲江新区など四つの開発区を持ち、ハイテク技術産業開発区はすでにマイクロエレクトロニクス、機電一体化、生物学、新型材料、省エネルギー技術を5本の柱としている。

西安



257

西安メモ

西安メモ

別名: 長安

所属地区: 中国西北地区

国際電話の市外局番: 029

郵便番号: 710000

車輛号牌番号: 陝A

国内電話区号: 029

市花: ザクロ

市樹: 中国エンジュ

ランドマークの建物: 大雁塔、小雁塔、鐘楼、鼓楼、城壁など

方言: 陝西関中話

時差: 東8区北京時間 (中国標準時間) UTC (協定世界時) プラス8



258

西安人



街頭の塑像

西安人

西安は 6000 年の古都として、歴史と文化の発展中に凝縮した明らかな特徴がある。また、帝都の濃厚な薫陶を受けて独特の気風を育ててきた。

気質

西安人の性格の中には抑圧された心理状態（コンプレックス）があり、これを遡ると、西安人の性格の特徴が見えてくる。帝王の都には傑出した人材が蟄集し、天下を論じ、才華を競った。「我こそ漢唐文化の申し子」という自意識が強い。これが今日の西安人の性格に引き継がれ、一種の沈着さと鷹揚さを生んでいるという。

人当たりのよさ、包容力

西安人には執着性、粘着性の気質がある。西安は中国西北地区の`先頭の羊、`という意識が一種豪快で執着性の強い個性を作り出し、群れのリーダーとして人当たりがよく包容力のある特徴を見せている。

歴史の影響

王城の`お膝元、で暮らすと、見るもの聞くものすべて天下一の逸品ばかり、自ずと目が肥え、口が達者になり、`王者の気風、が養われ、闊達自在、開放的で物怖じせず、同時に「清貧に甘んじ、本分を楽しむ」性行も生み出した。

259

西安人

地理的特徴

西安は中国の中心として温和な気候、風光明媚な環境で居住が脅かされることもない。代々の西安人は`ぬくぬくとした、生活環境で寛容で質朴、情に厚く人に尽くし、真面目で実直な性格の人物が多い。

西安人の話す言葉は中国語の特徴である「四声ルビ・しせい」のイントネーションを北京語や標準語よりも強く響かせる。これは`我が道を行く思いこみの強さ、頑固さ、を表している。陝西省地元の伝統劇・秦腔ルビ・チンチアンは「歌うより吼える」といわれ、その剛直さもここからきている。観光客に人気の小吃ルビ・シャオチーの羊肉泡饅ルビ・ヤンロウパオモもこの頑固で粘着性の気質の表れと言える。なぜならスープに浸す饅ルビ・モーは自分でちぎらなければならない。この`労働、を西安人は黙々と、しかも喜々としてやるのだからと、北京から来た中国人が言っていた。

イノベーション（創新）

国の成立後、西安は幾たびも大規模な変化の波に洗われ、体制の調整に迫られた。結果として大学や専門学校の高等教育機関が西安に集中し、科学研究所、宇宙飛行、航空機、軍需産業など時代最先端の企業が西安を舞台に新展開する局面を切り開いた。都育ちの目からは、よそ者や田舎者、外来の人口が増える中、ダイバーシティー（多様性）の環境にいち早く適応したのも西安人だった。勤勉で知的なタイプが新西安人の代表といえるかもしれない。



西安市内の書店

文化

古都長安は西周、秦、前漢（西漢）、唐など 13 の王朝が都を置き、その治世は 1100 年の長さに及んで中国の歴史上最多最長の王朝文化を開化させた。西安は国際都市として繁栄を極め、シルクロードを通して文化の往来、通商の拡大が行われ、異国の商人、留学僧などをふところ深く受け入れた。東は日本を始めアジア各国、西は中央アジアから欧州諸国まで長安の名は鳴り響いた。漢唐の文化は西安が世界に誇る無形の資産であり、今、世界中から古都長安の名を慕う人たちが集まっている。

歴史文化の蓄積

西安市、いにしえの名は「長安」。世に聞こえた世界 4 大古都の一つ。中国で都を建てた王朝の最も多く、都であり続けた年月の最も長い都城、`天然の歴史博物館、と呼ばれている。

だが、2004 年に陝西省高嶺県で発見された高陵楊官寨の文化遺跡は、今を遡ること 6000 年、中国最大の新石器時代晩期の城市とされ、同時に西安が世界最古、史上初の城市であることが確定した。今西安と呼ばれる「秦州」は人知の及びうる古代から帝王の都だった。周の文王（紀元前 12 世紀 - 紀元前 11 世紀ごろ）とその子武王はここに豊京、鎬京の 2 都を建て、以来、西安は中国の政治、経済、文化の中心として 1100 年、最古最長の城市であり続けた。前後を合算すると 21 の王朝と政権がここで栄華の夢を結んだことになる。

漢唐文化の盛世

漢唐時代、西安は世界帝国の国都、国際都市として対外交流の中心で、人口はすでに 100 万を超え、唐長安城は中国古代、そして世界の古代における最大の都城となった。最盛期には世界の中心的位置を占め、各国の使節、朝拝者が後を絶たなかった。`西のローマ、東の長安、は世界の古代における歴史的相関関係をありのままを映し出している。

西安は中国人の自信、開放、包容を表している。シルクロードは西安から西へ続き、始皇帝の兵馬俑は中国の歴史を語ってくれる。

漢の武帝（在位前 141—前 87）は張騫ルビ・ちょうけんを 2 度に渡り西域に派遣し、河西回廊西端から匈奴右部を駆逐して移民 10 万を送り、両関四郡を建てた。以来ユーラシア大陸の東西を結ぶ 2 本のルートが通じ、西は地中海に達した。以来、2000 年以上、シルクロードは双方の人員、文物、物資の往来を促して文化交流、通商の発展と繁栄の歴史で語られるようになった。

西安は東方文明の首都として、ここには中国の歴史を最も華やかに彩る楽節が記され、世界文化史上、最も雄渾な楽章が奏されている。

西安文化の特色

西安を中心とする関中の人々は、自分たちのライフスタイルと美意識を「関中八怪」と要約した。それは

- ①うどんはぶっとく、ベルトの幅ほどなきやならぬ(面条像腰带)
- ②焼き餅は鍋の蓋ほどなきやならぬ(锅盔像锅盖)
- ③何はなくても赤トウガラシ(辣子是道菜)
- ④盆ほど大きい飯碗で菜をありたけ盛りつきり(碗盆難分开)
- ⑤タオル一枚頭に乘せりや、雨除け、風よけ、日焼け止め(帕帕头上戴)
- ⑥木材なくても家は建つ。黄土の土を積みばいい(房子半边盖)
不坐蹲起来⑦飯を食うときや膝つき合わせ、しゃがんで仲よく食べるもの(不坐蹲起来)
- ⑧秦腔ルビ・チンチアンは歌っちゃならぬ、腹の底から叫ぶもの(唱戲吼起来)

西安の碑林には関中の有名な名所旧跡の風景を刻んだ清代の石碑がある。「関中八景」または「長安八景」と呼ばれ、華嶽仙掌(華山)、驪山晚照、灞柳風雪(灞水)、曲江流飲、雁塔晨鐘、咸陽古渡(咸陽古城遺跡)、草堂煙霧(草堂寺)、太白積雪(太白山)。

陝西で流行し、全国的な人気を博している伝統劇が秦腔ルビ・チンチアン(秦劇)。乱弾、梆子腔とも呼ばれている。京劇、昆劇、川劇、越劇などと世界の人気を分けている。「関中八怪」で言わ

れている通り、高く突き抜ける声、乾燥と灼熱の大地を踏みならすリズム、質朴の中に剛毅さと悲壮美を特徴としている。中国の伝統劇(戯曲)は現在、4大声腔(節回し)に大別されているが、秦腔は梆子腔に属している。

西安で話されている言葉は陝西関中方言に分類されている。「関中東府方言」として陝西語を代表し宝鶏や咸陽地区の「陝西西府方言」とは一線を画し、歴代王朝で磨かれた「関中」の世界を守っている。西安はかつて13王朝の都として歴史が長く、各地域の方言の形成が長い月日で磨き上げられ、それぞれの独自の特徴を持つようになった。方言の発展歴史から中華民族の文化をのぞけるだろう。

西安の食文化の特色は中国西北地域の飲食を代表し、回族の清真軽食が大きな比例を占めている。食材、香辛料ルビ・スパイス、麺類ルビ・パスタの豊富さであり、漢族のほか、回族などエスニック料理の多彩さにある。

中国絵画の「長安画派」は漢代以前、関中の影絵芝居、西周の陝西人形芝居、あるいは色彩豊かな戸県の農民画に由来するといわれ、陝西地区の自然風光、風土人情、「伝統と生活」を描き続けている。

「一つの都市の歴史は一つの民族の歴史」といわれ、西安は鷹揚な中に知的な深みを持ち、寛仁大度の気風を持ち、中国古代歴史の原版であり、今も人々の心の奥底に焼きつけられている。

西安城壁と国際マラソン大会

期日: 毎年 11 月第一日曜日

地点: 西安市

内容: 西安明代の古城壁に千人が参加し、5 キロ、10 キロ、ハーフマラソン (21.0975 キロ) の三つに分かれ、参加資格は 45 歳以上の男女で、12 組に分かれて出走する。南城門から出発し、東城門、北城門、西城門を回って一周は 12 キロ。

西安古文化芸術祭

西安古文化芸術祭

期間: 毎年9月

地点: 西安市

内容: 花火大会、歌舞公演、民俗芸能、銅鑼演奏、伝統文化展など



文化芸術祭

カルチャー体験

陝西省は数多の名勝古跡、数々の小吃ルビ・シャオチーのほか、とっておきの楽しみがある。それは舞台芸術と民間芸能。秦腔ルビ・チンチアンや陝西北部の信天遊の観賞をお勧めしたい。劇場の椅子に身を沈め、陝西省の`ディープな、魅力に分け入ってみよう。



秦腔の舞台写真

秦腔ルビ・チンチアン

中国の伝統劇（地方劇）は「戯曲」と呼ばれ、一口に 300 種ともいわれ、中国全土で土地土地の方言と旋律で演じられ、それぞれの固定ファンを持っている。日本でお馴染みの京劇や昆劇や越劇もこの中に含まれるが秦腔ルビ・チンチアンは最も古い部類の劇種。その特徴は急迫のリズムの中、剛毅さと悲壮美をたたえ、ときに繊細優美の劇的世界を展開する。演目は多岐に渡るが、秦腔が最も得意とする「火吹き」の演技は名作『西湖に遊ぶ』の『殺生』の場。俳優が秘技の限りを尽くし、これだけでも一見の価値はある。

陝西省の中でも各地の方言によって、関中東府地区の東路秦腔、中府西安地区の中路秦腔、西府鳳翔地区の西路秦腔、漢中地区の南路秦腔に分かれる。



秦腔の舞台写真

陝北「信天遊」

信天遊は陝西省北部の榆林、延安両市一帯で歌われる山歌（民謡）の一種。その歌詞は恋愛や結婚をテーマにしたものが多い。蒙古高原を目指して北上し、また南下する黄河に囲まれた黄土高原の大地に鋤を振るような、厳しい自然と生活と労働の中から生まれた。一般的に上、下という二つの区切りに分け、短い歌詞は一つのくくりで、普通は 2 つのくくりとなり、長いときは数十のくくりで構成することもある。リズムは自由、星や風や草や虫、またトウモロコシや粟やコウリヤン、見たものすべてに興を起こし、言うに言えない気持ちを托し、繰り返して歌う。



信天遊の舞台

268

カルチャー体験



倣唐楽舞

倣唐楽舞

唐代（618—907）は世界でもまれに見る平和と繁栄を築いた黄金時代。太平の世をことごとく唐代楽舞は皇帝直属の「梨園」の子弟たちによって花開き、その至芸の数々は、シルクロードの文物と共に日本にも招来され、今なお雅楽、伎楽、謡曲、能、歌舞伎の各分野で燦然と光を放っている。

倣唐楽舞は陝西省歌舞劇院が盛唐の成果をなす楽舞の継承と創造的発展をテーマに、現存する壁画、石彫、副葬の陶俑などの考古資料や膨大な文献、詩歌の名作に素材を求め、さらに古楽器の復元、楽譜や舞譜を解読する学術的、芸術的試みも意欲的に進められた。1980年代に初演されてから長期公演が続き、1984年には日本の国立劇場公演を成功させ、アメリカ、東南アジア各国にも招聘されている。

269

カルチャー体験

『唐長安楽舞』 王朝の宴

時間: 毎夜、晚餐 18: 00—20: 30、公演 20: 30—21: 35

会場・西安唐楽宮

内容: 夕食に「王朝の宴」とほかの飲食サービスを提供。食後『唐長安楽舞』の公演を観賞。

『長恨歌』

時間: 20: 30—21: 30

地点: 西安華清宮

に山水の風光を訪ね、華清宮遺跡を背景に白居易不朽の名作『長恨歌』夕べが催される。舞台は盛唐爛熟の気に満ちて、驪山の風光、唐代楽舞と玄宗皇帝・楊貴妃の悲恋が一体となり、中国伝統古楽器の演奏に「春寒くして浴を賜う華清の池」の情景が再現される。



『長恨歌』

倣秦兵馬俑

「世界八大奇跡」といわれる秦代の兵馬俑は西安を訪れた観光客が必ず足を向けるところ。兵馬俑が西安のシンボリックな存在となった理由の一つに、ミュージアムショップで兵馬俑のレプリカが買えることがある。

ミニチュアの工芸品は現代の工芸技術と伝統の手工芸の技が合体し、中国伝統工芸のエッセンスに新しい創造の手がかりを与えている。

名匠の手になったレプリカは本物の兵馬俑に匹敵する出来栄になっている。兵士たちの姿、表情はさながら生きているようで、輪郭線の美しさは人体デッサンに狂いが無いことを証明している。さらに賞賛的となっているのは、一人一人の兵士の顔が一人として同じではないこと。ミニチュアを成型する粘土は本物と同じ赤粘土を用いている。成型し、細部を仕上げ、陰干し、焼成、接着、磨き、さらにレプリカに「古色」をつける一連の複雑な工程が名人の手によって寸分の狂いもなく進行している。

精巧なレプリカを手に入れた満足感は大い。兵馬俑を見た高揚感そのままに意気揚々と家路につくことができる。

兵馬俑陳列棚



銅車馬のレプリカ

秦始皇帝陵の銅車馬ルビ・どうしゃばは、始皇帝の御車の隊列を模したものとされている。1980年、陝西省の考古学者が秦始皇帝陵東側の第2号坑内で発見した2点の大型彩色銅車馬は本物の2分の1の縮尺で、20世紀の考古学史上、最も複雑で最大、しかも彩色された古代の青銅器として「青銅器の王」と呼ばれている。

全長 3.17メートル、車高 1.612メートル、総重量 1241キログラム、大小 3462個の部品で組み立てられている。2輦の車馬は1本の轅ルビ・ながえ（馬と馬車をつなぐ木製の柱）の4頭引き、御者一人の編成で、1号車は号車には開かれた傘が固定され、御者は立ち姿。円形の傘に方形の車体は、天は丸く、地は四角という意がこめられている。2号車は幌状のものがかぶられ、御者は跪く姿。その設計と製作工程は現代の工学と驚くほどの相似性があり、見る人の想像を超えるものだった。

秦銅車馬まさに生けるが如く人の目をあざむき、旅行者の購買意欲をかき立てていた。ミュージアムショップの充実ぶりは、博物館の楽しみの一つはレプリカのショッピングということができる。

272

西安の名匠たち



唐三彩

唐三彩のレプリカ

唐三彩のレプリカは一種の低温鉛釉が用いられている。三彩の釉陶は南北朝に始まり、唐代に全盛を迎えた。発色が鮮やかで、生活感が生き生きと表現され、クリーム色、赤褐色、薄緑、深緑、藍色、紫などがある中で、基本的に三色の組み合わせが多く、唐代で一気に盛り上がったから、唐三彩と呼ばれている。

長安に住む王侯貴族の墓から副葬品として大量に出土する唐三彩は、武將や貴婦人、馬やラクダ、壺や皿などをかたどったものが多く、いずれも迫真のできで、人物は個性豊か、馬やラクダは芸術的な造形美にあふれている。旅行の記念品として人気があり、インテリアや友人へのプレゼントとしてうってつけといえる。

唐三彩



唐三彩



273

西安の名匠たち

影絵芝居

影絵芝居

影絵芝居は厚紙や口バ、牛、馬など動物の皮や厚紙に繊細なカットイングを施し、華麗に彩られた人形たちが一斉に動き出す。何人もの人形遣いが白い幕の後ろで人形を操りながら当地の言葉、節回しで物語を語り、銅鑼や太鼓、胡弓など中国楽器が賑やかなリズムと旋律で舞台を盛り上げる。それぞれ濃厚な郷土色を持ち、その土地に合った作品作りが多種多様な影絵芝居を生み出してきた。

その歴史は古く、前漢（前 202—8）の時代に始まり、唐代に受け継がれて清代に最盛期を迎え、元代には中央アジアからヨーロッパに広がった。2011 年、ユネスコの無形文化遺産リストに登録された。

人形を作り出す工具



西安鳳翔彩色泥人形

西安鳳翔彩色泥人形は陝西省宝鶏市鳳翔県に伝わる粘土細工の伝統工芸。現地の人は愛情こめて「泥ちゃん（泥貨）」と呼ぶ。鳳翔県には春秋戦国時代、漢唐の時代の陵墓から粘土作りの人形やペットの副葬品が必ず出土し、歴史の古さを物語っている。その題材は古代の石刻、年画（新年を祝う木版画）、切り絵細工、刺繍などから選び出し、それに可愛らしい表情、仕種、鮮やかな色彩を加え、みなから喜ばれている。

作業はフィギュアの原形造り、成形に始まって、磨き、絵付け、線入れ、彩色、つや出しなど、手の中でいとおしむような数十の工程が組まれている。シンプルで愛くるしく、原色の彩りが親しみをかき立てる。座った虎、壁掛けの虎、寝そべった牛、十二支の動物、厄払いの蛇、蛙、ムカデ、サソリ、ヤモリ、豆豆鼓、吉虎、ウリ、子鹿、オウム、八仙人や三国志、西遊記のお馴染みの人物が作られる。



西安鳳翔彩色泥人形

西安碑石拓本

拓本は画箋紙を器物の表面に貼り、墨色を乗せていくことで文字や図柄の形状を写し取る技法。現物から直接複製し、大小の形状を現物通りに写し取る一種の科学的な記録方法といえる。

西安碑林は漢、魏、唐、宋、元、明、清歴代の石碑、墓碑 2300 余点、中国書道の名品をに一堂に収蔵している。書道愛好家の誰もが知り、崇敬やまない顔真卿、柳公権、欧陽詢、褚遂良、懷素ら大書家の拓本。これを記念に記念に送られたら、どれほど喜ばれることか。



拓本

戸県農民画

陝西戸県の農民画は中国伝統の切り紙や刺繍など漢族の民間芸術を母体として1950年代に生まれて70年代から作品を発表、新しい試みを重ねて成熟の度を加えつつ戸県を越えて全国的な評価を得るに至った。

戸県の農民画は質朴な絵画言語で農村の労働をたくましく描き、祭りの熱狂や日常の一こまを情感こめて描き出している。

作品は生活に密着して時代を反映し、写実にとどまらず大胆な再構成、強烈な対比が試みられるが、技巧に走ることはない。奔放に筆を走らせ、稚拙を恐れない。同時に純朴で実質を重んじ、配色は大胆、郷土色と自然生活の息吹きにあふれている。

戸県の農民画は地域性を鮮明に打ち出し、画家自身の生活体験を創造の原動力としている。生活を見据え、画面は簡素だが充実感がある。想像力をほとばしらせ、古拙の中に天工が見える。居間の壁に飾れば、家族はいつも飽かず眺めることだろう。



戸県の農民画

切り紙

西安の切り紙細工は、玉石や象牙に見られる透かし彫りの技法を用いている。一見、民芸風、だが、漢族古来の高度な技法。陝西省の北部にかけて、特に黄土高原では至るところで色とりどりの切り紙細工が行われている。昔ながらのデザイン、荒削りだが趣きのある寓意性、多彩な形式、確かな技巧、全国の民間工芸品の中で重要な位置を占めている。

切り紙細工は陝西省の農村では当たり前の風景のように見かけられ、伝統が生活に根づいている。通常は赤を基調にして、縁起がいいとされる文字や図案、神話や伝説の一場面が多用されている。祭りや結婚式などには門口や窓にこの切り紙を貼って祝意を表

陝西省の切り紙は専門家の間で「生きた化石」といわれている。そのわけは、切り紙は元来、呪術師、祈祷師（シャーマン）が異界との交流に用いた道具で、その文様、モチーフを受け継いでいるのが陝西省の切り紙だという。それによると、「魚身人面」やスフィンクスのような「獅身人首」、「髪を結わえた子供」の図案は古代から黄河の中・上流に広く伝わっていて伝説の黄帝にまで遡り、周代の氏族社会のトーテム・ポール（部族や血族のシンボル）とみなすことができる。原始人類の最も基本的な認識が生存と繁栄であり、漢代の陵墓を飾った『牛耕図』のような漢画の画像石にも中国の陰陽哲学、生命と生殖崇拜の観念が表されているという。



西安の切り紙細工

藍田玉

藍田玉ルビ・ぎょくは、中国が最も早く用い始めた玉種の一つ、すでに4000年の歴史を経ている。藍田県は西安市の東南、40キロのところにあり、今は西安市によって管理されている。春秋戦国の時代、秦は藍田県を置いたのは「玉の美なるものを`球、といい、その次なるを`藍、という」といわれ、県内に美玉を出すことによって藍田の名が起ったという。

歴代の皇室と貴族たちは藍田玉を珍重し、始皇帝は藍田玉を玉璽ルビ・ぎょくじに用い、楊貴妃は藍田玉の玉腰帯を身につけた。伝説によると玄宗皇帝がこれを楊貴妃に贈って愛の証しをしたというが、氷が割れるのと同じ筋目が入っていた。楊貴妃が死を賜ってから人々は楊貴妃の幼名「芙蓉」を「氷花芙蓉玉」と呼ぶようになったという。

藍田玉で作る玉器はエメラルドグリーンの光彩を発して神韻縹渺の趣きを呈し、虚実さまざまな物語を紡ぎ出している。玉の魅力は尽きないようだ。

秦腔ルビ・チンチアン隈取り

中国伝統劇の隈取り（臉譜ルビ・れんぷ）は独特の派手なメークで知られ、色によって役柄の身分、性格が区別されている。赤は忠義や誠実、黒は正義や剛直、黄色は獐猛や陰険、金銀は仙人や精霊などを表すと定型化されているが、日本の歌舞伎の隈取りにも見られるように人間離れして`悪にも善にも強い、スーパーパワー、荒ぶる魂の英雄、一筋縄ではいかないクセのある役や道化役、動物役に用いられる。

京劇の発生は清朝中期の乾隆年間とされ、陝西発生の秦腔が湖北に入って西皮（伝統劇の節回しの一つ。明快で高揚感をかき立てる）となり、さらに北京に入ってから京劇となった経緯はよく知られている。起源の古い秦腔の隈取りは中国西北部の風土を反映して筆法が豪放、重厚、象徴性が強く色数も繁多のに対して、京劇の隈取りは清朝の宮廷の愛顧を受けて筆法、色彩も洗練され、比べると違いが分かる。

秦腔の隈取りは工芸品としても愛され、芸術、民芸を研究する一助にもなる。秦腔の隈取りは中国で最も古い地方劇の一つとして、京劇、川劇と合わせて`中国三大隈取り、とされている。



黄桂柿子餅

黄桂はキンモクセイのこと。熟した柿と小麦粉をこねて餅の形にし、中にクルミ、氷砂糖を入れ、キンモクセイで香りをつけて油で揚げたもの。「水晶柿子餅」とも呼ばれる。柿は臨潼区兵馬俑付近の「火晶柿子」でなければならない。「火晶」といわれるだけあって、実は鮮やかな赤みを帯び、小ぶりで甘いのが特徴。種はなく、熟すと白い粉を吹く。肉質は柔らかく果汁はたっぷり、西安名物として人気がある。



西安名物柿子餅

瓊鍋ルビ・けいかあめ

関中に知れ渡った銘菓。明、清以来、宮廷への献上品として数百年の歴史を積んできた。富平県流曲鎮の井戸水で陝北の粟を蒸し、麦芽を加えて発酵させたこし汁を鉄鍋で糊状に煮詰めて作る。白玉（瓊ルビ・けい）のような色に変わり、ふわふわとした口当たりとほんのりした甘味で「瓊鍋ルビ・けいかあめ」の名が与えられた。肺を潤し、健脾、補腎の健康食品としても珍重されてきた。ただ、暑さと湿気を嫌うので、冬に少量しか生産されない。極上の贈り物になるに違いない。



瓊鍋あめ

西鳳酒

西鳳酒は古くは「秦酒」「柳林酒」と呼ばれ、宝鶏市鳳翔県で作られた。関中の西部に位置するため西鳳酒と名乗ってすでに 3000 有余、中国 8 大酒（貴州省の茅台、四川省の五粮液、安徽省の古井貢酒、四川省の劍南春、四川省の瀘州老窖、山西省の汾酒、陝西省の西鳳酒、貴州省の董酒）に数えられている。

柳林酒と呼ばれたのは柳林鎮の井戸水を用いているからで、水質は清く甘い。唐代の史書には「西鳳酒は甘泉佳釀」と記され、飲んだ後の甘さはオリーブ油に似ているともいわれている。

西鳳酒は、鳳香型、の風格があるといわれるが、これは清香と濃香双方の長所を持ち合わせているという意味で、透明度が高く、芳香が長持ちし、後味もさっぱりしているのが特徴。血行促進、疲労回復の効用がある。光緒元年(1867)南洋博覧会で入賞してから一躍国際的に知られるようになった。



西鳳酒

徳懋恭ルビ・ドーマオゴン水晶餅

徳懋恭ルビ・ドーマオゴンの水晶餅は「秦点之首＝関中のスイーツナンバーワン」といわれ、餡は水晶のように透明感があるところから「水晶餅」と名づけられた。起源は宋代の下邳県に遡り、燕の巢、キクラゲ、金華のハムと共に天下に名を馳せた。

口に含むと、パイの生地がぱりぱりと崩れ、氷砂糖の甘さと融け合って、バラ、モクセイ、サンザシなどドライフルーツの香りに満たされる。水晶餅の皮はゴールドン色で目ためがおいしそうに見え、皮以外のところは雪のような白い。

徳懋恭は西安市の有名な商品店として清の同順年（1872 年）に建てられ、西太后（慈禧ルビ・じき太后）に献上されてから陝西の銘菓として全国にその名を知られ、「中華老字号」（中国の有名老舗で中国貿易部認定）と評価された。

清末、西太后（慈禧ルビ・じき太后）に献上されてから陝西の銘菓として全国にその名を知られた。

黄桂稠酒

稠酒ルビ・ちゅうしゅはもち米で作る甘酒、濁り酒のこと。先秦時代、中国最古の詩集といわれる『詩経』に祖先を祭った「醴ルビ・れい」とあるのはこの甘酒のこと。北魏の時代には「白醪ルビ・ばいろう酒」と呼ばれ、唐代には醸造技術も発展して質の高い甘酒が造られていた。

稠酒は乳白色で、どろりとして粘稠ルビ・ねんちゅう度の高いことからこの名がつけられた。酒の中に黄桂（キンモクセイ）を入れると黄桂稠酒となる。アルコール度数は10度前後だから、酒に弱い人もいけるかも。

黄桂稠酒はもち米の天然醸造。白玉の色にキンモクセイの香りを添え、混じりけのないさっぱりとした味わいでだから、淡い牛乳を飲むようだという人もいる。

咳を止め、渴きを癒やし、血行をよくし、食欲改善、皮膚のつやを増し、内臓を強くする効果もあるという。ブドウ糖、乳酸、18種のアミノ酸も含まれているという。冷たくても暖かくてもお勧め。

黄桂稠酒



臨潼のザクロ

ザクロ（石榴）は前漢時、武帝の命により西域に赴いた張騫が持ち帰ったものとされている。それから2000年経って、臨潼の石榴は全国一の生産量を上げ、西安市の伝統的な輸出食品となり、東南アジアや香港、マカオ地区でもてはやされている。ザクロは果物の中の逸品で、特に臨潼のザクロは赤くて大きく、皮が薄く種が多い。ザクロは酸味が多いか甘みが多いかで、二つのタイプに分かれる。酸味のタイプはジューシーで皮も薄く、種も多く、長持ちする。好かれるのはやはり甘味のタイプで、ザクロの氷砂糖、といわれている。



臨潼のザクロ

民族のタブー

西安は多民族混住の都市。少数民族の中で回族の人口が最も多く、満族、蒙古族、朝鮮族、チワン族、トゥチャ族がこれに次ぐ。全市の各区、各県すべてに少数民族が居住するが、蓮湖区は少数民族の人口が最多を占める。

回族

回族はいつも身だしなみに気をつけ、場をわきまえている。男性は縁なし、頭頂部が半球型の白い帽子を好んでかぶり、白くて長い服、黒いベストを着ている。女性は布をかぶり、無地のスカーフで頭を包んでいる。伝統的に禁じられているのは煙草と酒。ムスリムの3大祝祭は1カ月の断食明けの開斎節、アラーの神へ捧げ物をする犠牲ルビ・いけにえ祭（古尔邦節）、そしてイスラム教の開祖であるムハンマドを記念するための（聖紀節）がある。

飲食は米と小麦を主食とし、牛、羊、鶏、魚肉など。タブーは飲食の面で突出しており、食用を禁止されているのは豚、馬、ロバ、ラバ、犬、猫、ネズミ、鷹、カラス、ヘビなど。食べ物を比喻に用いることも禁止されている。

満族

満族の伝統的服装は旗袍ルビ・チーパオと呼ばれる一重の長い中国服。男性の礼服の袖口は馬蹄形をしており、これを下に垂らすと防寒にもなる。女性の旗袍の襟、おくみ、袖口などには花模様の刺繍が施されている。伝統的な食品はトウモロコシの粥や餅、コウリャンや粟で作ったご飯、キビで作った餅や餅団子。祖先の霊を汚すことは許されず、犬を食べることも禁じられている。

蒙古族

蒙古族の伝統的な服装は男女とも幅広の長袖、長衣を着ている。腰帯を締め、筒長の革靴を履いている。遊牧民の食事は牛、羊、乳製品そして米食が主で、穀類、野菜を補っている。牛乳（あるいは羊乳）に団茶を入れ塩味をつけたものを好み、馬乳酒、ヨーグルト、手づかみ骨肉は大事な客を招待するときのご馳走。礼儀を重んじ神仏を拝み、先祖を祭り、冠婚葬祭をおろそかにせず、相手に敬意を表するときは、ハタ（長い帯状の薄絹）を贈る。火の神、竈の神を魔除け厄除けの神として敬い、火の上で足や靴をあぶったり、火をまたいだりすることを忌む。

朝鮮族

朝鮮族を`白衣の民、と呼ぶ習わしがある。過去は男女とも白の短衣を着ていた。現在の女性はカラフルな短衣、長衣を着るようになったが、男性はやはり短い白の上着にベスト、ゆったりとしたズボンをはき、裾をひもで締め、外出時には長衣を着用する。食事は米を主食とし、辛い漬け物やトック（穀物や米の餅菓子。蒸したり搗いたり炒めたりと作り分ける）、冷麺を好む。人から`朝鮮族、と呼ばれるのを嫌がる。若輩は年長者の前で喫煙や飲酒を避ける。

チワン族

チワン族の男子は青い前ボタンの上着を着、あるものはバンダナで頭を包む。女子は多く襟なし、左前の上着を着、ゆったりしたズボン、プリーツのスカートなどをはく。主食は米、トウモロコシ。酸味の強い漬け物を好む。五穀豊穡の祈りをこめて黒、赤、黄、紫、白の`五色飯、を作る。中元、牛魂節（牛王節。牛を一日遊ばせ、`五色飯、を作る）、四月八日（釈迦の誕生を祝う灌仏会）、三月三日（上巳ルビ・じょうしの桃の節句）を祝う。老人に食事の世話をするときは片手でしてはならない。

トウチャ族

トウチャ族の男子は白、または青いバンダナを頭に巻く。ボタン穴がたくさんついた短い上着を好み、女子は襟なしの左開き、袖のゆったりした上着を着、花柄の刺繍に極彩色の短冊を垂らしたような「八幅羅裙」と呼ばれるスカート、あるいは裾まで花柄を2〜3層塗り重ねた長いズボンをはく。トウモロコシ、米を主食とし、酸味が強くスパイスのきいた食事を好む。年越し、四月八日、端午の節句を祝い、吉日や祭りの日に縁起の悪い話をしてはならない。

宗教・信仰

仏教

仏教は後漢（東漢）永平 10 年（67）、西安に渡来し、すでに 1900 年の歴史を経ている。中国や東アジア、東南アジアに大きな影響をもたらした仏教 8 大宗派のうち 6 宗派は西安を祖庭（開祖）としている。西安仏教は日本や朝鮮、東南アジアに伝わって以来、多くの修行僧、留学僧が引きも切らず西安を訪れ、研鑽と交流を深めた。

道教

道教は中国の土壌で生まれ育ち、後漢（東漢）順帝の時期（125—144）に形成されて今日まで 1800 有余年、大きな影響力を持つ道教寺院は周至県の楼観台（道教発祥の地の一つ）、西安 8 仙宮、鄠邑区重陽宮（中国で最も尊崇され、最も影響力を持つ道教全真派発祥の地）、臨潼老母殿など。

キリスト教

キリスト教は『大秦景教流行中国碑』（唐の建中 2 年＝781 年、長安大秦寺に作られ、景教の教義、伝来の歴史、礼儀などを記載する碑。現在は西安碑林博物館に収納されている）の記載から計算すると、西安に伝来してからすでに 1300 余年の歴史を経ている。秦嶺山脈終南山の麓、楼観台の西側にある景教大秦寺が唐代のキリスト教教会で、現在古い塔宇を残すのみとなった。現在比較的影響力を持つキリスト教教会は西安市南新街礼拜堂、東新巷礼拜堂など。

カトリック教

カトリック教は 16 世紀に中国に入り、その教徒が天主（イエス）を崇めるゆえに天主教と呼ばれた。西安で比較的影響力持つ教堂は五星街天主教堂、糖坊街天主教堂、高陵区通遠鎮天主教堂、周至県天主教総堂、鄠邑区圉棋寨天主教堂など。

イスラム教

イスラム教は唐永徽 2 年（651）、唐に伝来してすでに 1300 有余年、比較的影響力が大きいのは化覺巷清真寺、大学習巷清真寺、大皮院清真寺、小皮院清真寺など。

自然地理

位置、面積

西安市は黄河中流の関中盆地に位置し、北は渭河と黄土高原に望み、南は秦嶺山脈に連なる。管轄区の東西約 204 キロ、南北約 116 キロ、面積 10108 平方キロ、その中で市区の面積は 3582 平方キロ。

地質

西安市の地質構造は、秦嶺の地層が褶曲活動を続ける造山地帯と華北台地の双方にまたがっている。今を去る1億3千万年前の燕山運動の時期、東西に横たわる秦嶺一帯が大断裂を来した後、300 万年前の第3紀晚期以来、秦嶺南部の褶曲運動帯が大断裂を起こして、新しい造山活動がさらに活発化した。山容は北に向かって隆起、南に沈下して秦嶺山脈が出現した。これと同時に、北側の華北台地が大断裂し、渭河が陥没と沈降を続け、この上に風に運ばれる黄土が降り積もり、さらに渭河が黄土高原を貫いて大量の土砂を運んで現在の渭河平野が形成された。

地形

西安の市域の海拔高度差は全国の大都市の中でも極めて大きく、急峻な山並みが連なり群峰競い立つ秦嶺山地と肥沃な平野が広がる渭河平原は際だった対比を見せ、これが西安の地形的な特徴となっている。秦嶺山脈の中央部は海拔 2000 ～ 2800 メートル。その西南端の太白山は 3867 メートル、中国大陸中央部の最高峰となっている。渭河平原は海拔 400

気候

西安の気候は暖温帯半湿潤の大陸性季節風帯に属し、四季ははっきりと分かれ、夏は炎熱多雨、冬は寒冷で降雪降雨は少ない。春と秋は時に雨が続くこともあるが、旅行に最も適した季節は春、夏、秋の間。

春 (3—5 月)

気温は急速に上昇するが、気候は不安定。`暑くてもまだ寒い、陽気が出現する。3月の平均気温は 7.9 度、4月 14.1 度に上がり、5月は 19.4 度。春の雨は年間雨量の 4 分の 1、春季各月の雨天は 7 ～ 9 日、春は気温も快適、風はなご、日はうるわしく、屋外の活動、旅行には最適の季節といえる。



花ほころぶ春の西安

夏(6—8月)

炎熱と多雨に喘ぐ季節。7月是一年で一番の`熱月、平均気温は26.3度、77年間で最高気温が35度に達する日が平均で22日間、1997年にはこれが61日間、1961年から1998年の38年間、9年間は40度以上の酷熱となった。夏の雨量は通年の37%、雨は月平均で8～11日、暴風雨が起きる日の半分は夏に集中する。



睡蓮が咲く夏の西安



銀杏が色づく西安の秋

秋(9—11月)

9月、西安の雨は多い。連続雨の日が続き、月平均降水量は99.5ミリ、年間降水量の19%、多年、雨の日は12日間に達する。過ごしやすい気温だが、急速に下がっていく。平均気温は9月19.6度。10月13.8度、11月6.8度。冬の足音が聞こえる。平均風速は毎秒1.5メートルで風が年間を通して最も少ない季節。

冬（12月—翌年2月）

冬は冷えが厳しいが、降雨降雪は少ない。1月の平均気温は零下0.5度、冬の季節風の影響で零下10度に達することもある。ただ、乾燥が激しく、3カ月間の降水量は24ミリ、年間のわずか4%に過ぎない。



雪化粧した西安の冬



長安護城河

自然環境

河川

西安地区は古来、`八水長安を繞る、の風景美を讃えられ、豊かな水が沃野を潤していた。東には灞河と滻河、南には潯河、瀉河、西には皂河、澧河、北には渭河、涇河、このほかに黒河、石川河、滌河、零河などの大河が流れ、そのほとんどを黄河支流最大の渭河水系が占めている。

土壌

西安の土壌の分布は南と北の差違が際立っている。北部渭河平原は黄土が沖積した黄色い大地、南部は対照的に秦嶺山地の黄褐色土壌。全市で12種、24の亜類、50の属土、計181種もの土種に分かれる。多種多様な土壌は渭河平原ならではの肥沃さを生み、多品種の作物の栽培、収穫量に有利な条件を提供している。





コウノトリ

動植物

西安の自然の植生は第4期大陸氷河の襲来を受けておらず、第3期の古い稀少植物——銀杏、ブナ、モクレン、クロウメモドキなどが残っている。秦嶺山地の垂直分布は灌木と草原の混交地帯 から針葉樹林帯、針葉樹と広葉樹の混交地帯、広葉樹林帯へと典型的な類型を見せられている。野生植物の種類は豊富で、138 科、681 属、2224 種、中国の種子植物の遺伝子研究に貴重なデータを提供している。渭河平原の主要な農作物は近年、蔬菜、果樹のほか、都市緑化のための栽培植物が増えている。

野生動物の資源は秦嶺山地に分布している。獣類55種、鳥類177種、パンダ、金糸猴、秦嶺カモシカ、鬃羚ルビ・りょうれい（スマトラカモシカ）、大鯢ルビ・だいげい（オオサンショウウオ）、黒鸛ルビ・こくかん（コウノトリ）、白鸛ルビ・ハクカン（シュバシコウ）、長尾雉（ミカドキジ）、血雉（ベニキジ）、金鷄（キジ）など稀少動物の楽園となっている。秦嶺山地には3カ所の国家級自然保護区が設定されている。

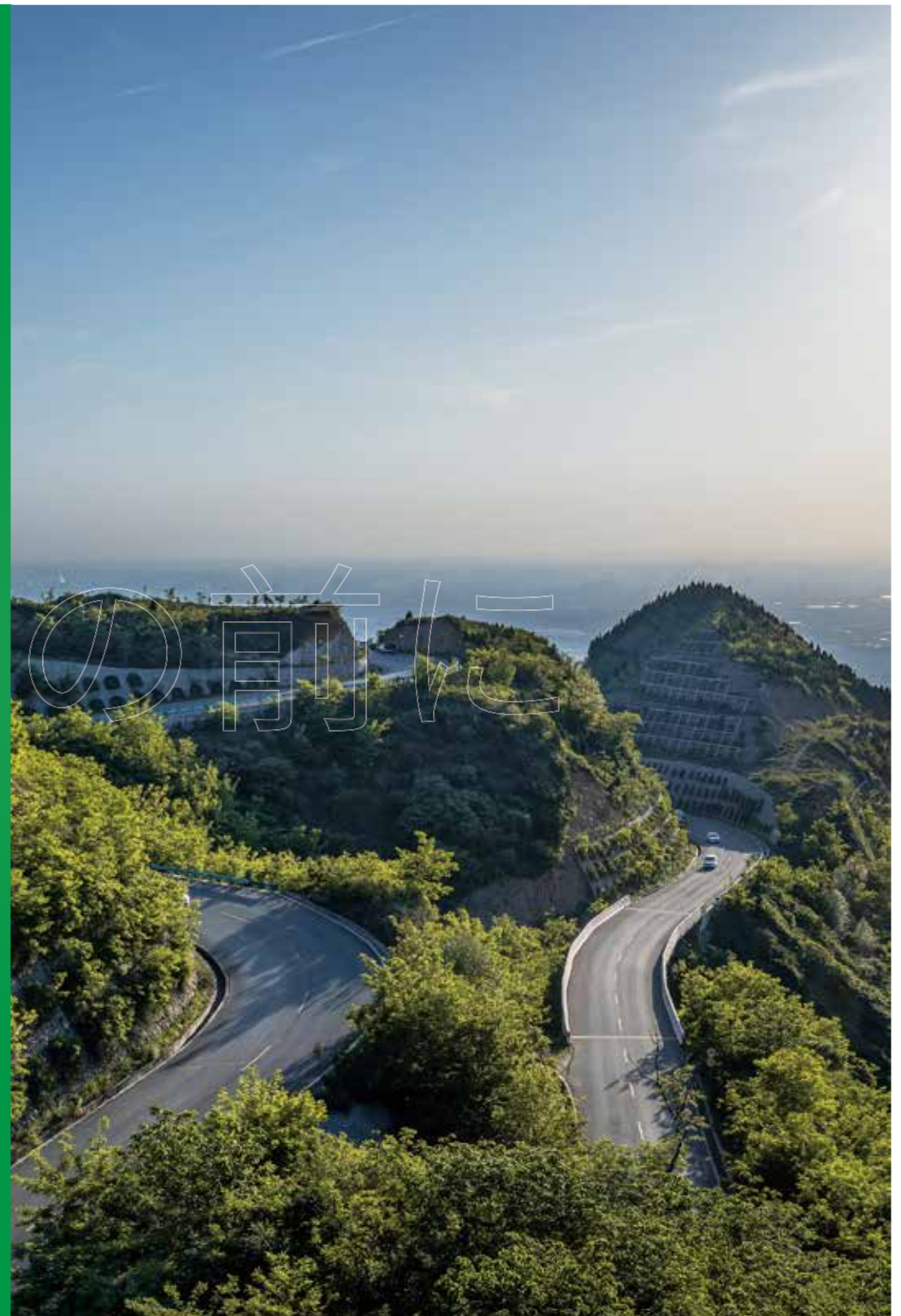


ベニキジ

鉱物資源

西安地区は地殻変動、造山活動が複雑に絡み合い、地層の構造がさまざまな様相を見せているため、各種鉱物資源の形成に有利な条件を提供している。すでに発見された鉱物47種、そのうち金属が21種、非金属22種、エネルギー資源が2種、その他の鉱産物2種となっている。大部分の金属非金属鉱産物は秦嶺山地南部に分布している。秦嶺以北の渭河平原には地熱、温水エネルギーが蓄えられ、西安市内で開発できる地熱面積は780 平方キロに及び、地下熱水の埋蔵量は5.39 億立方メートルに及ぶ。

旅立ちの前に



起居計画

出かけるまでに体調を崩さないよう、出発前にはできるだけ普段の生活を守り、いつものペースを乱すことなく、こまめに休憩をとり、定時に睡眠、起床、食事をとることが大事。

旅行時には緊張が続き、体力の消耗が激しいから、栄養をしっかりと取ることを忘れずに。体力回復のために、できるだけ条件のよいホテルを捜し、十分な睡眠を心がけましょう。快食・快眠・快便がコツ。

寒気予防

春秋は西安観光のベストシーズンですが、気候が不安定な時期でもあるため、寒さ対策も忘れずに、折り畳みもバッグに入れましょう。

秋は昼夜の温度差が大きく、気軽に羽織れるものを用意し、風邪を引かないように注意。

冬季は急な冷えこみがあるので、防寒対策をしっかりと。

日射病

日射病、熱中症にかかったら、直ちに風通しのよく涼しい場所に移動して休息を。重症者はすぐに病院へ。意識回復後はこまめに水分補給をお忘れなく。塩分(ナトリウム)の補充も大事にし、塩汽水(塩味炭酸飲料)がおすすめ。

胃腸病

旅行時は慣れない環境で飲食による下痢、嘔吐を起こしがち。また、暴飲暴食は厳に戒めましょう。

頭痛、めまい、食欲減退を感じたら、油断せずに油分を少なめにして、新鮮な果物を食べ、胃腸薬や消化剤、ビタミン B2 を取ることをおすすめ。

虫に噛まれ、刺されたとき

旅行時に昆虫に噛まれたりされたら、アルカリ性の液体で傷を洗うことで、痛みを軽減できます。蛇に噛まれたら、まずは傷の形を観察して下さい。二つの歯の痕しか残ってなければ、毒蛇に噛まれたかも。毒が心臓に回らないよう、すぐに傷の上部をひもか縄でしっかりと締める。同時に毒を吸出し、石鹸で傷を洗って、すぐ病院へ。

車酔い予防対策

山地の道路状況がよくないときは、事前に車酔い防止の薬のご用意を。中国は都市部から観光スポット、また次の観光スポットまでの距離が長いので、車酔いしそうな人もいるから、ご用心を。長時間の車移動は疲れやすいので、エア枕のご持参がおすすめ。

常備薬品の事前点検

まず常備薬品をお忘れなく！持病なども持つ方は観光日数に合わせた薬を用意しておきましょう。おすすめしたいのは風邪薬、車酔い薬、胃腸薬など。

スキンケア

大陸性気候の西安は、いつもあなたのお肌に乾燥警戒発令中。こまめにスキンケアをお忘れなく。乳液、リップクリーム、日焼け止めは必携。

ウェットティッシュ、虫よけ、エア枕

西安の有名グルメ店に寄ったり、立ち食い、食べ歩きも楽しいもの。ただ、自由に手を洗う場所が少ないので、ウェットティッシュのご用意を。

夏季観光に虫よけ対策をしっかりと。（虫よけはスプレー式であれば、機内まで持ち込まれないので、ご注意を。）

服装

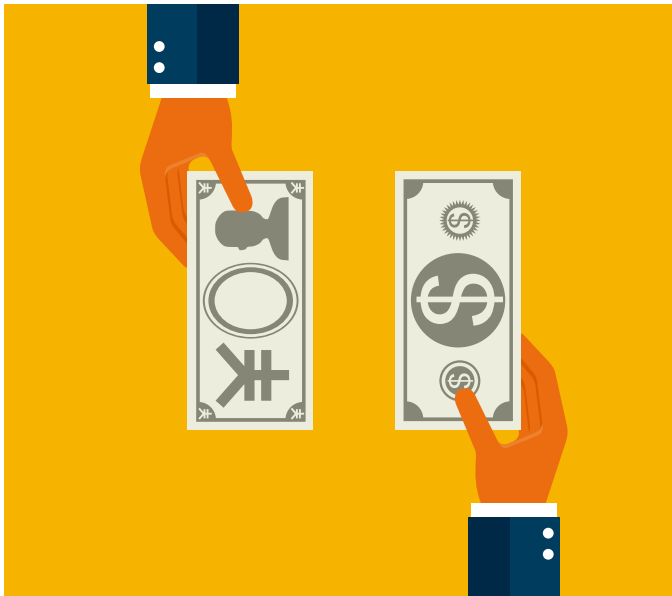
西安の昼夜の温度差が大きいため、天候に合わせ、アウターを常に持参して必要時にすぐ羽織るのが賢明。でも、たくさんの服装を携帯する必要はありません。空気が乾燥しているので、洗濯してもすぐ乾きます。

山に登るときは運動しやすく、長いズボンを着ることをおすすめ。また、スリッパ、短パン、サンダルに着替えることにより、足を気持ちよく休憩させることもできます。

驪山を長時間歩いたり、華山の険路を行くときは、登山靴や運動靴を履くことがおすすめ。普通の観光地は軽く薄い運動靴を履き、道路状況がよくないところは登山靴や底が厚い靴を履くと、足の疲れがまるで違います。

貨幣と両替

外貨の両替は国際空港、銀行、☆クラスのホテルのカウンターでできる。自国の現金を当日の為替レートで換算して人民幣（人民元）を入手できる。帰国するときはパスポートと「両替明細書」を提出すれば、余った人民元を必要な通貨に両替できる。現在両替できる外貨は米ドル、ユーロ、日本円、オーストラリアドル、カナダドル、香港ドル、シンガポールドル、マレーシア・リングgit、マカオ・パタカ、新台湾ドル、旅客は中国銀行、中国工商銀行、交通銀行などの銀行で両替できる。



出入国

出国、入国は必ず規定に従って出国、入国登録カードに記入し、入国を証明する文書と共に出入国審査カウンター（イミグレーション）に本人の有効なパスポート、出提出して検査確認後通過する。



郵便

中国の郵便局、郵便ポストは深緑色。営業時間は一般に 9 時から 17 時まで。

中国の速達郵便は発達しており、簡便で信頼性は高い。中国国内でよく利用されているのは中国邮政 EMS、順豊速運（SF エクスプレス）、申通エクスプレス、中通エクスプレスなど、ネットで予約すれば、係員が受け取りに来てくれる。

郵便



電源

民用は電圧 220 V。

計量単位

民間で用いられているのは「市斤」で。1 市斤は 500 グラム、1 キログラムは 2 市斤ということになる。スーパーマーケットなどでは 1 キロ単位で計量している。長さはメートル制。

海外旅行保険

観光客の人身と財産の安全・安心を守るため、各国の旅行保険に加入することをお勧めしたい。

携帯品

お金: 現金、クレジットカード、銀行カード。

薬品: 常備薬、風邪薬、消炎薬、胃腸薬、痛み止め、解熱剤、防水絆創膏、乗り物酔い止め、熱中症防止薬（夏）、蚊除け・虫除け・かゆみ止め（夏）、包帯など。

電子用品: 携帯（電池、充電器、イヤホン、パソコン接続コード）、カメラ（メモリーカード、レンズ、充電器、メモリーカードアダプター）、AC アダプター、ノートパソコン（電源）、懐中電灯、コンセント、変圧器（中国大陸の電圧は 220 V）、乾電池、携帯式ドライヤー、フラッシュメモリーなど。

証明書類: 身分証明書、パスポート、学生証、健康保険証、旅行保険、敬老優待証など。

個人用品: タオル、洗面道具、ティッシュペーパー（ペーパータオル）、スキンケア用品、化粧品、リップクリーム、日焼け止めクリーム、サングラス、傘、ひげそり、生理用品。

衣類: 半袖シャツ、短パン（夏）、長袖シャツ、ズボン、レインコート、セーター、ダウンジャケット（秋、冬）、パジャマ、下着、靴下、歩きやすい靴、日除け帽子（夏）

文房具: ノート、スケッチブック、クレヨン、絵の具、ペン、サインペン、蛍光ペン、マーカー、コンパス、磁石、小ナイフなど。

資料: 観光案内、地図、自作のデータなど。

その他ビニール袋、小型ハンガー、マイカップ、携帯ソーイングセット、目的地によって寝袋、シート、マッチ、ライターなど。

観光情報



観光客サービスセンター

西安市内の観光客サービスセンターは鼓楼広場、咸陽国際空港、西安駅、臨潼区兵馬俑広場に設置されている。

観光情報

中国国番号 0086

警察 110

消防 119

医療救急 120

電話番号問合せ 114

天気予報 12121

時報 12117

中国民航情報 2580

鉄道情報 2585

交通事故通報 122

公安ショットメッセージ呼び出し 12110

森林防火通報 95119

赤十字救急センタ 999

水難救急専用電話 12395

中華人民共和国文化と観光部 <https://www.mct.gov.cn/>

陝西省文化と観光庁 <http://whhlyt.shaanxi.gov.cn/>

西安市文化と観光局 <http://wlj.xa.gov.cn/>

中国駐在外国機関

シドニー中国文化センター

名称 : China Cultural Centre in Sydney
住所 : Address: Level 1, 151 Castlereagh St, Sydney, NSW2000
電話 : 0061-2-82283050
FAX : 0061-2-80681926
HP : www.cccsydney.or
ソーシャル ID
WeCart : cccsydney
Facebook : cccsyd
Instagram : cccsyd
Twitter : cccsyd2
YouTube :
China Cultural Centre in Sydney

中国駐在シドニー観光事務所

名称 : China National Tourist Office, Sydney
住所 : 11th Floor, 234 George Street, Sydney, NSW2000, Australia
電話 : 0061-2-92529838
FAX : 0061-2-92522728
HP : <http://www.cnto.org.au/>

ウェリントン中国文化センター

名称 : China Cultural Centre in Wellington (New Zealand, Cook Islands, Niue)
住所 : 259 Wakefield Street, Wellington 6011, New Zealand

電話 : 0064-21 184 1698

HP : www.cccwlg.org
ソーシャル ID
Facebook :
China Cultural Centre in Wellington
www.facebook.com/cccnz2015
YouTube :
China Cultural Centre in Wellington
HP : https://www.youtube.com/channel/UCbKQ_EM7xtPkRIIN26Svfsg
TikTok : cccwlg
<https://www.tiktok.com/@cccwlg>

フィジ中国文化センター

名称 : China Cultural Centre in Fiji
住所 : Levels 7&8, Ganilau House, Edward Street, Suva, Fiji
電話 : 679-3300625
FAX : 679-3300486
ソーシャル ID
Facebook : China Cultural Centre in Fiji
Twitter : @chinacc Fiji

ソウル中国文化センター

名称 : China Culture Center in Seoul
住所 : 23-1, Sajik-Ro 8gil, Jongno-Gu, Seoul, Republic of Korea
電話 : 00822-733-8307/08/09
FAX : 00822-733-8115
MAIL : cccseoul@culturalink.gov
HP : www.cccseoul.org

中国駐ソウル観光オフィス

名称 : China National Tourist Office, Seoul
住所 : Room 1501, 15th F1, 97, Toegye-ro, Jung-gu, Seoul 04535, Republic of Korea
電話 : 0082-2-7730393
FAX : 0082-2-7573210
HP : <http://www.cnto.or.kr>

東京中国文化センター

名称 : China Cultural Center in Tokyo
住所 : China Cultural Center 1F, 37 Mori Building 3-5-1 Toranomom, Minato-ku, Tokyo
電話 : 0081-03-6402-8168
FAX : 0081-03-6402-8169
HP : www.ccctok.com

中国駐東京観光オフィス

名称 : China National Tourism Administration Tokyo Office
住所 : 105-0001 Air China Building 8F, 2-5-2 Toranomom, Minato-Ku, Tokyo, Japan
電話 : 0081-3-35918686
FAX : 0081-3-35916886
HP : <http://www.cnta.or.jp>

中国駐大阪観光オフィス

名称 : China National Tourism Administration Osaka Office
住所 : 556-0017 OCAT Building 4F, Minatomachi, Naniwa-ku, Osaka, Japan
電話 : 0081-6-66353280
FAX : 0081-6-66353281
HP : <http://www.cnta-osaka.jp>

バンコク中国文化センター

名称 : China Cultural Centre in Bangkok
住所 : 18 Thiam Ruam Mit Road, Huai Khwang District, Bangkok 10310, Thailand
電話 : 0066-2-2461666
FAX : 0066-2-2460694
ソーシャル ID
Instagram : cntobangkok
Tiktok : cntobangkok

中国駐在バンコク観光オフィス

名称 : China National Tourist Office, Bangkok
住所 : 18 Thanon Thiam Ruam Mit Rd, Huai Khwang District, Bangkok 10310, Thailand
電話 : 0066-2-5414138
FAX : 0066-2-5414137

シンガポール中国文化センター

名称 : China Cultural Centre in Singapore
 住所 : China Cultural Center in 217 Queen Street, Singapore, 188548,
 電話 : 0065 63511858
 FAX : 0065 68370281
 ソーシャル ID
 Facebook : <https://www.facebook.com/cccsingapore/>
 Instagram : @cccsingapore
 YouTube : China Cultural Centre in Singapore
 TikTok : @cccsingapore

中国駐シンガポール観光オフィス

名称 : China National Tourist Office, Singapore
 住所 : シンガポール奎因街 217 号
 (中国文化センタービル内)
 電話 : 0065-63372220
 FAX : 0065-63380777
 HP : <http://www.cnto.com.sg/>

ネパール中国文化センター

名称 : China Cultural Centre in Nepal
 住所 : Narayan Gopal Chowk, Maharajgang, Kathmandu, Nepal
 電話 : +977-1-4379789
 FAX : +977-1-4379261
 ソーシャル ID
 facebook : cccnepal2015

中国駐カトマンズ観光オフィス

名称 : China National Tourist Office, Kathmandu
 住所 : Narayan Gopal Chowk, Maharajgang, Kathmandu, Nepal
 電話 : 00977-1-4255936
 FAX : 00977-1-4267695

中国駐ニューデリー観光オフィス

名称 : China National Tourist Office, New Delhi
 住所 : C-110, Ground Floor, Anand Niketan, New Delhi, India, 110021
 電話 : 0091-11-41680540
 FAX : 0091-11-41680541
 HP : <http://www.cnto.org.in>

ウランバートル中国文化センター

名称 : China Culture Center in Ulaanbaatar
 住所 : ウランバートル市蘇赫巴託広場シャングリラビル 7 階 P.B.88, China Cultural Center Room 701, Central Tower, Sukhbaatar Square-2, SBD-8 Ulaanbaatar-14200 Mongolia
 電話 : 00976-70120236
 FAX : 00976-70128899
 HP : <http://ccchinaweb-ub.org/>
 ソーシャル ID
 Website :
<http://ccchinaweb-ub.org/>

Facebook : Улаанбаатар дахь Хятадын соёлын төв

スリランカ中国文化センター

名称 : China Cultural Center in Sri Lanka
 住所 : 6-2D, The Emperor Residences, 75A Galle Road, Colombo 00300, Sri Lanka
 電話 : 96-011-7633800
 96-011-7633806
 ソーシャル ID

The number and name of Wechat: ccc-2015_SriLanka, 斯里兰卡中国文化中心 ;
 Tiktok : @chinacultureinsrilanka;
 Youtube : China Cultural Center in Sri Lanka;
 Facebook : China Cultural Center in Sri Lanka

ラオス中国文化センター

名称 : China Cultural Center in Laos
 住所 : China Cultural Center in Laos, ASEM Villa, No.52, Hat Don Chan Road, BeungKhayong Village, Sisattanak District, Vientiane Capital, Laos P.D.R
 電話 : (856) (21) 931510
 FAX : (856) (21) 931510
 ソーシャル ID
 Facebook/Tiktok : ccclaos
 youtube : China Cultural Center in Laos ccclaos

パキスタン中国文化センター

名称 : China Cultural Center in Pakistan
 住所 : 5th Floor, Pakistan National Council of the Arts, Sector F-5/1, Islamabad, Pakistan
 電話 : 0092-51-8487989
 FAX : 0092-51-8481911
 ソーシャル ID
 Facebook : cccenterinpak

プノンペン中国文化センター

名称 : China Cultural Center in Phnom Penh
 住所 : No. 83, St. 289, Sangkat Boeung Kak II, Khan Touk Kork, Phnom Penh
 電話 : (855) 12435907
 (855) 92 340 038

ソーシャル ID
 Facebook : China Cultural Center in Phnom Penh
 YouTube : China Cultural Center in Phnom Penh

ハノイ中国文化センター

名称 : China Cultural Center in Hanoi
 住所 : Room105, Building 2G, 298 Kim Ma Road, Hanoi, Vietnam
 電話 : 0084-24-32676006
 HP : <http://www.ccchanoi.org>

中国駐在外国機関

中国駐在外国機関

ソーシャル ID

<https://www.facebook.com/ChinaCulturalCenterinHanoi>

ヤンゴン中国文化センター

名称 : China Cultural Center in Yangon
住所 : No.39, Second Floor, Min Ye Kyaw Swar Road, Ahlone Township, Yangon, Myanmar.
電話 : (+95) 1-2302631/ (+95) 1-2302633
FAX : (+95) 1-2302630

テルアビブ中国文化センター

China Cultural Center Tel Aviv
住所 : Floor 1, 30 Havarzel Street, Tel Aviv
電話 : +972-3-9581997
FAX : +972-3-9581997
HP : <https://ccctlv.org/>
ソーシャル ID
Facebook : <https://www.facebook.com/ccctlv/>
Instagram : <https://www.instagram.com/ccctlv>
Youtube : <https://www.youtube.com/channel/UCmvgGGFZEKbdFOf9q2jz6LA>

クアラルンプール中国文化センター

名称 : China Cultural Centre in Kuala Lumpur
住所 : Lot 1-2-1, Menara Bangkok Bank, Berjaya Central Park, Jalan Ampang, 50450 Kuala Lumpur.
電話 : +6003-21812456
FAX : +6003-21812456
HP : <https://www.chinaculturalcentre.my/>
ソーシャル ID
facebook : chinaculturalcentreKL
Youtube : China Cultural Centre in Kuala Lumpur
Tiktok : ccckualalumpur

中国駐在ヌールスーダン観光オフィス

名称 : China National Tourist Office, Nur-Sultan
住所 : Nur-Sultan, Syganak Street 27, Beijing Palace 16th Floor, 1613-1614

クウェート中国文化センター

名称 : China Cultural Center in Kuwait
住所 : Al Ras Tower Building 7001, Blcok 2, Salem Al Mubarak Street, Salmiya, Kuwait (not open to the public yet)

アンマン中国文化中心

名称 : China Cultural Center in Amman
住所 : No.2 Mazen Al Kurdi St., Abdoun, Amman, Jordan
電話 : 00962-6-5519137
FAX : 00962-6-5519137
HP : <https://www.facebook.com/CCCAmman>

ベルリン中国文化センター

名称 : Chinesisches Kulturzentrum Berlin
住所 : Klingelhofstrasse 21, 10785 Berlin
電話 : 0049 30 2639079107; 0049 30 26390790
FAX : 0049 30 2639079108; 0049 30 2639079109;
HP : www.c-k-b.eu

中国駐フランクフルト観光オフィス

名称 : Fremdenverkehrsamt der VR China in Frankfurt
住所 : Ilkenhansstrasse 6, D-60433 Frankfurt/M. Deutschland
電話 : 0049-69-520135
FAX : 0049-69-528490
HP : <http://www.china-tourism.de>

パリ中国文化センター

名称 : China Cultural Center in Paris
住所 : 1, boulevard de la Tour-Maubourg, 75007 Paris, France
電話 : 33153595920
FAX : 33153595929
HP : <http://www.cccparis.org/>
ソーシャル ID
Facebook : @centrecultureldechine
Instagram : @centrecultureldechine
Twitter : @cccparislive
YouTube : <https://www.youtube.com/channel/UCDe5D8-QfuHT0d1h934omw>
LinkedIn
<https://www.linkedin.com/company/centre-culturel-de-chine-a-paris>
Tiktok : <https://www.tiktok.com/@centrecultureldechine>

中国駐パリ観光オフィス

名称 : Office du Tourisme de Chine, Paris
住所 : 15 Rue de Berri, 75008 Paris, France
電話 : 0033-1-56591010
FAX : 0033-1-53753288
HP : <http://www.otchine.com>

マドリード中国文化センター

名称 : China Cultural Center in Madrid
 住所 : General Pardinás Street 73,
 28006, Madrid, Spain
 電話 : 0034-917820000
 FAX : 00 34-917820082
 MAIL: cccmad@culturalink.gov.cn
 HP : www.ccchinamadrid.org
 ソーシャル ID
 Instagram : @ccchinamadrid
 Facebook : @Centro Cultural de
 China en Madrid
 Wechat : @ccchinamadrid
 Youtube : @ 马德里中国文化中心
 Centro Cultural de China en Madrid
 Tik Tok : @cccmadrid

中国駐在マドリード観光オフィス

名称 : Oficina Nacional de Turismo
 de China en Madrid
 住所 : Calle Gran Vía 39, Planta 8
 Izq, 28013 Madrid
 電話 : 0034-91-5480011
 FAX : 0034-91-5480597
 HP : http://www.turismochino.info
 http://www.turismodechina.org

中国駐在ロンドン観光オフィス

名称 : China National Tourist
 Office, London
 住所 : 71 Warwick Road, SW5 9HB,

London, UK
 電話 : 0044-20-73730888
 FAX : 0044-20-73709989
 HP : http://www.cnto.org.uk/

中国駐在ローマ観光オフィス

名称 : China National Tourism
 Administration Rome Office
 住所 : Via Nazionale 87, 00184
 Roma, Italia
 電話 : 0039-064828888
 FAX : 0039-0648913429
 HP : http://www.turismocinese.it

中国駐チューリヒ観光オフィス

名称 : Fremdenverkehrsamt der VR
 China in Zürich
 住所 : Brandschenkestrasse
 178, 8002 Zurich
 電話 : 0041-44 -2018877
 FAX : 0041-44 -2018878
 HP : http://www.chinatourism.ch/
 eg/index.php

マルタ中国文化センター

名称 : China Cultural Centre in Malta
 住所 : 173 Melita Street, Valletta,
 VLT1127, Malta
 電話 : 00356 21225055
 FAX : 00356 21225058
 HP : Cccmalta.org

コペンハーゲン中国文化センター

名称 : China Culture Center In
 Copenhagen
 住所 : HC Andersens Boulevard 36,
 1553 Copenhagen, Denmark
 電話 : 0045-60211568
 FAX : 0045-33140188

ブリュッセル中国文化センター

名称 : China Cultural Centre in
 Brussels
 住所 : Rue Philippe Le Bon 2, 1000,
 Brussels, Belgium
 電話 : 0032(0)27044020
 HP : http://www.cccbrussels.be/
 ソーシャル ID
 Facebook : https://www.facebook.
 com/ccbrussels

ルクセンブルク中国文化センター

名称 : China Cultural Center in
 Luxembourg
 住所 : 3, Boulevard Joseph II, L-1840
 Luxembourg
 電話 : 00352 2866 9968
 FAX : 00352 2866 9968
 HP : www.ccclux.lu
 ソーシャル ID
 Facebook : @CCCLxb
 Twitter : @ccclux
 Youtube : China Cultural Centre in Luxembourg
 Wechat : 卢森堡中国文化中心

ストックホルム中国文化センター

名称 : China Cultural Center in
 Stockholm
 住所 : Västra Trädgårdsgatan 2, 111
 53 Stockholm
 電話 : 0046 703627858
 HP : http://www.cccstockholm.org

アテネ中国文化センター

名称 : China Cultural Center in
 Athens
 住所 : 231 Leof. Andrea Siggrou,
 171 21 Athens, Greece
 電話 : 6994350999
 ソーシャル ID
 Facebook :
 chinaculturalcenterinathens@gmail.com
 Twitter : https://twitter.com/
 ChinaAthens
 Instagram : https://www.instagram.com/
 chinaculturalcenterathens/
 Tiktok : CCCATH

ハーグ中国文化センター

名称 : China Cultural Center in Haag
 住所 : Spui 186, 2511 BW, The
 Hague, The Netherlands
 電話 : +31 (0)70 792 0028
 HP : www.ccchague.org
 ソーシャル ID
 Facebook: China Cultural Center
 Den Haag

Twitter : ChinaCulturalCenter@
ccchague
Instagram:
ChinaCulturalCenterDenHaag
Youtube : China Cultural Center_
Den Haag
Linkedin : The Hague China
Cultural Center
Tiktok : ccchague

モスクワ中国文化センター

名称 : China Cultural Center in
Moscow
住所 : st. Pravda, 1, p. 1, MOSCOW
電話 : 007-495-612-11-97
FAX : 8495-614-43-03
HP : <https://www.moscowccc.org>
<https://www.moscowccc.ru>
ソーシャル ID
Facebook : <https://www.facebook.com/moskvacccc/>
Instagram : <https://www.instagram.com/wenhuazhongxin>
VK : <https://vk.com/moskvaccc>

中国駐在モスクワ観光オフィス

名称 : China National Tourist
Office,Moscow
住所 : Krzhizhanovskogo Str.14,
3,Moscow, 117218,Russia
電話 : 007-495-645-02-69
FAX : 007-495-642-87-67

ミンスク中国文化センター

名称 : China Cultural Center in Minsk
住所 : No. 83,St. 289,Sangkat
Boeung Kak II,Khan Touk
Kork,Phnom Penh
電話 : +375173160862
FAX : +375173160862
ソーシャル ID
VK : Китайский Культурный Це
нтр в Минске (cccminsk) <https://vk.com/cccminsk>
Instagram : cccminsk www.instagram.com/cccminsk
Tik Tok : cccminsk <http://www.tiktok.com/@cccminsk>
Facebook : Китайский Культур
ный Центр в Минске (cccminsk)
<http://www.facebook.com/cccminsk>

中国駐ブダペスト観光オフィス

名称 : Kínai Állami Turisztikai
Hivatal magyarországi képviselete
住所 : 1051 Budapest, Széchenyi
István tér 7-8. C/2 Roosevelt
Irodaház
電話 : +36 1 612 0489
FAX : +36 1 612 0448

ソフィア中国文化センター

名称 : China Cultural Center in Sofia
住所 : 77, Georgi Sava Rakovski
Street, Sofia, Bulgaria
Ул . Георги Сава Раковски 77, Со
фия , България
電話 : 359885406654
HP : www.cccsofia.org
ソーシャル ID
Facebook : @cccsofia2018
tiktok : @ccc_sofia

リガ中国文化センター

里加中国文化中心
名称 : China Cultural Center in Riga
住所 : Latvia, Riga, Brivibas
boulevard 21, LV-1050
電話 : +371 23274981
ソーシャル ID
facebook.com/kinaskulturascentrs
youtube.com/channel/UCp4_t1nL4OSI46Jzvawh09w

ブカレスト中国文化センター

名称 : Centre Culturel Chinois au
Bucharest
住所 : BUCHAREST, ROMANIA/
STR.BATISTEI 34, SECTOR 2,
BUCURESTI,ROMANIA)
電話 : (0040) 310699400
FAX : (0040) 310699400

ベニン中国文化センター

名称 : Centre Culturel Chinois au
Bénin
住所 : 1149, Avenue Jean-Paul II, 01
B.P. 1532 Ganhi, Cotonou, Benin
電話 : 00229-21313174
FAX : 00229-21314833
ソーシャル ID
Facebook : @CCCbenin
Twitter : @CulturelAu

モーリシャス中国文化センター

名称 : China Cultural Center in Mauritius
住所 : Victor Hugo Road, Bell
Village, Port Louis, Mauritius
電話 : 230-2088547
FAX : 230-2128727
HP : cccmau.com
ソーシャル ID
Facebook : Centre culturel chinois
à Maurice

ナイジェリア中国文化センター

名称 : China Cultural Center in Nigeria
 住所 : 524 Delaba Street, Wuse Zone 5. Abuja, Nigeria
 電話 : 00234-9-9044181
 ソーシャル ID
 Wechat : CCCINIG
 Facebook : China Cultural Center Nigeria Focus
 Twitter:CCC_Nigeria
 Instagram:CCCNIG
 Youtube:CCC in Nigeria

タンザニア中国文化センター

名称 : China Cultural Center in Tanzania
 住所 : No. 65, Ali Hassan Mwinyi Road, Upanga, Dar es Salaam
 電話 : +255 22 2112261
 HP : <https://www.ccctanzania.org/>
 ソーシャル ID
www.facebook.com/ccctz

カイロ中国文化センター

名称 : China Cultural Center in Cairo
 住所 : 10 Ibn Battuta Street, Al-Haram, Giza
 電話 : 0020-2-33933096
 FAX : 0020-2-33933101
 HP : <https://www.ccccairo.org/>

ラバト中国文化センター

名称 : China Cultural Centre at Rabat
 住所 : 9 Street Jbel Moussa, Agdal, Rabat, Royaume du Maroc
 電話 : (+212)5 37 67 08 52
 FAX : (+212)5 37 67 08 52

中国駐ロサンゼルス観光オフィス

名称 : China National Tourist Office, Los Angeles
 住所 : 550 North Brand Boulevard, Suite 910 Glendale, California 91203 USA
 電話 : 001-818-5457507
 FAX : 001-818-5457506
 HP : <http://www.cntovideo.org>

中国駐在ニューヨーク観光オフィス

名称 : China National Tourist Office, New York
 住所 : 370 LEXINGTON Ave, Suite 912 New York, New York 10017 USA
 電話 : 001-212-7608218
 FAX : 001-212-7608809
 HP : <http://www.cnto.org>

中国駐在トロント観光オフィス

名称 : China National Tourist Office, Toronto
 住所 : 480 University Ave., Suite 806, Toronto, Ontario M5G1V2, Canada
 電話 : 001-416-5996636
 FAX : 001-416-5996382
 HP : <http://www.tourismchina.org>
<http://www.tourismchina-ca.com>

メキシコ中国文化センター

名称 : China Cultural Center in Mexico
 住所 : Monte Stanovoi 205, Col. Lomas de Chapultepec, Alc. Miguel Hidalgo, C.P.11000, Ciudad de México
 電話 : 0052 55 55403341/42
 FAX : 0052 55 55403340
 HP : <http://www.ccchinamexico.org>
 ソーシャル ID
 Facebook : @CulturaChinaenMexico
 Youtube : Centro Cultural de China en México



ご覧いただきありがとうございます！



<http://www.travelchina.org.cn>



<http://en.chinaculture.org/>

